

平成27年度

岩手県商店街実態調査報告書

平成 28 年 3 月

岩 手 県
岩 手 県 商 工 会 連 合 会
岩 手 県 商 工 会 議 所 連 合 会
岩 手 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会
岩 手 県 商 店 街 振 興 組 合 連 合 会

目次

【調査の概要】	7
I 通常商店街	10
1 組織	10
(1) 組織形態	10
(2) 専用事務所	10
(3) 専従職員数	10
2 立地条件	11
(1) 立地環境	11
(2) 商店街のタイプ	11
3 商業環境	12
(1) 商圈範囲	12
(2) 来街者	12
① 来街者数	12
② 来街者が増えた要因・減った要因	13
(3) 大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m ² 超）の立地による影響	14
(4) 来街者の年齢層	14
(5) 来街者層	15
(4) 今後最も重視したい層	15
4 店舗と業種構成	16
(1) 会員数	16
(2) 業種構成	16
(3) チェーン店数	17
(4) 会員店舗	17
① 会員店舗数	17
② 会員店舗数減少の要因	17
(5) 店舗の入替わり	18
5 空き店舗	19
(1) 全店舗数と空き店舗数	19
(2) 空き店舗増減	20
(3) 空き店舗が解消されない理由	20
(4) 空き店舗対策	21
(5) 家主の意向	21
6 店舗経営者	22
(1) 店舗経営者の年齢層	22

(2) 経営者の交代.....	22
(3) 後継者.....	22
(4) 自宅兼店舗の状況.....	23
7 組織活動.....	24
(1) 会員を対象にした会合の開催頻度.....	24
(2) 情報収集活動.....	24
(3) 年会費.....	25
(4) ビジョン.....	26
(5) 次世代リーダー.....	26
8 施設整備の状況.....	27
(1) 共有の既存施設の状況.....	27
9 共同経済事業.....	27
(1) 共同売出し事業.....	27
(2) 集客イベント回数.....	28
(3) 共同事業の集客効果.....	28
(4) 新たに取り組んでいる共同事業.....	29
10 地域との関わり.....	29
(1) 商店街利用者を対象とした調査（アンケート等）について.....	29
(2) 地域住民のニーズに応じた活動への取組.....	30
(3) 買い物弱者支援の実施状況.....	31
11 景況・その他.....	31
(1) 最近の景況.....	31
(2) 今後の見通し.....	32
(3) 当面の問題点.....	32
(4) 身近に感じる機関・団体.....	33
(5) 国、県等の各種助成制度の認知度.....	34
II 仮設商店街.....	36
1 仮設商店街一覧.....	36
2 組織.....	36
(1) 組織形態.....	36
(2) 専用事務所.....	37
(3) 専従職員数.....	37
(4) 設立の時期.....	37
3 商業環境.....	37
(1) 商圈範囲.....	37
(2) 来街者.....	37
(3) 来街者の年齢層.....	38
(4) 来街者層.....	38

4	店舗と業種構成.....	39
	(1) 店舗数及び業種構成.....	39
	(2) チェーン店数.....	39
	(3) 店舗の入れ替り.....	40
5	店舗経営者.....	40
	(1) 店舗経営者の年齢層.....	40
	(2) 後継者.....	40
6	共同経済事業.....	41
	(1) 共同売出し事業.....	41
	(2) 集客イベント回数.....	42
	(3) 共同事業の集客効果.....	42
	(4) 新たに取り組んでいる共同事業.....	43
7	地域との関わり.....	43
	(1) 地域住民のニーズに応じた活動への取組.....	43
	(2) 買い物弱者支援の実施状況.....	44
8	景況・今後の見通し・その他.....	44
	(1) 最近の景況.....	44
	(2) 解消見込み時期.....	45
	(3) 当面の問題点.....	45
	(4) 身近に感じる機関・団体.....	46
	(5) 国、県等の各種助成制度の認知度.....	47
	付属資料1.....	48
	【調査票（通常商店街）】.....	48
	付属資料2.....	60
	【調査票（仮設商店街）】.....	60
	付属資料3.....	68
	【平成24年度商店街実態調査 集計結果】.....	68

【調査の概要】

1 調査目的

この調査は、岩手県の商店街組織（仮設商店街を含む）の活動実態及び商店街がおかれた商業環境等の現況を把握し、商店街振興施策の立案及び実施並びに各商店街に対する支援の基礎資料とすることを目的とする。

また、東日本大震災津波からの復旧のため整備された仮設商店街の状況を把握するため、今回、仮設商店街用の調査票を用いて仮設商店街の調査を実施する。

2 実施主体

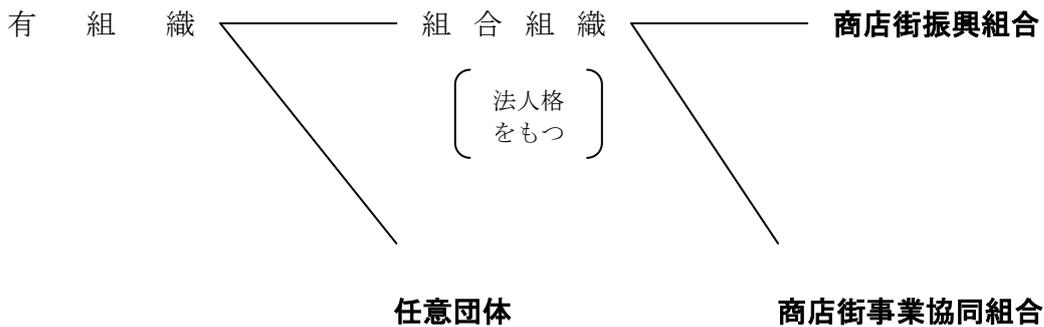
岩手県、岩手県商工会連合会、岩手県商工会議所連合会、岩手県中小企業団体中央会、岩手県商店街振興組合連合会

3 調査概要

(1) 調査基準日

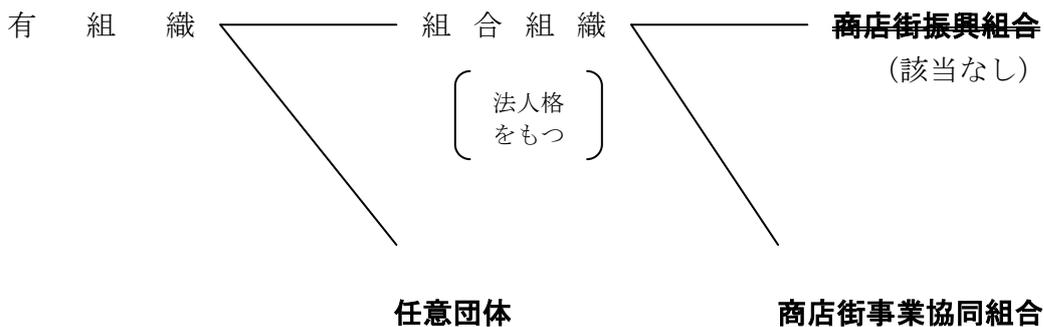
平成 27 年 9 月 1 日

(2) 調査対象（通常商店街）



※1 本調査における「商店街」（通常商店街）とは、小売業又はサービス業を営む者の店舗が主体となって街区を形成し、これらが何らかの組織を形成しているものをいう。

(3) 調査対象（仮設商店街）



※2 本調査における「仮設商店街」とは、(独) 中小企業基盤整備機構等が整備した仮設施設のうち、小売業又はサービス業を営む者の店舗が主体となり、何らかの組織を形成しているもの。又は組織は形成されていないが、小売業又はサービス業を営む者の店舗が概ね 10 店舗以上集積しているものをいう。

(4) 調査方法

調査票方式で、調査票への直接記入又は実施主体によるヒアリングによる。

(5) 調査項目

- ① 通常商店街：組織、立地条件、商業環境、店舗と業種構成、空き店舗、店舗経営者、組織活動、施設整備の状況、共同経済事業、地域との関わり、景況、その他
- ② 仮設商店街：組織、商業環境、店舗と業種構成、店舗経営者、共同経済事業、地域との関わり、景況・今後の見通し、その他

4 調査商店街数の推移

調査年度	組 合 組 織				任意団体	有組織	無組織	
	商店街振興組合		事業協同組合					合計
	実在数	回収数	実在数	回収数				実在数
平成3年度	—	31	—	23	—	184	238	46
平成6年度	—	33	—	33	—	179	245	14
平成9年度	34	34	35	34	69	169	237	14
平成12年度	33	31	37	31	70	161	223	39
平成15年度	31	29	30	30	61	150	209	38
平成18年度	31	24	31	24	62	132	180	59
平成21年度	30	27	26	26	56	102	155	45
平成24年度	25	24	21	20	46	115	159	—
平成27年度	25	24	16	16	41	108	148	—

※1 平成24年度調査では被災商店街を調査対象から除いたため、組合組織の実在数が大きく減少しているものである。

また、平成27年度調査でも組合組織の実在数が大きく減少しているが、法人の解散（被災した商店街を含む）や、調査対象の要件に合致しなくなったことが主な要因である。

※2 商店街振興組合、事業協同組合についてはそれぞれ岩手県商店街振興組合連合会、岩手県中小企業団体中央会の調べにより、任意団体及び平成21年度以前の無組織商店街については各商工会及び各商工会議所の調べによる。

5 仮設商店街の数

調査年度	組合組織				任意団体		合計
	商店街振興組合		事業協同組合		実在数	回収数	
	実在数	回収数	実在数	回収数			
平成 27 年度	-	-	2	2	23	23	25

6 本報告書の表記について

- (1) 通常商店街では、組織形態は、組合組織（商店街振興組合及び事業協同組合）、任意団体の2区分とした。
- (2) 比率は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100%にはならない。
- (3) 平均値の数値は加重平均である。
- (4) 図表の括弧内に記載されている数値は、前回調査からの変化率を示したものである。
- (5) 図表の強調表示について
 - ① 変化率が10ポイントを超える数値は太字表記としている。
 - ② 最も構成比の高い選択項目（ただし「その他」を除く）は網掛け表示としている。
- (6) 本文中、「最大回答数○」と記載があるものについては、複数回答が可能な設問となっており、最大回答数の上限は○の数までである。また、「複数回答」と記載があるものについては、回答数の上限がないものを示す。
- (7) 本文中、平成24年度の数値が記載されているが、平成24年度分の集計結果については、付属資料に掲載している。

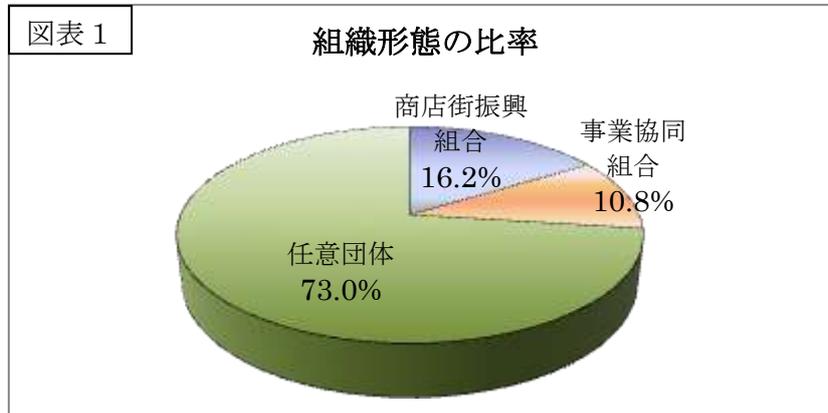
I 通常商店街

1 組織

(1) 組織形態

今回の調査で回収した調査票の数は148であり、その内、「商店街振興組合」は24、「事業協同組合」は16、「任意団体」は108となっている。

なお、比率は図表1のとおり。



(2) 専用事務所

専用事務所の形態については、組合組織では62.5%の組織が自己所有又は賃貸の専用事務所を有しているのに対し、任意団体では5.6%となっている。(図表2)

(図表2) 専用事務所の形態

(単位：%)

	自己所有	賃貸	なし
全 体	7.4	13.5	79.1
組合組織	20.0	42.5	37.5
任意団体	2.8	2.8	94.4

(3) 専従職員数

専従職員数については、全体で83.8%の商店街が「0人」と答えており、任意団体では98.2%が「0人」となっている。(図表3)

(図表3) 専従職員数

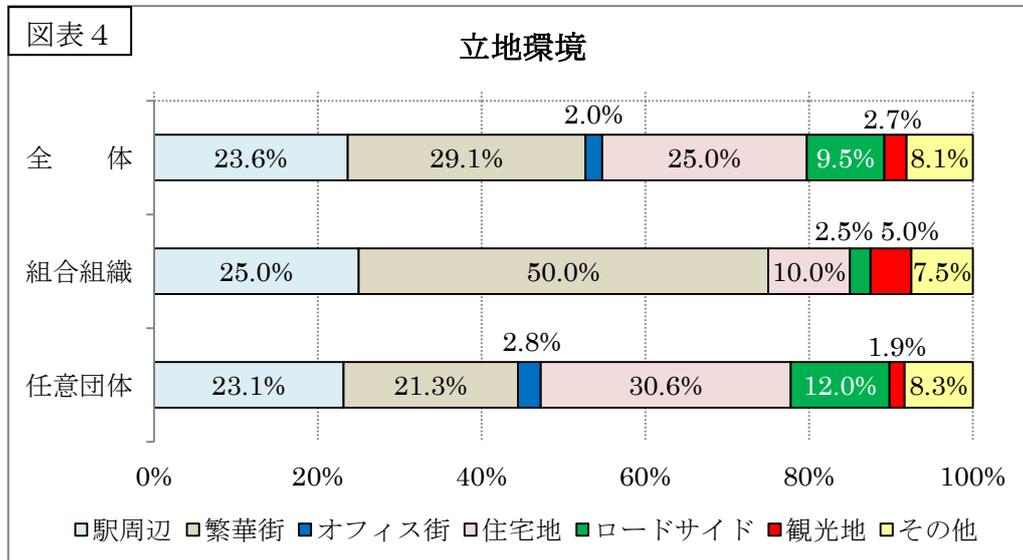
(単位：%)

	0人	1人～2人	3人以上
全 体	83.8	14.2	2.0
組合組織	45.0	47.5	7.5
任意団体	98.2	1.9	0

2 立地条件

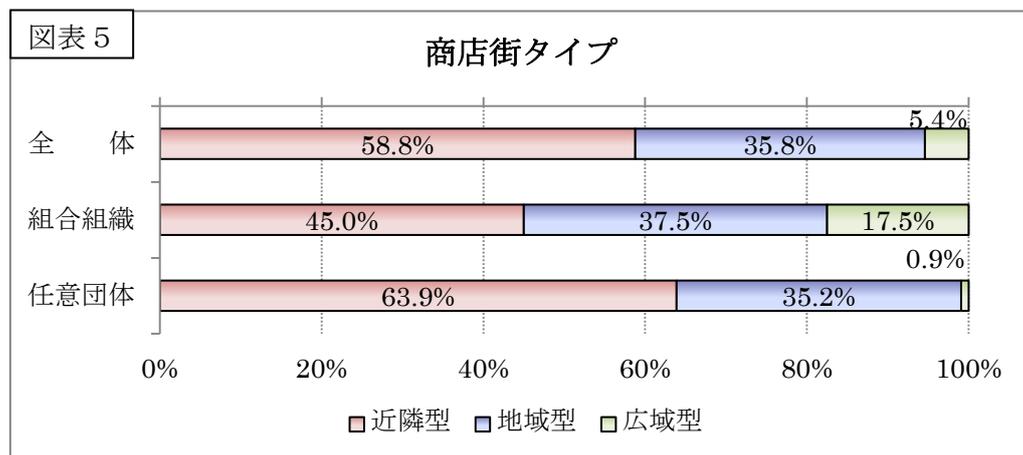
(1) 立地環境

立地環境については、組合組織は50%の商店街が繁華街に立地し、任意団体は30.6%の商店街が住宅地に立地している。(図表4)



(2) 商店街のタイプ

商店街のタイプについては、組合組織、任意団体両者において近隣型を占める割合が高く、それぞれ45.0%、63.9%となっている。(図表5)



【補足】

近隣型：(最寄品店が中心で、日用品等を徒歩または自転車等により日常性の買い物をする商店街)

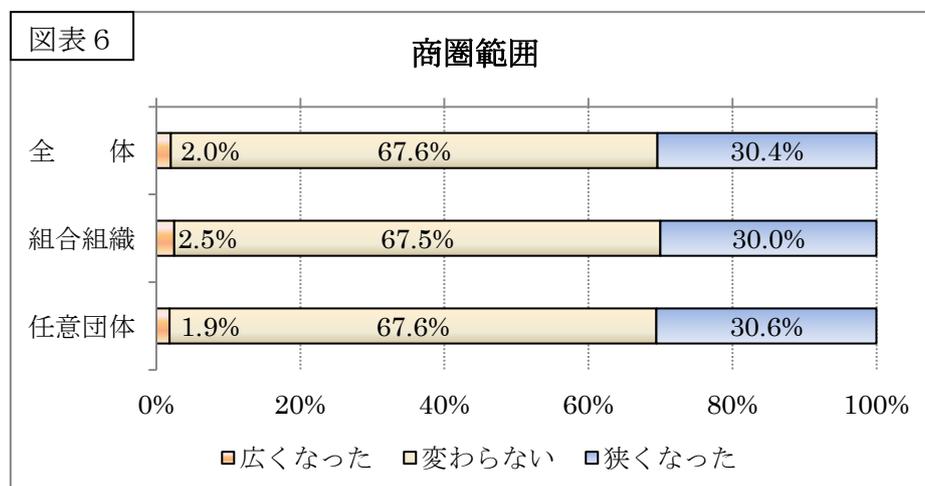
地域型：(最寄品店及び買回り品店が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から徒歩、自転車、バス等で来街する商店街)

広域型：(百貨店、量販店等を含む大型店があり、最寄品店よりも買回り品店が多く、地域型商店街よりも広い範囲から来街する商店街)

3 商業環境

(1) 商圈範囲

3年前と比較した商圈範囲について尋ねたところ、「広がった」と答えた商店街は2.0%で、「狭くなった」が30.4%、「変わらない」が67.6%となっている。(図表6)



前回(平成24年度)と比較すると、「広がった」と答えた商店街は0.6ポイント低下し、「狭くなった」と答えた商店街は2.3ポイント低下している。(図表7)

(図表7) 商圈範囲

(単位：%、ポイント)

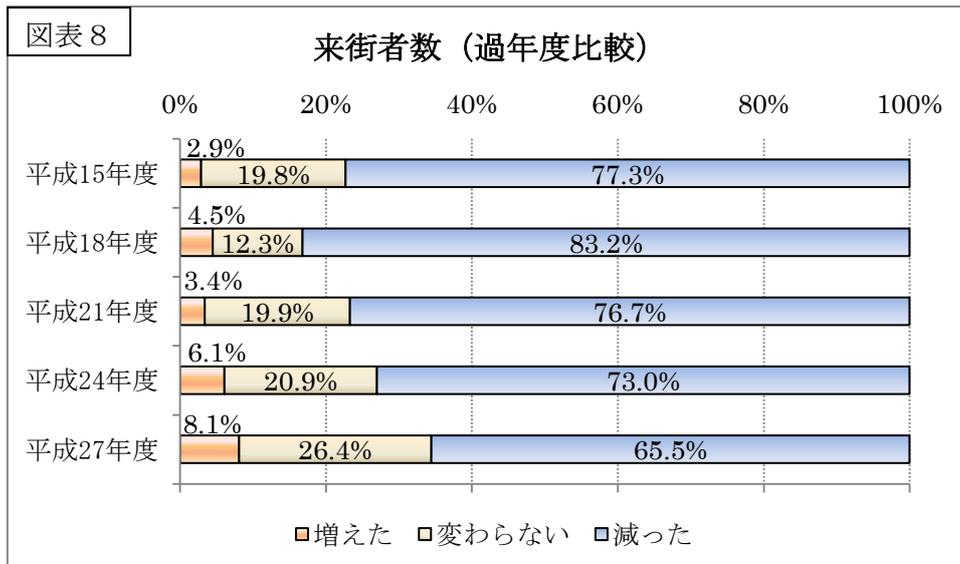
	広がった	変わらない	狭くなった
全体	2.0 (▲0.6)	67.6 (+2.9)	30.4 (▲2.3)
組合組織	2.5 (▲2.2)	67.5 (+0.1)	30.0 (+2.1)
任意団体	1.9 (+0.1)	67.6 (+3.9)	30.6 (▲3.9)
組織間の差	▲ 0.6	0.1	0.6

(2) 来街者

① 来街者数

3年前と比較した来街者数について尋ねたところ、「増えた」と答えた商店街は8.1%、「減った」が65.5%、「変わらない」が26.4%となっている。(図表8)

過年度比較でみると、「増えた」と答えた商店街の割合は8.1%となっており、平成15年度以降の調査では最高値である。(図表8)



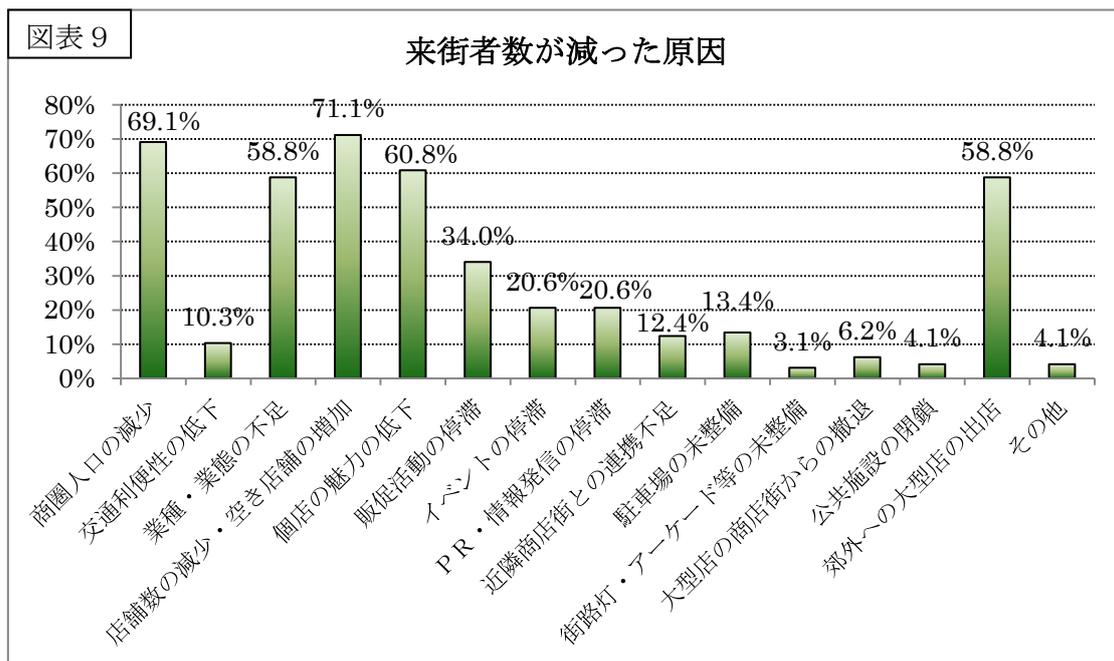
② 来街者が増えた要因・減った要因

来街者数が「増えた」と答えた商店街にその要因を尋ねたところ（複数回答）、約3割の商店街が「イベントの充実」、「観光客の回遊の増加」とそれぞれ答えている。

一方、来街者が「減った」と答えた商店街にその要因を尋ねたところ（複数回答）、「店舗数の減少・空き店舗の増加」が71.1%と最も多く、次いで割合が多い順に「商圈人口の減少」が69.1%、「個店の魅力の低下」が60.8%、「業種・業態の不足」、「郊外への大型店の出店」がそれぞれ58.8%となっている。（図表9）

また、前回（平成24年度）は、「個店の魅力の低下」の割合が一番多く、次いで「業種業態の不足」、「商圈人口の減少」となっている。

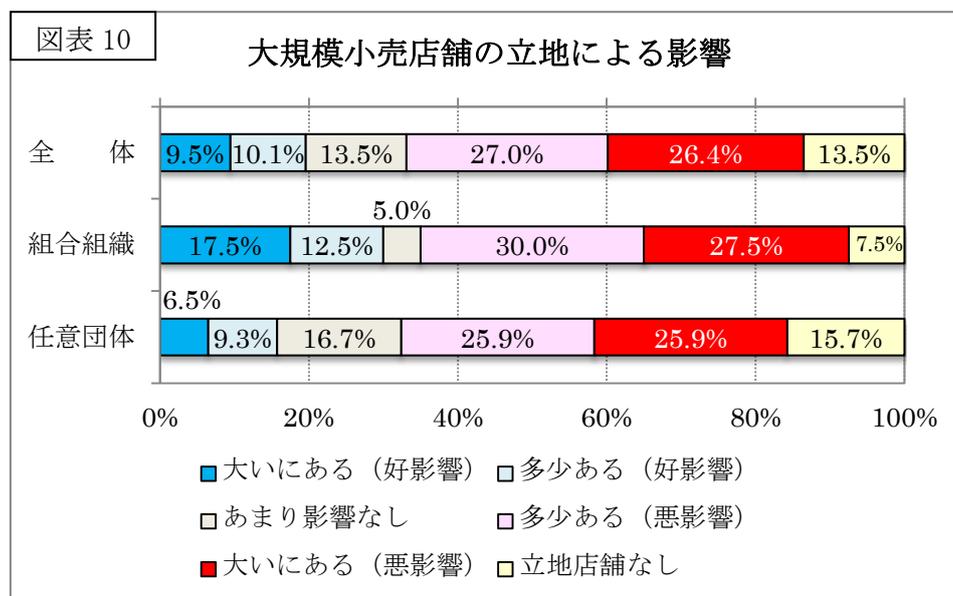
なお、「店舗数の減少・空き店舗の増加」の選択肢は今回（平成27年度）から新設したものである。



(3) 大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m²超）の立地による影響

大規模小売店舗の立地による影響について尋ねたところ、「好影響」は19.6%、「悪影響」は53.4%となっている。（図表 10）

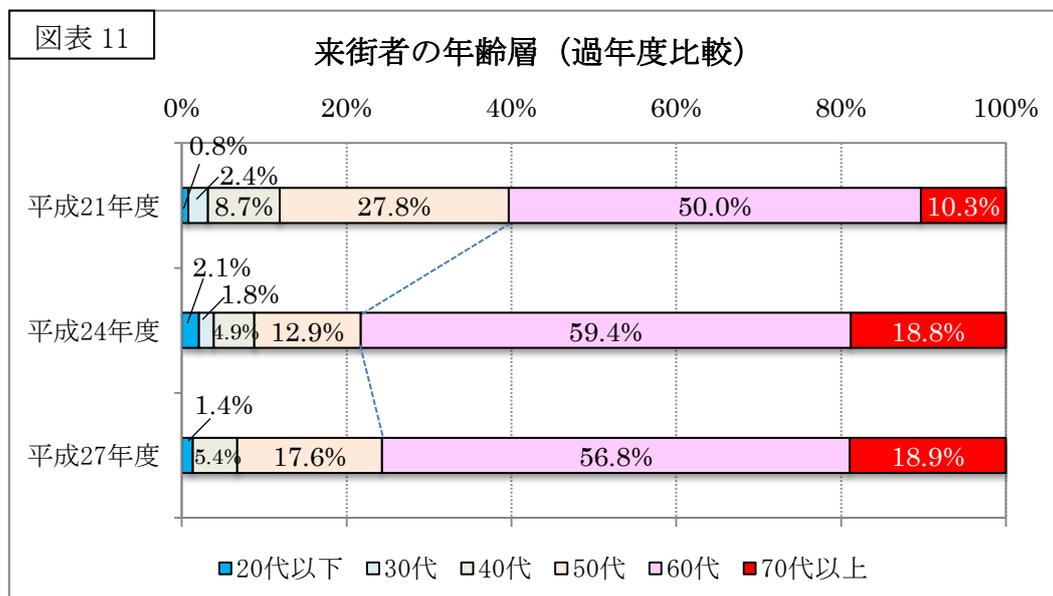
前回（平成 24 年度）と比較すると、前回は「好影響」が12.5%、「悪影響」が62.5%となっており、「好影響」が7.1ポイント増加、「悪影響」が9.1ポイント低下している。



(4) 来街者の年齢層

来街者の最も多い年代について尋ねたところ、「60代」と答えた商店街が56.8%となっており、「70代以上」と併せると75.7%となる。

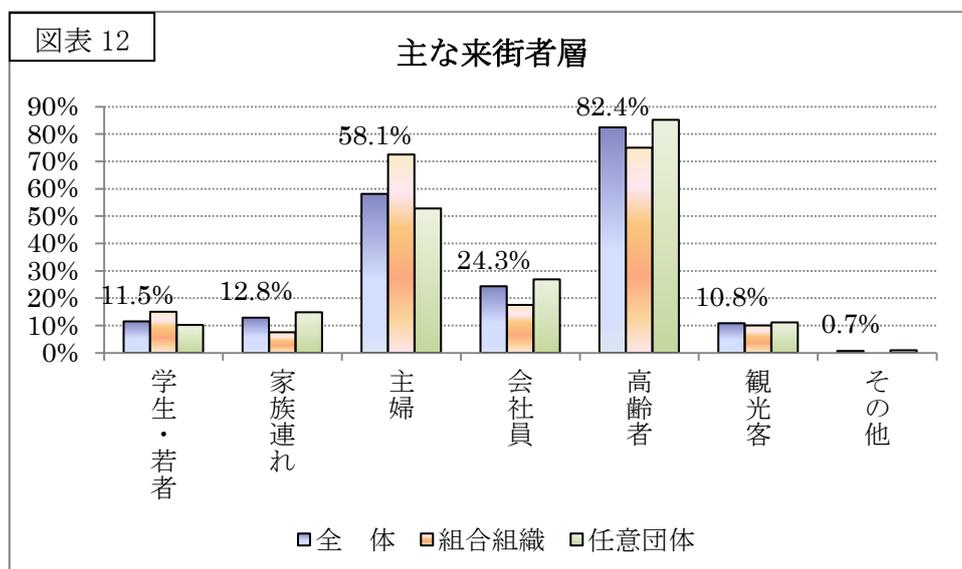
前々回（平成 21 年度）の調査と比較すると、「60代」と「70代以上」を合わせた割合が15.4ポイント増加している。（図表 11）



(5) 来街者層

主な来街者層について尋ねたところ（最大回答数3）、全体では「高齢者」が82.4%と最も多く、次いで「主婦」が58.1%、「会社員」が24.3%となっている。（図表12）

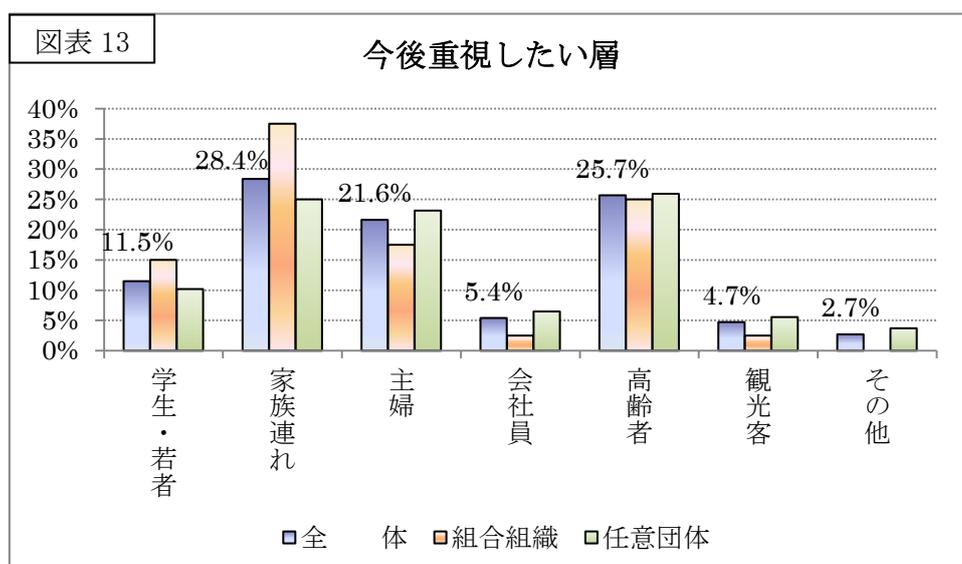
なお、組合組織と任意団体との差が最も大きかったものは「主婦」で19.7ポイント組織組合が高くなっている。



(6) 今後最も重視したい層

今後最も重視したい層は、「家族連れ」が28.4%と最も高く、次いで「高齢者」が25.7%、「主婦」が21.6%となっている。（図表13）

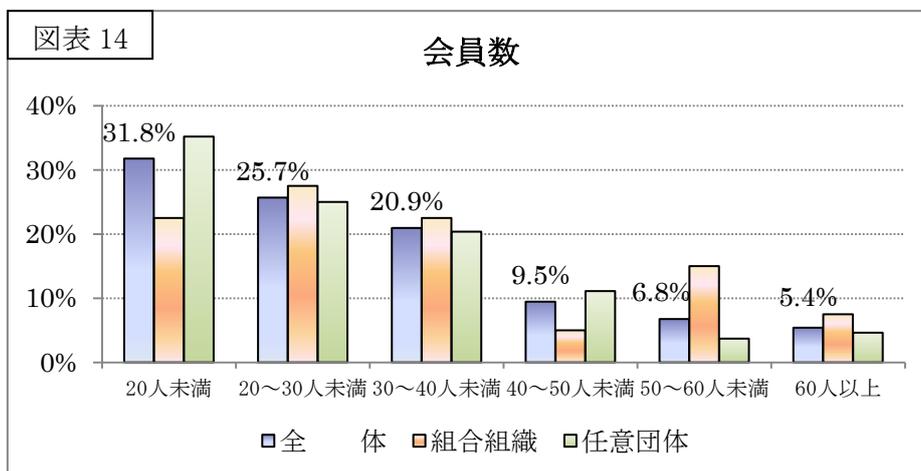
なお、前回（平成24年度）は「高齢者」が29.6%で最も高く、次いで「家族連れ」が25.3%、「主婦」が21.9%となっている。



4 店舗と業種構成

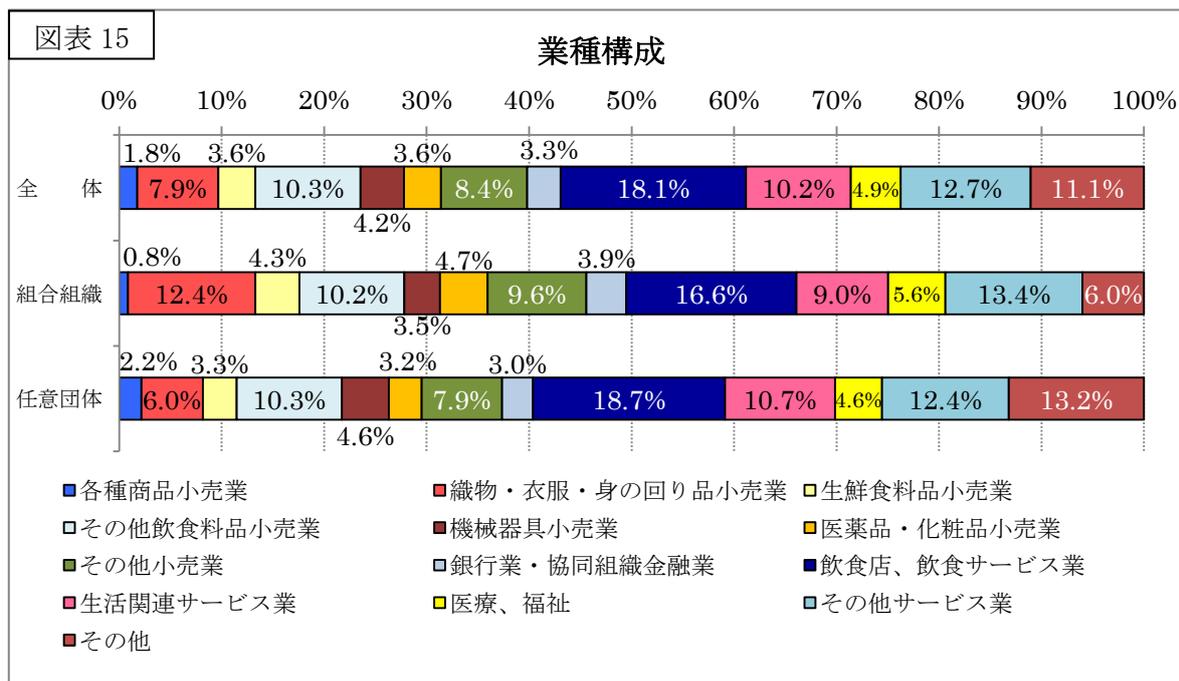
(1) 会員数

会員（組合員）数について尋ねたところ、組合組織では「20～30人未満」が最も多く、任意団体では「20人未満」が最も多くなっており、(図表14)全体の平均会員数は29.4人となっている。



(2) 業種構成

店舗の業種構成について尋ねたところ、小売業は全体で39.8%であり、組織形態別にみると組合組織で45.5%、任意団体で37.5%となっている。組合組織では「飲食店、飲食サービス業」の割合が16.6%と最も高く、次いで「その他サービス業」が13.4%、「織物・衣服・身の回り品小売業」が12.4%となっている。一方、任意団体では「飲食店・飲食サービス業」の割合が18.7%と最も高く、「織物・衣服・身の回り品小売業」は6.0%で組合組織よりも6.4ポイント下回っており、「その他」は13.2%で組合組織よりも7.2ポイント上回っている。(図表15)



(3) チェーン店数

前記、業種構成で答えた店舗のうち、チェーン店の数について尋ねたところ、44 商店街にチェーン店が含まれており、44 商店街の平均チェーン店数は 2.3 店であった。

【補足】

「チェーン店」とは、ブランドや営業等が多数の店舗で統一的に管理された店舗とします。
例：スーパー、コンビニエンスストア、ファーストフード店、ドラッグストア店等

(4) 会員店舗

① 会員店舗数

3 年前と比較した会員店舗数について尋ねたところ、全体で「増えた」は 7.4%、「減った」は 62.8%、「変わらない」は 29.7%となっている。

前回（平成 24 年度）と比較すると、「増えた」、「変わらない」は組合組織、任意団体共に増加し、「減った」は組合組織、任意団体共に減少している。（図表 16）

（図表 16）会員店舗数

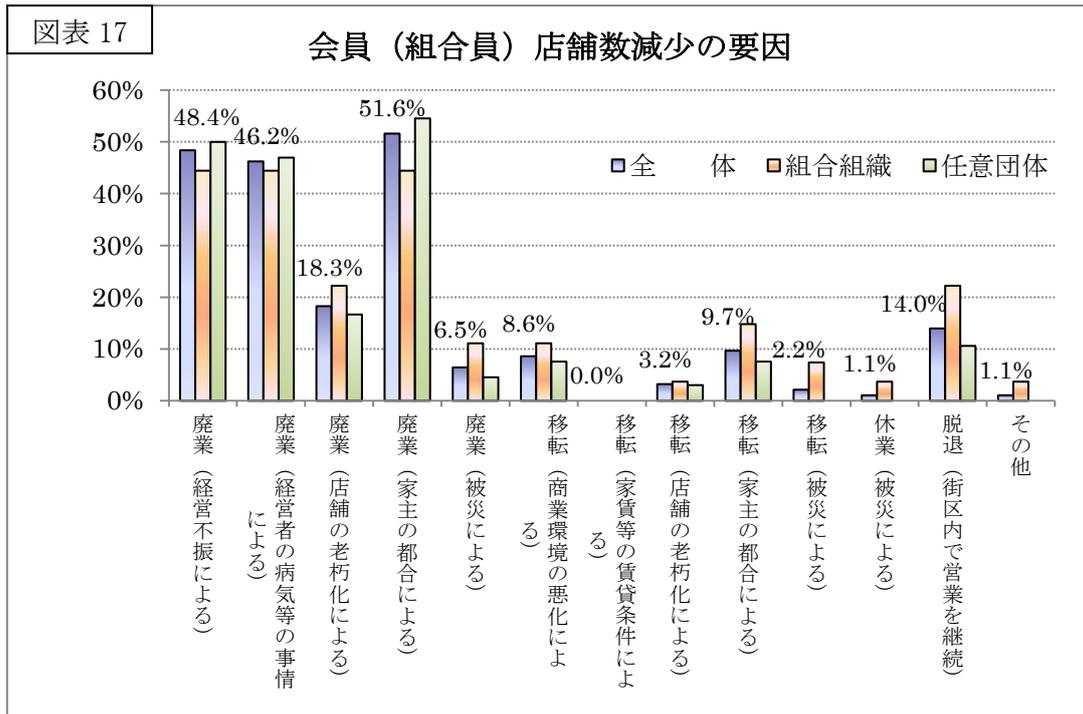
（単位：%、ポイント）

	増えた	変わらない	減った
全 体	7.4 (+2.4)	29.7 (+5.2)	62.8 (▲7.6)
組合組織	7.5 (+3.0)	25.0 (+4.5)	67.5 (▲7.5)
任意団体	7.4 (+2.2)	31.5 (+5.4)	61.1 (▲7.6)
組織間の差	▲0.1	6.5	▲6.4

② 会員店舗数減少の要因

会員店舗数の減少要因について尋ねたところ（最大回答数 3）、全体で「家主の都合による廃業」が 51.6%と最も多く、次いで「経営不振による廃業」が 48.4%、「経営者の病気等の事情による廃業」が 46.2%となっている。（図表 17）

また、会員店舗数が「減った」と答えた商店街の 9 割以上が、いずれかの廃業を減少要因にあげている。



(5) 店舗の入替わり

店舗の入替わりの頻度について尋ねたところ、「かなりある」と答えた商店街は3.4%で、「少しはある」が31.8%、「ほとんどない」と答えた商店街が64.9%となっている。

前回（平成24年度）と比較すると、組合組織の「かなりある」が前回よりも7.7ポイント増加しており、「ほとんどない」が15.7ポイント減少している。（図表18）

（図表 18）店舗の入替わり

（単位：%、ポイント）

	かなりある	少しはある	ほとんどない
全体	3.4 (+2.1)	31.8 (+4.1)	64.9 (▲6.2)
組合組織	10.0 (+7.7)	37.5 (+8.0)	52.5 (▲15.7)
任意団体	0.9 (0.0)	29.6 (+2.6)	69.4 (▲2.8)
組織間の差	▲ 1.4	▲ 2.5	4.0

【補足】

「入替わりがない」には、そのまま店舗が存在し続けている場合のほか、次のような場合を含む。

- ① 廃業や移転等によって空き店舗になった場合
- ② 代わりに入居する店舗がなく、空き店舗のままである場合

5 空き店舗

(1) 全店舗数と空き店舗数

空き店舗を含めた全店舗数の平均は組合組織で 33.9 店、任意団体で 33.8 店となっている。

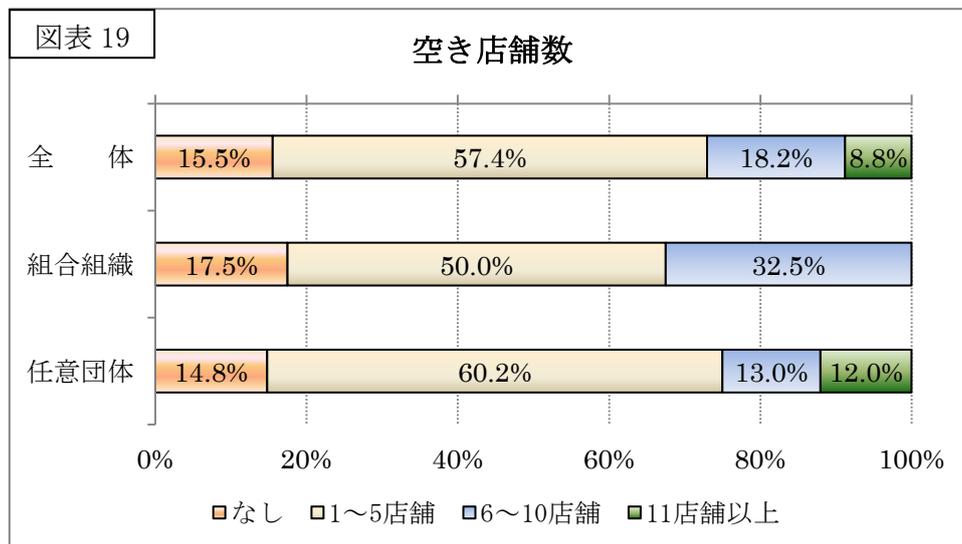
空き店舗数については、全体で 84.5%の商店街に 1 店以上の空き店舗があり、8.8%は 11 店以上空き店舗があると答えた。

組織形態別にみると、組合組織で 11 店以上空き店舗があると答えたのは 0%に対して、任意団体では 12.0%であった。(図表 19)

また、平均空き店舗数は組合組織で 4.1 店、任意団体で 4.6 店となっている。(図表 20)

【補足】

この調査において空き店舗とは「店舗として利用可能でありながら空いている建物の 1 階部分」のことである。



(図表 20) 空き店舗を含めた全店舗数

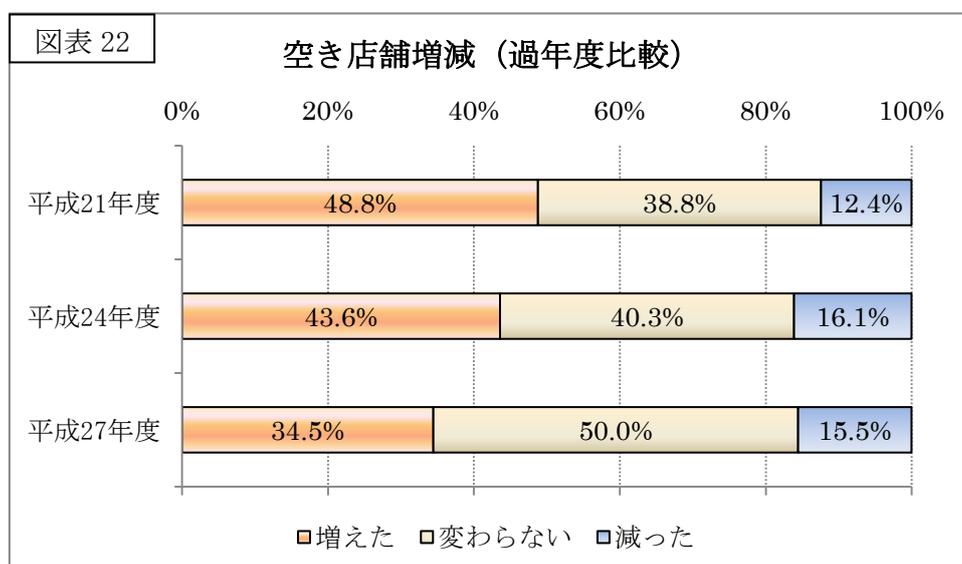
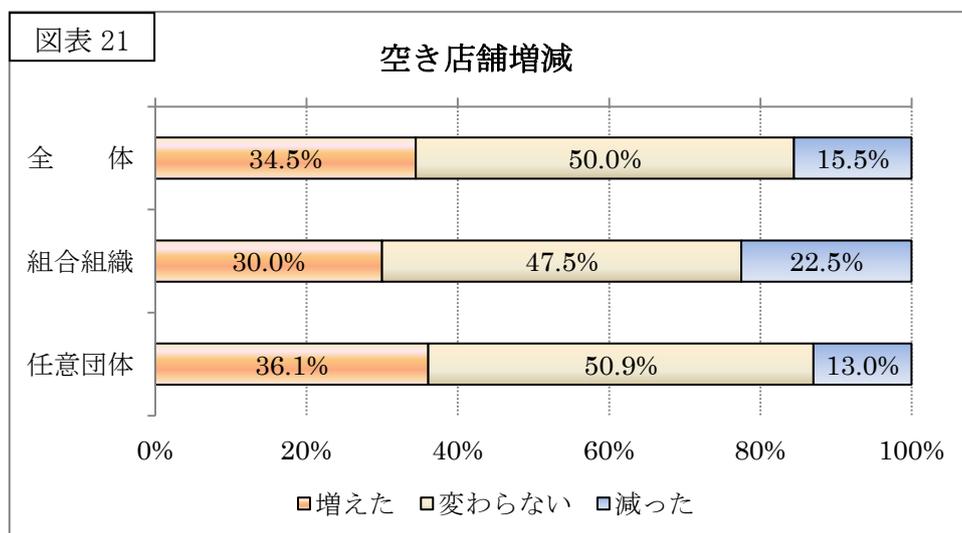
(単位：%、ポイント)

	全体	組合組織	任意団体	組織間の差
10 店舗以下	5.4	7.5	4.6	▲2.9
10~20 店舗未満	18.9	20.0	18.5	▲1.5
20~30 店舗未満	22.3	22.5	22.2	▲0.3
30~40 店舗未満	23.7	17.5	25.9	8.4
40~50 店舗未満	11.5	15.0	10.2	▲4.8
50~60 店舗未満	8.8	7.5	9.3	1.8
60 店舗以上	9.5	10.0	9.3	▲0.7
全店舗数平均(店)	33.8	33.9	33.8	
空き店舗数平均(店)	4.5	4.1	4.6	

(2) 空き店舗増減

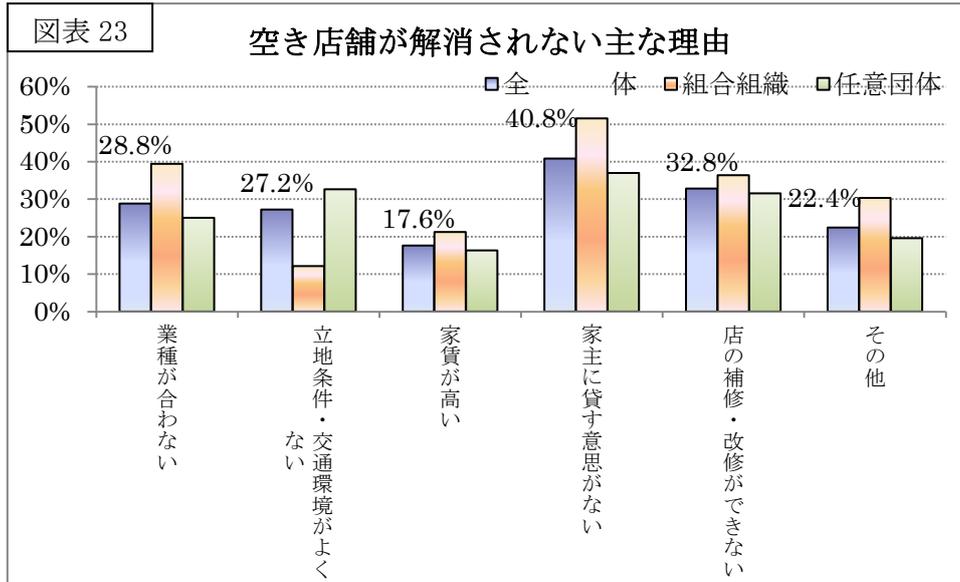
3年前と比較した空き店舗数について尋ねたところ、「増えた」と答えた商店街が34.5%で、「減った」が15.5%、「変わらない」が50.0%となっている。(図表 21)

前回(平成24年度)と比較すると、「増えた」と答えた商店街が9.1ポイント減少している。(図表 22)



(3) 空き店舗が解消されない理由

空き店舗が解消されない主な理由を尋ねたところ(最大回答数3)、「家主に貸す意思がない」が最も多く40.8%、次いで「店の補修・改修ができない」が32.8%であった。(図表 23)



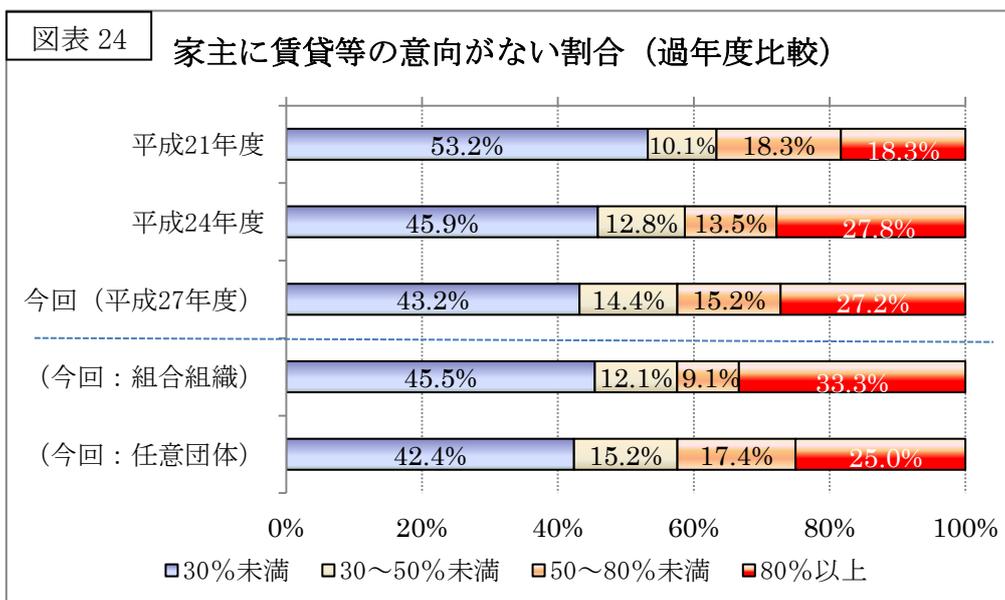
(4) 空き店舗対策

空き店舗の解消に向けた取組の実施の有無を尋ねたところ、「実施している」と答えた商店街は12.8%となっており、組織形態別にみると、組合組織で24.2%、任意団体で8.7%となっている。

実施している取組内容としては、「共同施設などとして組織で利用している」が最も多く、実施している商店街の37.5%が行っている。

(5) 家主の意向

空き店舗のうち家主に賃貸等の意向がない割合について尋ねたところ、「80%以上」と答えた商店街が27.2%となっており、組織形態別にみると、組合組織で「80%以上」と答えたのが33.3%で、任意団体よりも8.3ポイント高くなっている。(図表24)

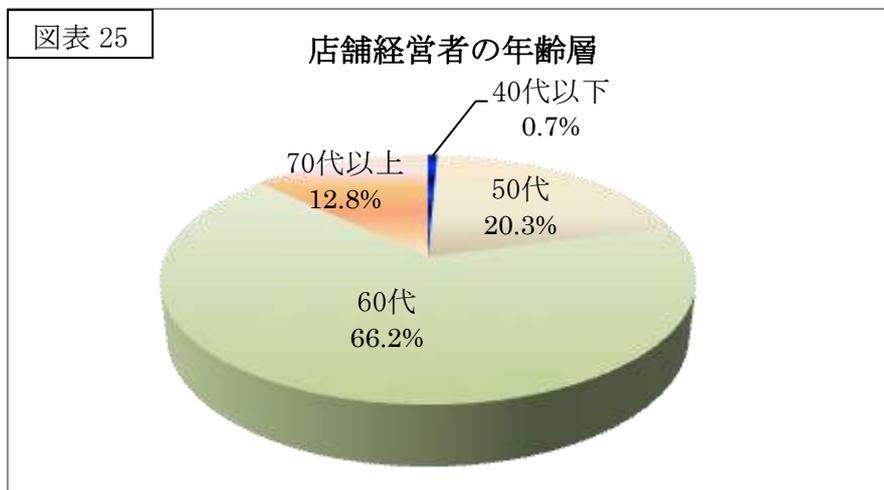


6 店舗経営者

(1) 店舗経営者の年齢層

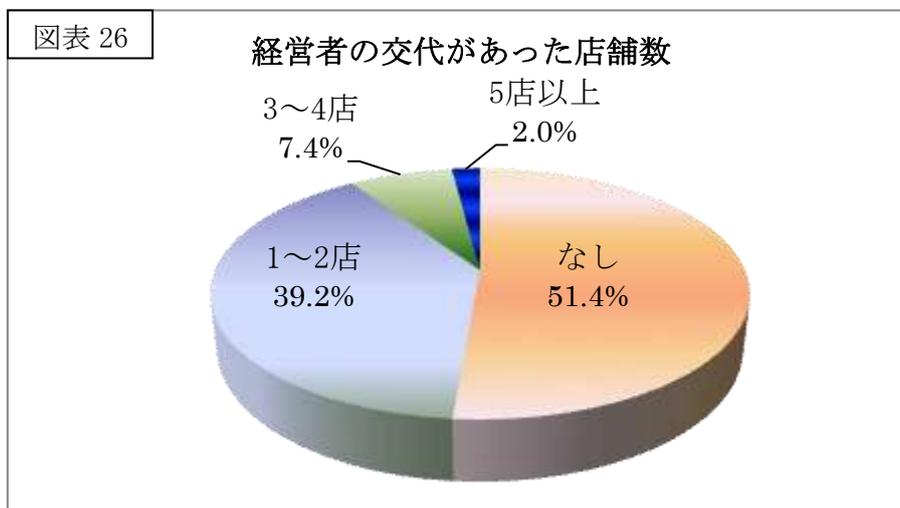
店舗経営者の最も多い年代について尋ねたところ、「60代」が最も多いと答えた商店街が66.2%で最も多く、「70代以上」と合わせると79.0%となっている。

また、「40代以下」と答えた商店街が0.7%あった。(図表25)



(2) 経営者の交代

過去3年間で経営者の交代があった店舗数について尋ねたところ、「なし」が51.4%、「1~2店」が39.2%、「3~4店」が7.4%、「5店以上」が2.0%であった。(図表26)

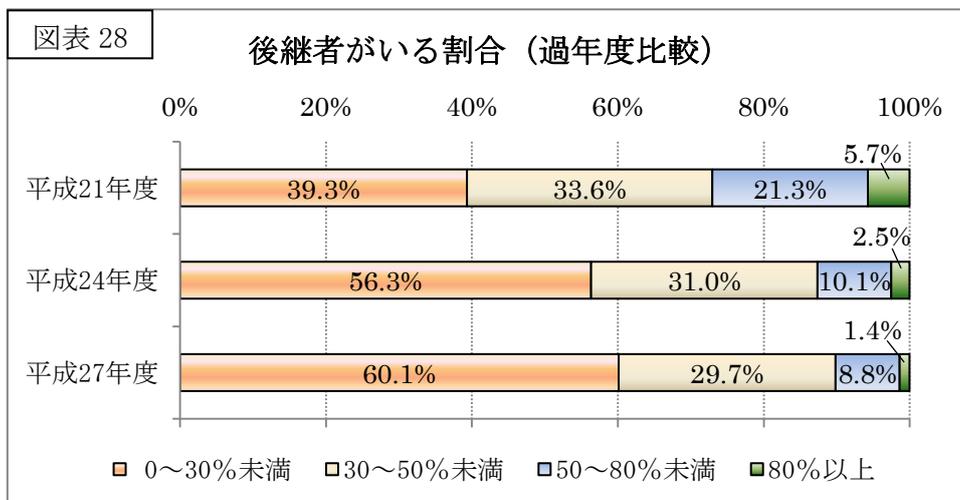
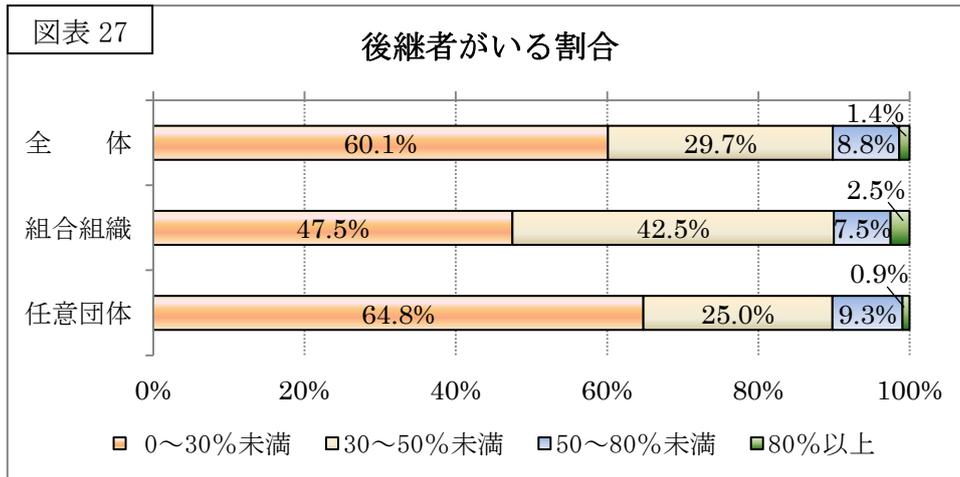


(3) 後継者

店舗経営者のうち後継者がいる割合について尋ねたところ、60.1%の商店街で「後継者がいる割合は30%未満」と答えており、「30~50%未満」が29.7%となっている。

組織形態別にみると、「後継者がいる割合は30%未満」は組合組織と任意団体で17.3ポイントの差がある。(図表27)

また、過去と比較すると、平成21年度以降、後継者がいる割合は減少傾向にある。(図表28)



(4) 自宅兼店舗の状況

自宅と店舗が同じ建物である割合を尋ねたところ、「50~80%未満」と答えた商店街が 27.0% で、最も割合が高いものの、他の選択肢とそれほど大きな差はない。

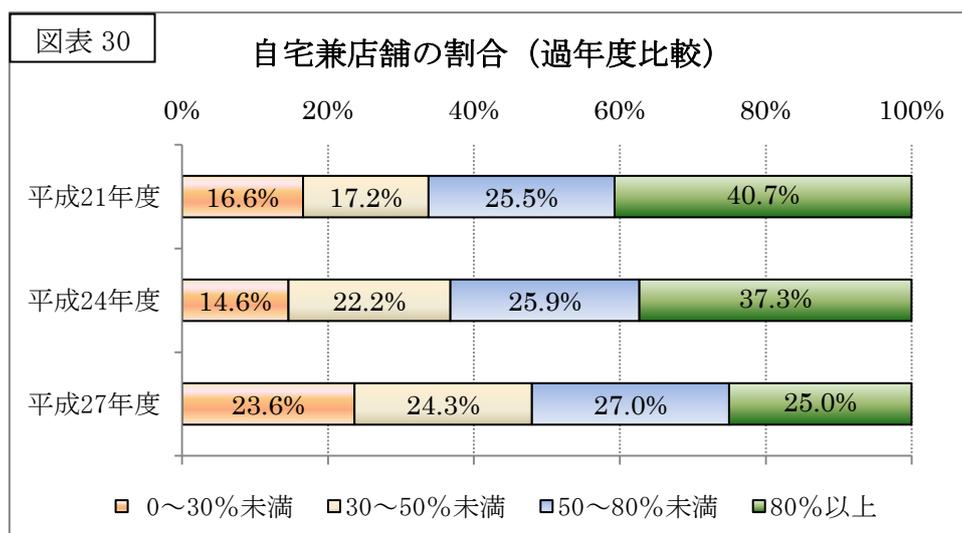
組織形態別にみると、「0~30%未満」は組合組織が任意団体より 15.6 ポイント高く、「50~80%未満」は任意団体が組合組織より 13.1 ポイント高くなっている。（図表 29）

なお、過年度との比較については図表 30 のとおりとなっている。

（図表 29）自宅兼店舗の割合

（単位：%、ポイント）

	0~30%未満	30~50%未満	50~80%未満	80%以上
全体	23.6 (+9.0)	24.3 (+2.1)	27.0 (+1.1)	25.0 (▲12.3)
組合組織	35.0 (+10.0)	25.0 (+11.4)	17.5 (▲9.8)	22.5 (▲11.6)
任意団体	19.4 (+8.9)	24.1 (▲1.3)	30.6 (+5.2)	25.9 (▲12.7)
組織間の差	▲15.6	▲0.9	13.1	3.4



7 組織活動

(1) 会員を対象にした会合の開催頻度

調査前年度（平成 26 年度）に行った、会員を対象にした会合の開催頻度を尋ねたところ、「年 1 回程度」及び「半年に 1 回程度」と答えた商店街がそれぞれ 25.0%で最も多い。（図表 31）

（図表 31）会員を対象にした会合の開催頻度

（単位：％）

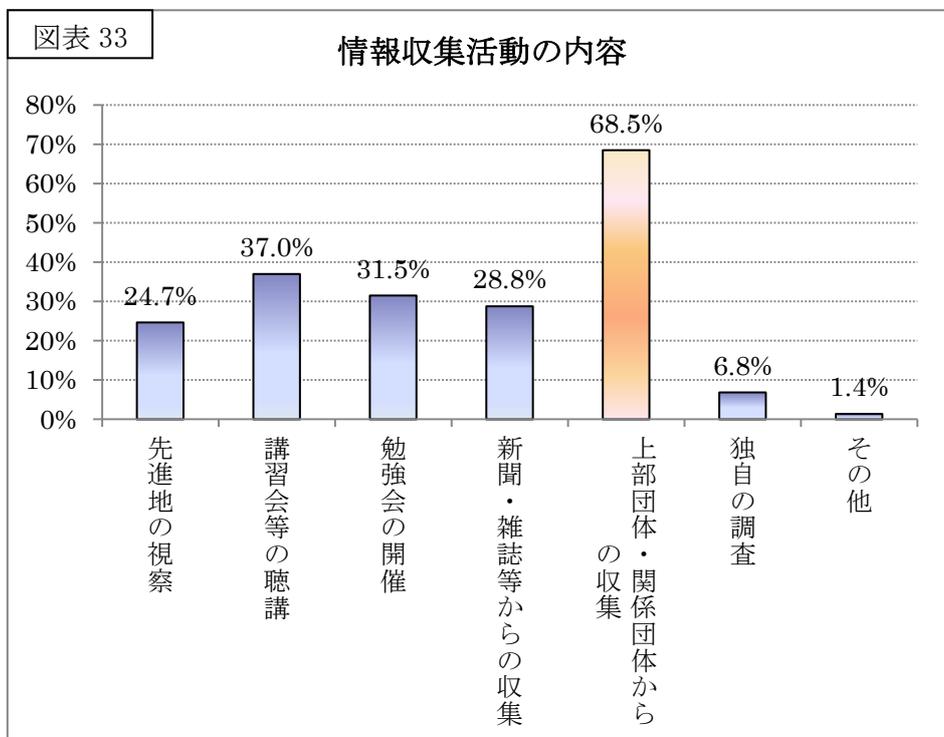
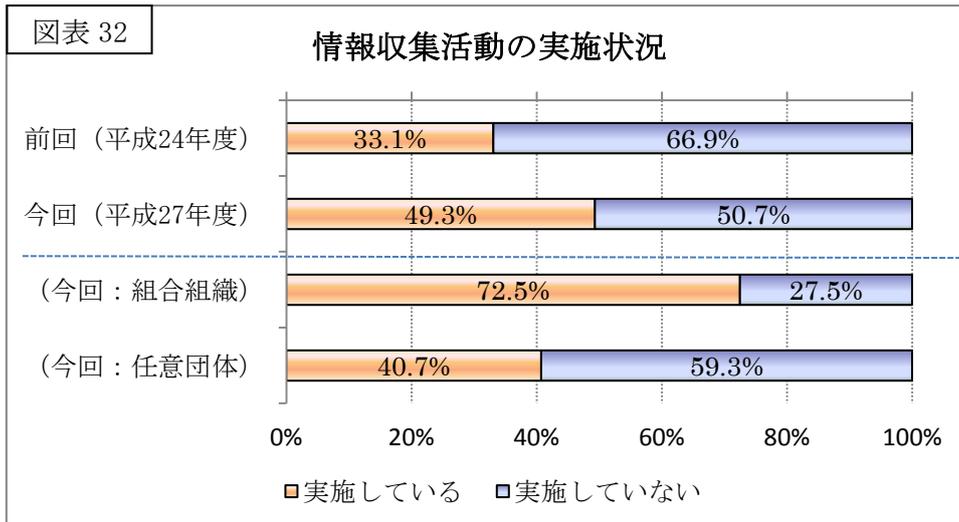
	年 1 回程度	半年に 1 回程度	四半期に 1 回程度	隔月に 1 回程度	月 1 回程度	月 2 回程度	開催していない
全 体	25.0	25.0	22.3	12.2	7.4	1.4	6.8
組合組織	35.0	30.0	12.5	7.5	7.5	5.0	2.5
任意団体	21.3	23.1	25.9	13.9	7.4	0.0	8.3

(2) 情報収集活動

情報収集活動の実施状況について尋ねたところ、何らかの情報収集活動を「実施している」と答えた商店街は 49.3%で、前回（平成 24 年度）よりも 16.2 ポイント増加している。

組織形態別にみると、組合組織では「実施している」が 72.5%であるのに対し、任意団体では 40.7%となっている。（図表 32）

また、「実施している」と答えた商店街に、実施内容を尋ねたところ（複数回答）、「上部団体・関係団体からの収集」が 68.5%、「講習会等の聴講」が 37.0%、「勉強会の開催」が 31.5%となっている。（図表 33）



(3) 年会費

平均年会費は図表 34 のとおりとなっている。

(図表 34) 平均年会費 (合計年会費額/商店街数)

(単位、円)

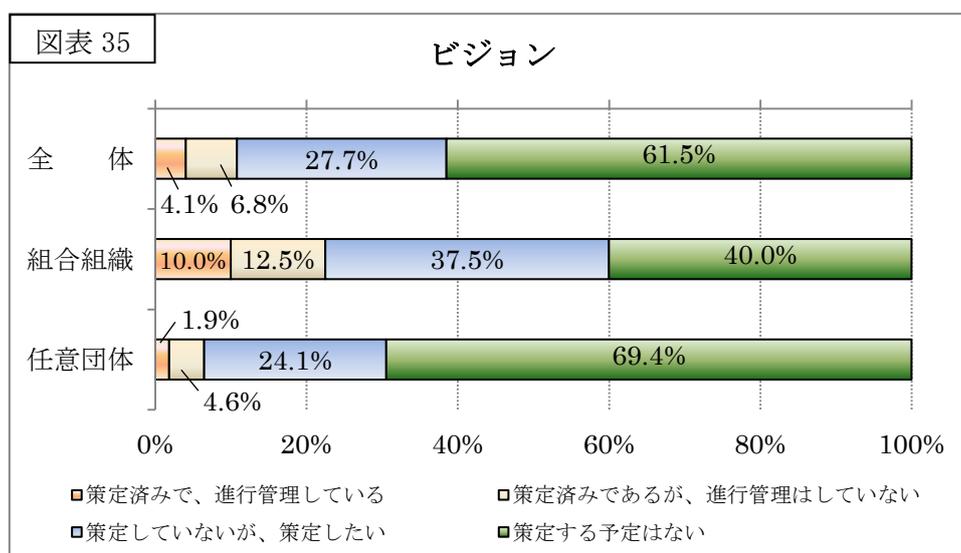
	平成 27 年度	平成 24 年度
全 体	21,343	18,979
組合組織	46,616	35,027
任意団体	11,982	13,247

※H24 年度の数値は正会員のみにを対象に集計したものである。

(4) ビジョン

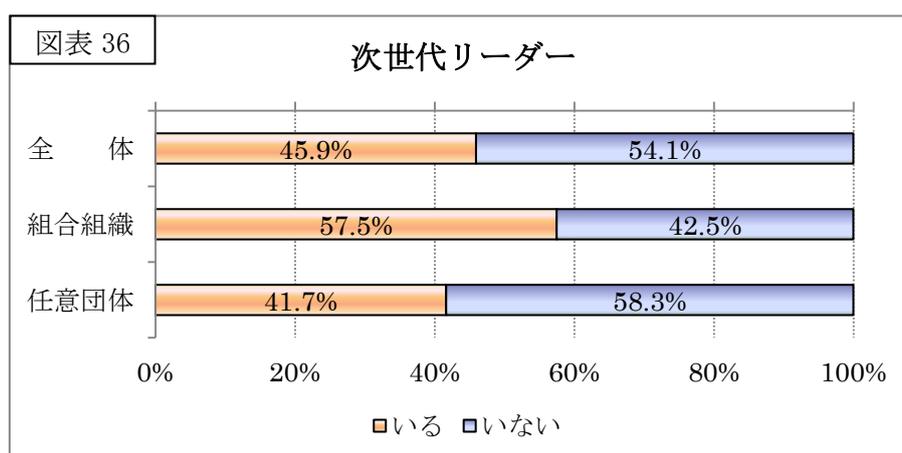
商店街のビジョン（将来構想）又は中・長期計画の策定状況について尋ねたところ、「策定済みで進行管理している」と答えた商店街は4.1%であり、「策定済みであるが、進行管理はしていない」が6.8%となっている。

また、組織形態別にみると、組合組織では「策定済み」が22.5%に対して、任意団体では6.5%となっている。（図表 35）



(5) 次世代リーダー

次世代リーダーの有無について尋ねたところ、45.9%の商店街で「いる」と答えており、組織形態別にみると、組合組織では57.5%で任意団体より15.8ポイント高い。（図表 36）



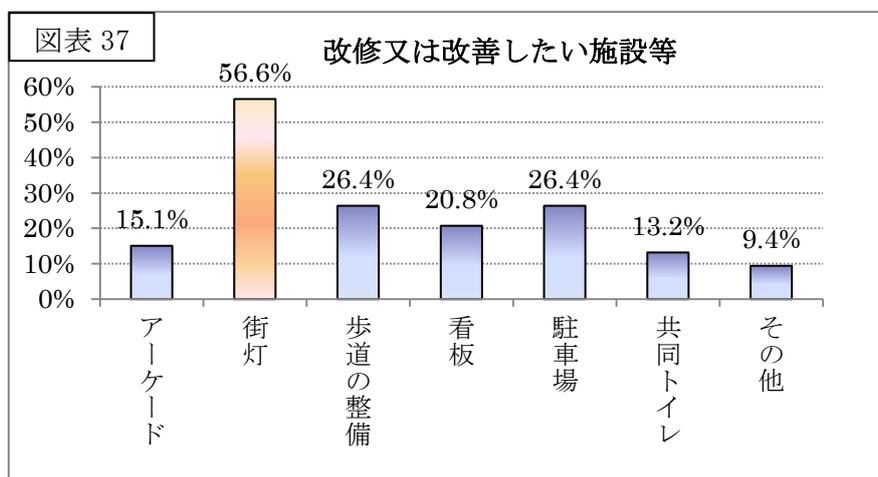
8 施設整備の状況

(1) 共有の既存施設の状況

共有の既存施設等で改修又は改善したいものの有無について尋ねたところ、35.8%の商店街で「ある」と答えた。

また、「ある」と答えた商店街にその内容を尋ねたところ、「街灯」が56.6%で最も多かった。

(図表 37)



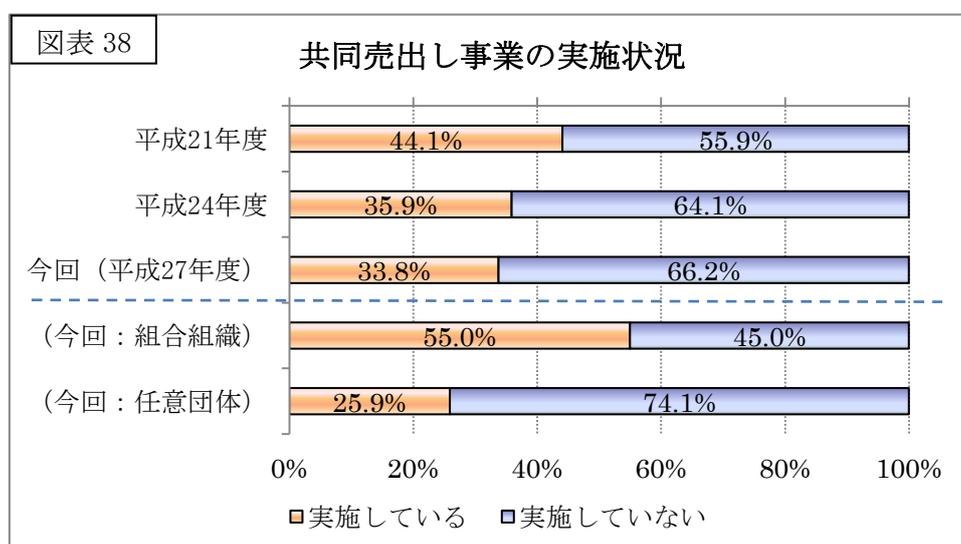
9 共同経済事業

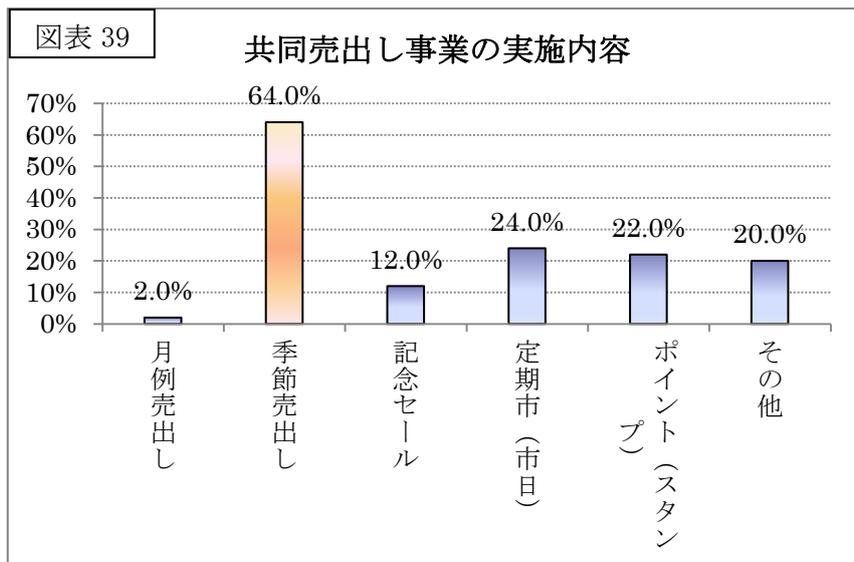
(1) 共同売出し事業

共同売出しを実施しているか尋ねたところ、33.8%の商店街が何らかの共同売出し事業を「実施している」と答えた。組織形態別にみると、組合組織では55.0%に対して任意団体では25.9%となっており、組織間の差が大きい。

また、平成21年度以降で比較すると、「実施している」商店街の割合は減少傾向にある。(図表 38)

「実施している」と答えた商店街に実施内容を尋ねたところ、「季節売出し」と答えた商店街が64.0%と最も多い。(図表 39)





(2) 集客イベント回数

調査前年度（平成 26 年度）に実施した集客イベントの回数を尋ねたところ、1 回以上実施している商店街は 58.1%で、そのうち 6 回以上実施している商店街は 10.1%となっている。

組織形態別にみると、「0 回」の商店街は、組合組織で 17.5%に対して任意団体では 50.9%となっており、組織間の差は大きい。

また、平均実施回数（実施総数/実施箇所数）は、組合組織で 5.0 回、任意団体で 2.3 回となっている。（図表 40）

（図表40）昨年度の集客イベント回数

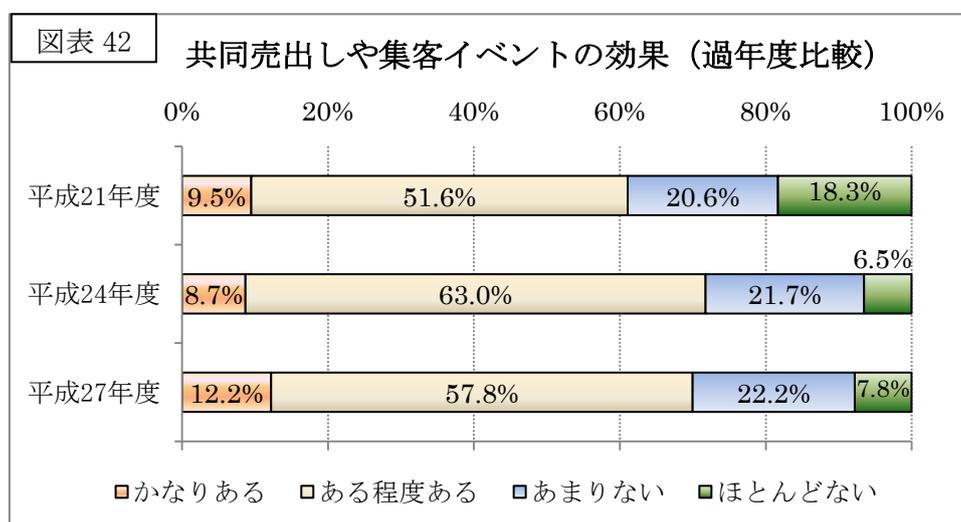
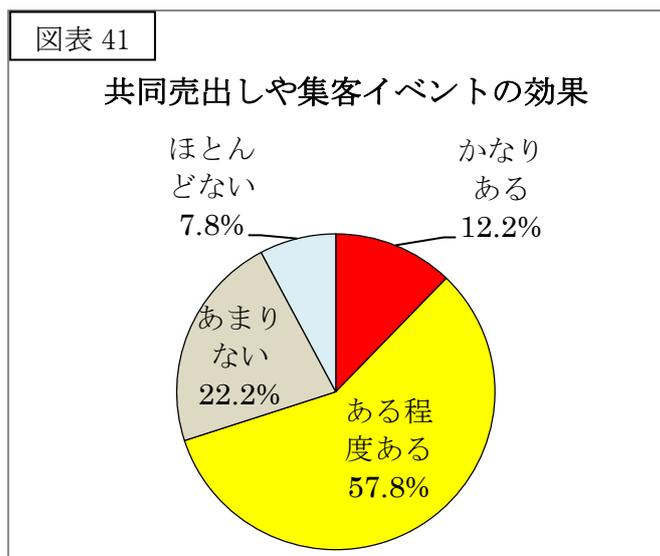
（単位：％、ポイント、回）

	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上	平均実施回数
全 体	41.9 (+3.5)	27.0 (+6.2)	9.5 (▲8.9)	7.4 (▲3.0)	2.7 (▲0.5)	1.4 (+0.6)	10.1 (+2.1)	3.4 (+0.1)
組合組織	17.5 (+11.0)	25.0 (▲4.0)	15.0 (▲7.6)	7.5 (▲5.4)	2.5 (▲4.0)	2.5 (▲0.7)	30.0 (+10.6)	5.1 (+0.2)
任意団体	50.9 (+2.0)	27.8 (+9.7)	7.4 (▲9.6)	7.4 (▲2.2)	2.8 (+0.7)	0.9 (+0.9)	2.8 (▲1.5)	2.4 (0.0)
組織間の差	33.4	2.8	▲7.6	▲0.1	0.3	▲1.6	▲27.2	

(3) 共同事業の集客効果

共同売出し又は集客イベントを実施している商店街に、それらの共同事業の集客効果について尋ねたところ、「かなりある」、「ある程度ある」を合わせると 70.0%で、「あまりない」、「ほとんどない」を合わせると 30.0%となっている。（図表 41）

また、過年度比較については図表 42 のとおりとなっている。



(4) 新たに取り組んでいる共同事業

過去3年前と比較して、新たに取り組んでいる共同事業の有無について尋ねたところ、13.5%の商店街で「ある」と答えた。

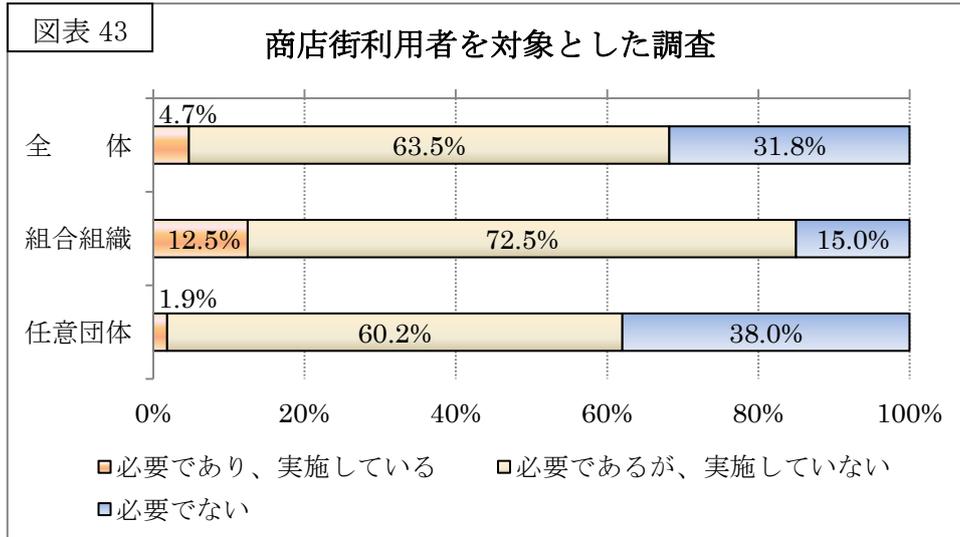
「ある」と答えた商店街に内容を尋ねたところ、「新たな集客イベント」や「他団体との連携事業」のほか、県や市などの「補助事業の活用」などがあつた。

10 地域との関わり

(1) 商店街利用者を対象とした調査（アンケート等）について

商店街利用者を対象とした調査（アンケート等）の実施の有無について尋ねたところ、「必要であり実施している」と答えた商店街は4.7%となっており、前回（平成24年度）と比較すると2.7ポイント増加している。

また、組織形態別にみると、「必要でない」は組合組織で15.0%に対して任意団体では38.0%となっており、組織間の差が大きい。（図表43）



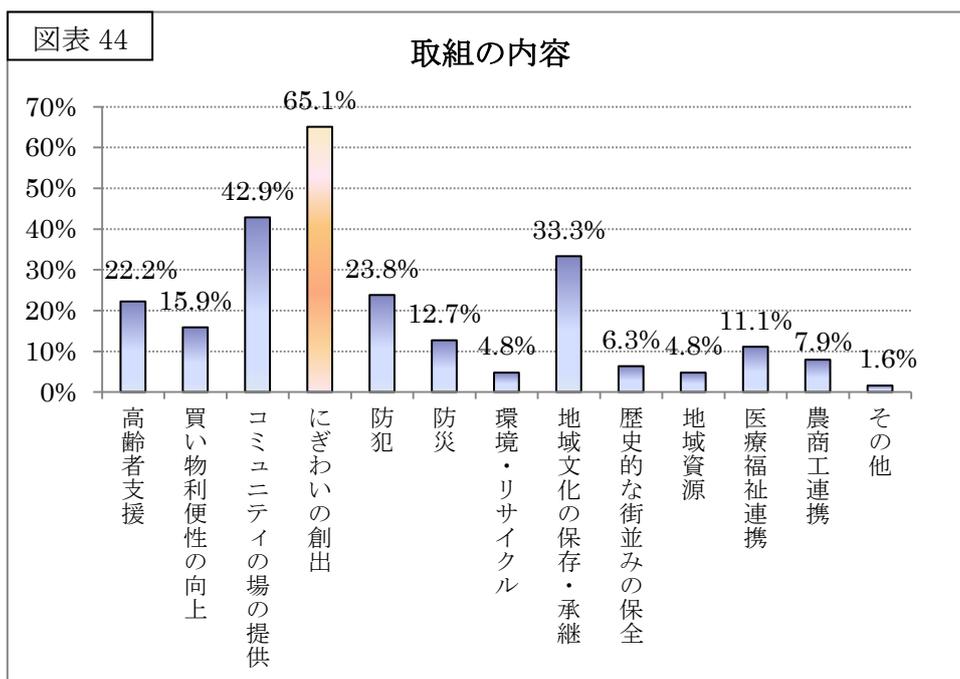
(2) 地域住民のニーズに応じた活動への取組

地域住民のニーズに応じた活動への取組状況を尋ねたところ、42.6%の商店街が「取り組んでいる」と答えた。

組織形態別にみると、「取り組んでいる」と答えた商店街は、組合組織で60.0%、任意団体では36.1%となっている。

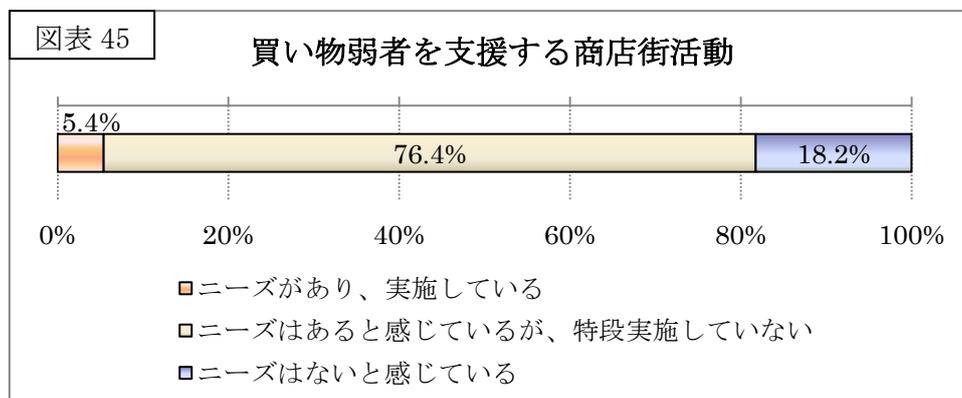
「取り組んでいる」と答えた商店街にその内容を尋ねたところ（複数回答）、「にぎわいの創出」が65.1%で一番多く、次いで「コミュニティの場の提供」42.9%、「地域文化の保存・継承」33.3%となっている。（図表 44）

なお、選択肢を一部変更していることから、過年度比較をすることは難しい。



(3) 買い物弱者支援の実施状況

買い物弱者を支援する商店街活動について尋ねたところ、「ニーズがあり、実施している」と答えた商店街は、5.4%となっているものの、ニーズがあると感じている商店街（「ニーズはあると感じているが、特段実施していない」を含む）は81.8%となっている。（図表 45）

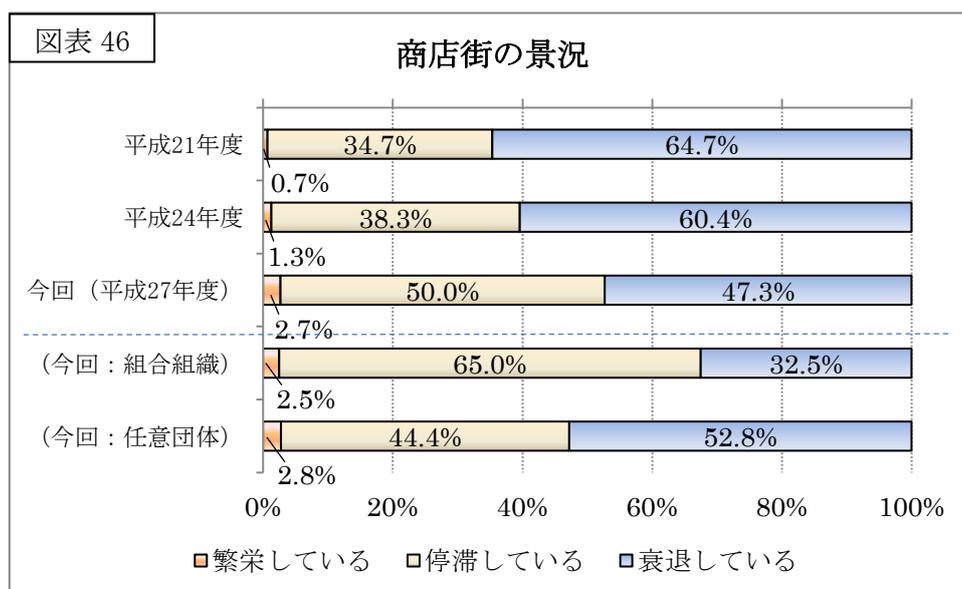


11 景況・その他

(1) 最近の景況

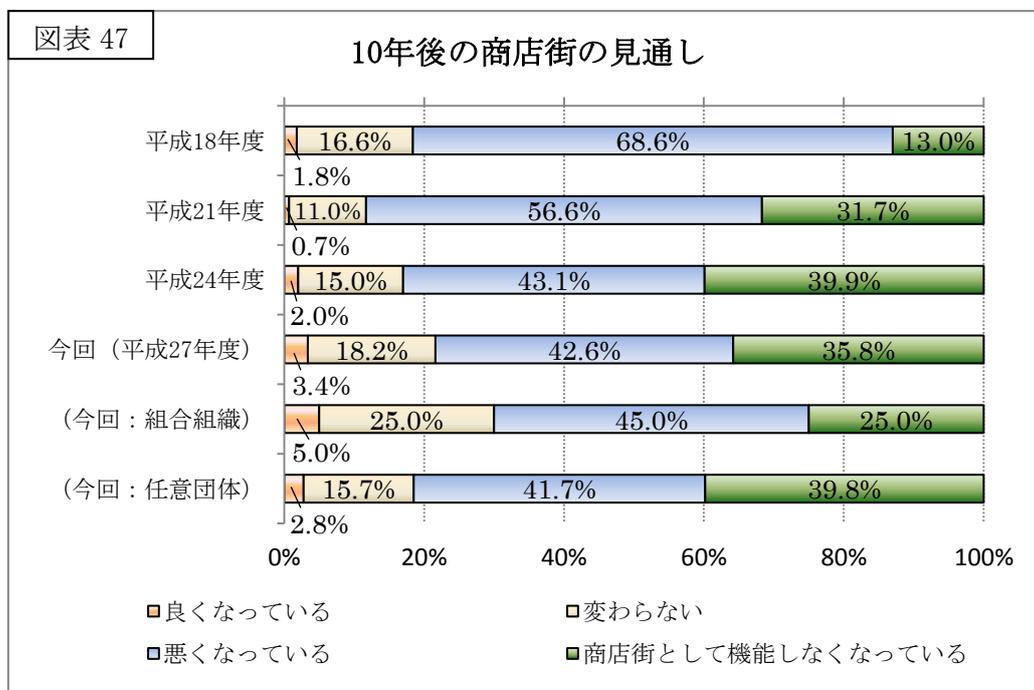
最近の景況について尋ねたところ、「繁栄している」と答えた商店街は2.7%となっており、組織形態別にみると、組合組織では2.5%、任意団体では2.8%となっている。

また、任意団体では52.8%が「衰退している」と答えており、組合組織より20.3ポイント高くなっている。（図表46）



(2) 今後の見通し

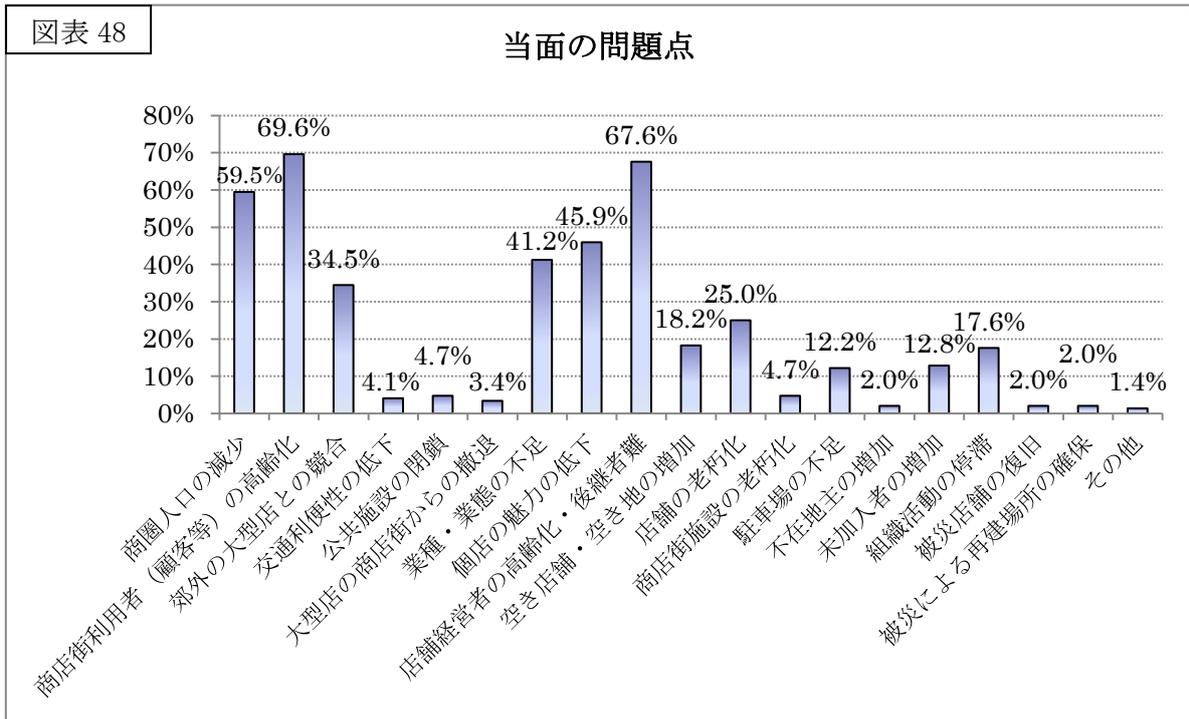
最近の景況と比較した10年後の商店街の景況について尋ねたところ、「良くなっている」と答えた商店街は3.4%で、「悪くなっている」又は「商店街として機能しなくなっている」と答えた商店街が合わせて78.4%となっている。(図表47)



(3) 当面の問題点

当面の問題点について尋ねたところ(最大回答数5)、「商店街利用者(顧客等)の高齢化」が最も多く69.6%で、次いで、「店舗経営者の高齢化・後継者難」が67.6%、「商圈人口の減少」が59.5%となっている。(図表48)

なお、前回(平成24年度)と比較すると、(選択肢が一部変更となっているが)上位6項目までの順番が同一であった。(図表49)



(図表49) 当面の問題点（過年度比較）

今回（平成 27 年度）		前回（平成 24 年度）	
①商店街利用者（顧客等）の高齢化	69.6%	①商店街利用者（顧客等）の高齢化	69.2%
②店舗経営者の高齢化・後継者難	67.6%	②店舗経営者の高齢化・後継者難	66.7%
③商圈人口の減少	59.5%	③商圈人口の減少	53.5%
④個店の魅力の低下	45.9%	④個店の魅力の低下	52.2%
⑤業種・業態の不足	41.2%	⑤業種・業態の不足	47.8%
⑥郊外の大型店との競合	34.5%	⑥郊外の大型店との競合	44.0%
⑦店舗の老朽化	25.0%	⑦空き店舗・空き地の増加	30.2%

(4) 身近に感じる機関・団体

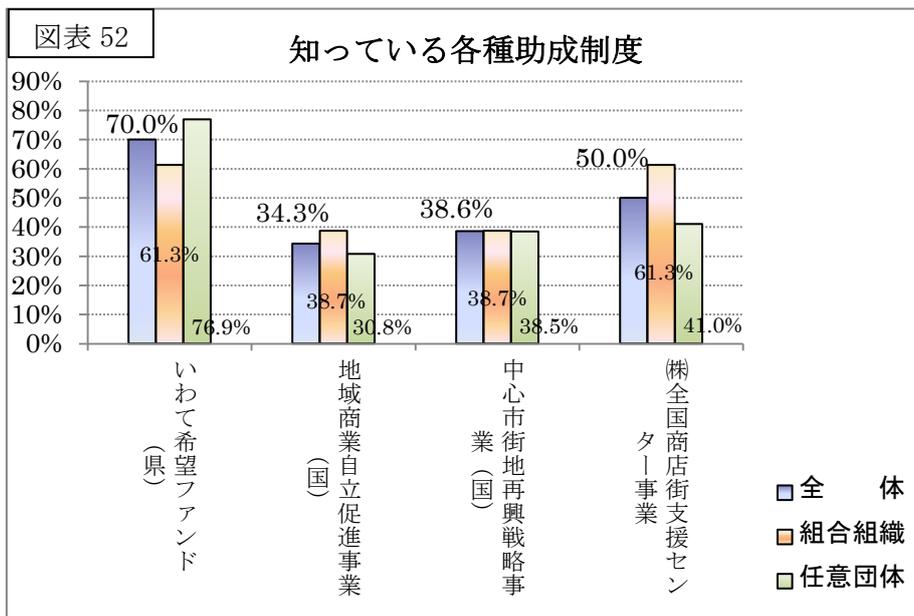
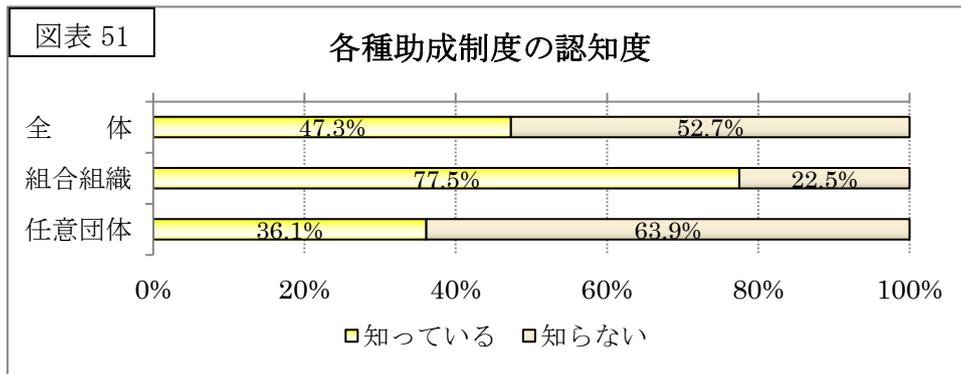
市町村や商工団体を除く、身近に感じる行政機関や経済団体等について尋ねたところ（最大回答数3）、図表50のとおりであった。

(図表50) 身近に感じる機関・団体

	全 体	組合組織	任意団体
岩手県商店街振興組合連合会	22.3%	47.5%	13.0%
岩手県中小企業団体中央会	39.9%	85.0%	23.1%
岩手県商工会連合会	41.9%	32.5%	45.4%
(財)いわて産業振興センター	9.5%	5.0%	11.1%
独立行政法人 中小企業基盤整備機構	1.4%	0.0%	1.9%
(株)全国商店街支援センター	6.1%	12.5%	3.7%
岩手県 (県庁)	8.1%	0.0%	11.1%
岩手県 (広域振興局)	19.6%	20.0%	19.4%
経済産業省 (中小企業庁)	2.0%	0.0%	2.8%
経済産業省 (東北経済産業局)	4.1%	7.5%	2.8%

(5) 国、県等の各種助成制度の認知度

国、県等の各種助成制度の認知度を尋ねたところ、図表 51 及び図表 52 のとおりであった。



II 仮設商店街

1 仮設商店街一覧

NO.	市町村	名 称	整備した機関
1	宮古市	たろちゃんハウス	中小機構
2	山田町	山田町仮設店舗・E工区	山田町
3	山田町	八幡商店街	山田町
4	山田町	高砂商店街	山田町
5	山田町	川向商店街	山田町
6	大槌町	わらびっこ商店街	中小機構
7	大槌町	大槌北小 福幸きらり商店街	中小機構
8	釜石市	鶉！（う～の）はまなす商店街	中小機構
9	釜石市	平田パーク商店街	中小機構
10	釜石市	復興天神 15 商店街	中小機構
11	釜石市	鶉住居神ノ沢地区仮設企業団地	中小機構
12	釜石市	青葉公園商店街	中小機構
13	釜石市	釜石はまゆり飲食店街	中小機構
14	大船渡市	中赤崎商店街	中小機構
15	大船渡市	地の森八軒街	中小機構
16	大船渡市	地ノ森ヒルズ	中小機構
17	大船渡市	末崎町ふれあい商店街	中小機構
18	大船渡市	大船渡屋台村	中小機構
19	大船渡市	復興おおふなとプレハブ横丁	中小機構
20	大船渡市	おおふなと夢商店街	中小機構
21	陸前高田市	栃ヶ沢ベース	中小機構
22	陸前高田市	再生の里ヤルキタウン	中小機構
23	陸前高田市	陸前高田未来商店街	中小機構
24	陸前高田市	陸前高田元気会	中小機構
25	陸前高田市	高田大隅つどいの丘商店街	中小機構
仮設商店街数(基準日:H27.9.1) 25箇所			

2 組織

(1) 組織形態

平成 27 年 9 月 1 日現在の調査対象に該当する仮設商店街数は 25 箇所であり、その内、「商店街振興組合」は 0 箇所、「事業協同組合」は 2 箇所、任意団体は 23 箇所となっている。

(2) 専用事務所

専用事務所の形態については、「仮施設内」が 24.0%、「仮施設外」が 4.0%、「なし」が 72.0%であった。

(3) 専従職員数

専従職員数については、24.0%の仮設商店街で 1 名以上の専従職員が在職しているとの回答であった。

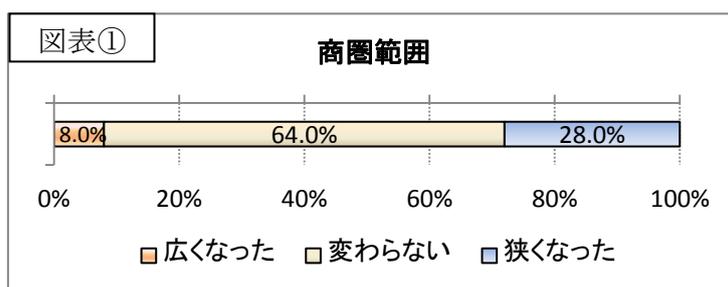
(4) 設立の時期

設立の時期については、調査対象のすべての仮設商店街が、被災後に設立したものであり、被災前からある商店街組織が仮設商店街として継続して存在しているものはなかった。

3 商業環境

(1) 商圈範囲

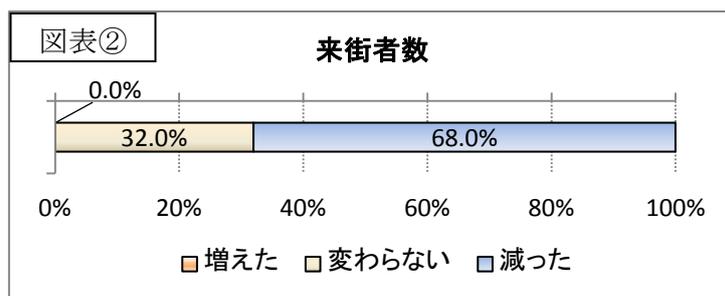
開設当初と比較した商圈範囲について尋ねたところ、「広がった」と答えた仮設商店街は 8.0%、「狭くなった」と答えたのは 28.0%、「変わらない」が 64.0%であった。(図表①)

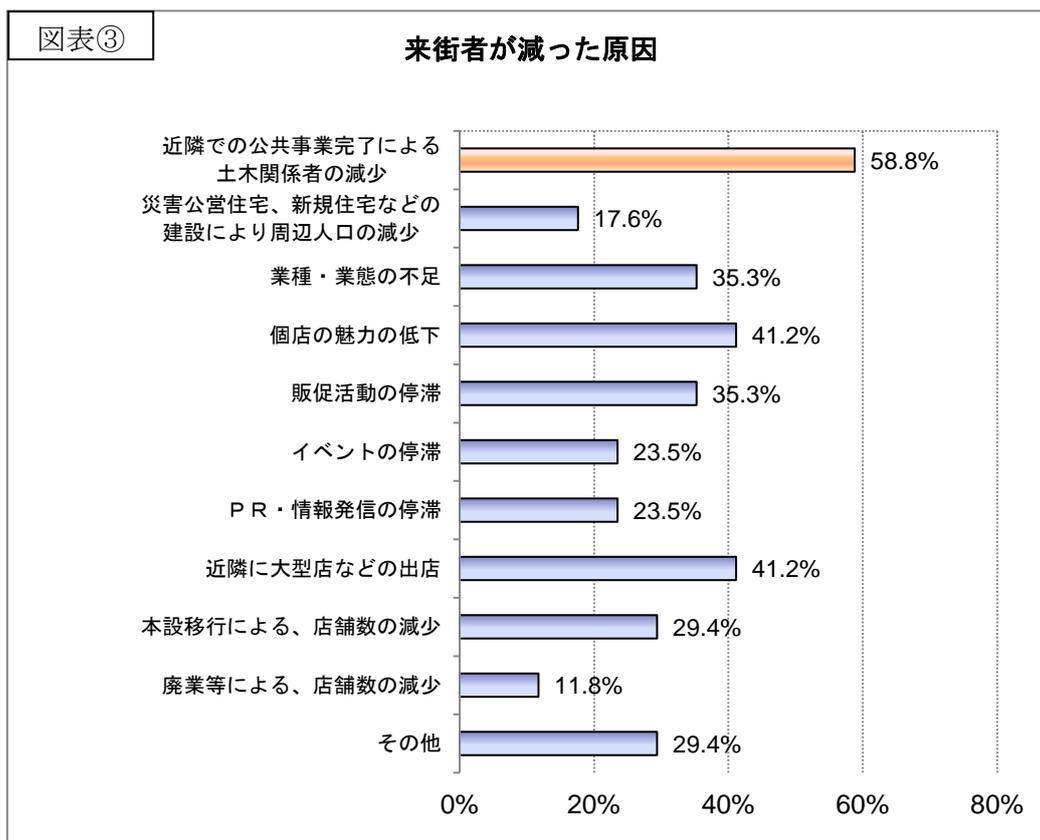


(2) 来街者

開設当初と比較した来街者数について尋ねたところ、「増えた」と答えた仮設商店街は無く、「減った」が 68.0%、「変わらない」が 32.0%となっている。(図表②)

また、「減った」と答えた仮設商店街に、その原因を尋ねたところ(複数回答)、「近隣での公共事業完了による土木関係者の減少」が 58.8%と最も多く、次いで「個店の魅力の低下」、「近隣に大型店などの出店」がそれぞれ 41.2%となっている。(図表③)

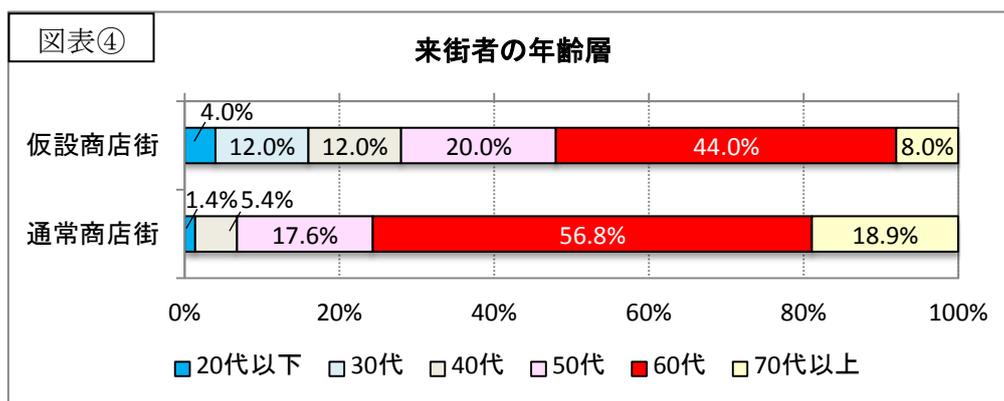




(3) 来街者の年齢層

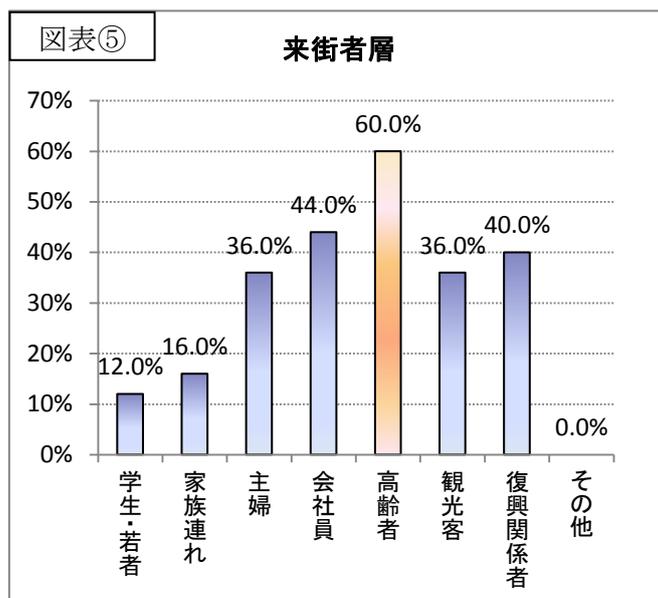
現在の来街者の最も多い年代について尋ねたところ、「60代」が44.0%と最も多く、「70代以上」と合わせると52.0%となっており、通常商店街と比較すると、23.7ポイント低い。(図表④)

また、「20代以下」と「30代」を合わせた割合については、仮設商店街が14.6ポイント高い。



(4) 来街者層

現在の主な来街者層について尋ねたところ（最大回答数3）、「高齢者」が60.0%で最も多く、次いで「会社員」が44.0%、「復興関係者」が40.0%となっている。(図表⑤)

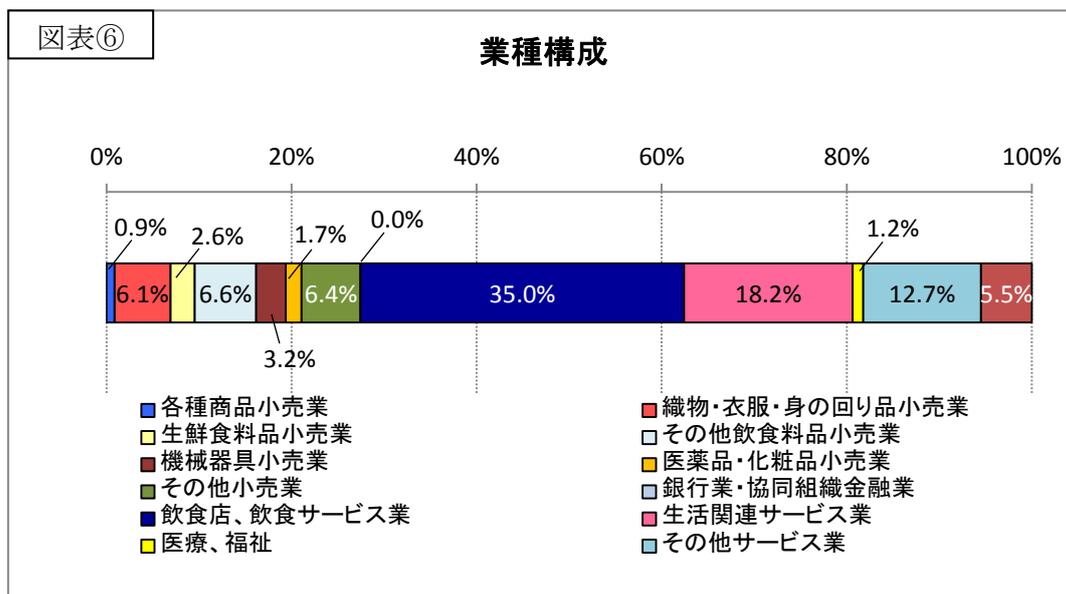


4 店舗と業種構成

(1) 店舗数及び業種構成

店舗数について尋ねたところ、仮設商店街の平均店舗数は14.2店舗であった。

また、業種構成については、下表のとおりであった。(図表⑥)



(2) チェーン店数

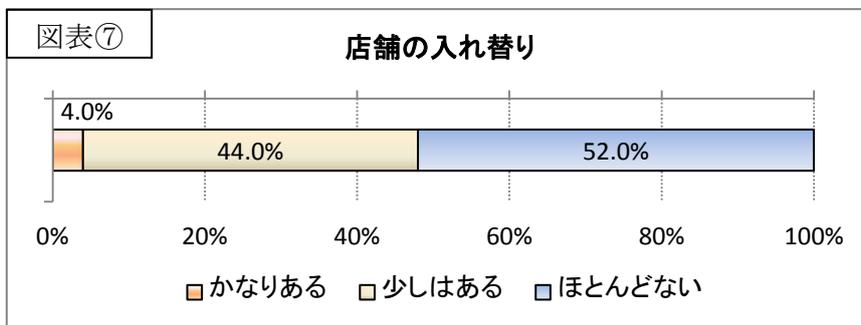
上記、業種構成で答えた店舗のうち、チェーン店の数について尋ねたところ、5商店街にチェーン店が含まれており、5商店街の平均チェーン店数は1.2店であった。

【補足】

「チェーン店」とは、ブランドや営業等が多数の店舗で统一的に管理された店舗とする。
例：スーパー、コンビニエンスストア、ファーストフード店、ドラッグストア店等

(3) 店舗の入れ替り

店舗の入れ替りの頻度について尋ねたところ、「ほとんどない」と答えた仮設商店街が52.0%と最も多い。(図表⑦)

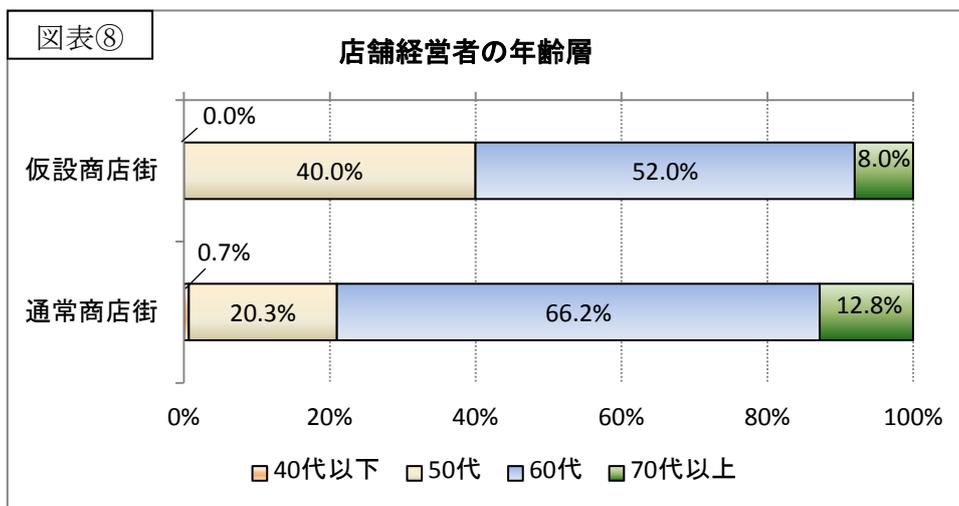


5 店舗経営者

(1) 店舗経営者の年齢層

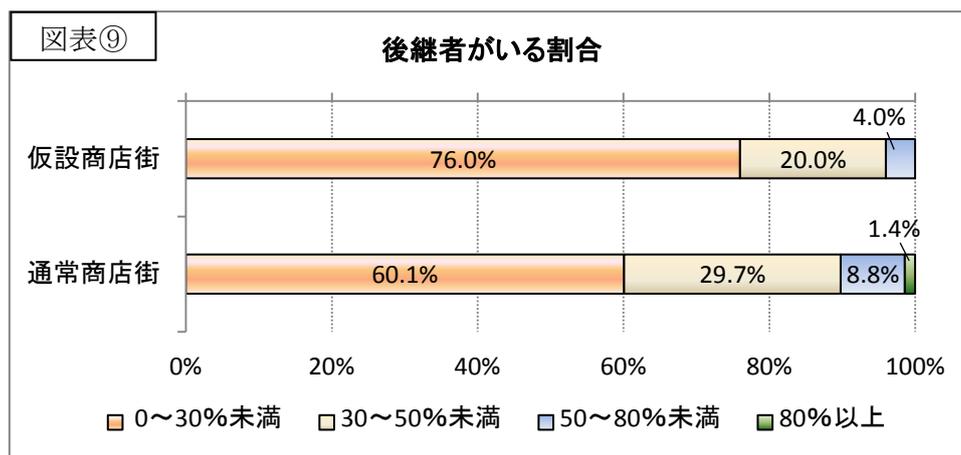
店舗経営者の最も多い年代について尋ねたところ、「60代」が52.0%と最も多く、次いで「50代」が40.0%となっている。

また、通常商店街と比較すると、「50代」が通常商店街より14.2ポイント高い。(図表⑧)



(2) 後継者

後継者がいる割合について尋ねたところ、76.0%の商店街で「0~30%未満」と答えており、「80%以上」は0%となっている。(図表⑨)



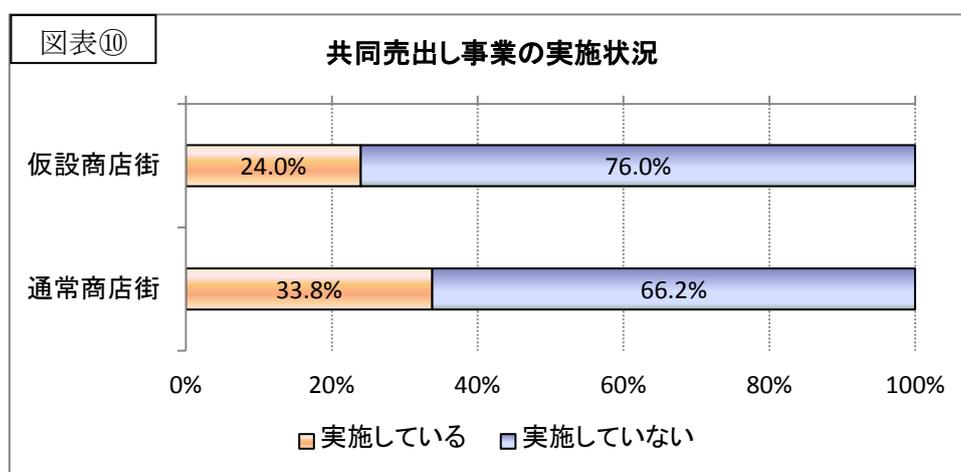
6 共同経済事業

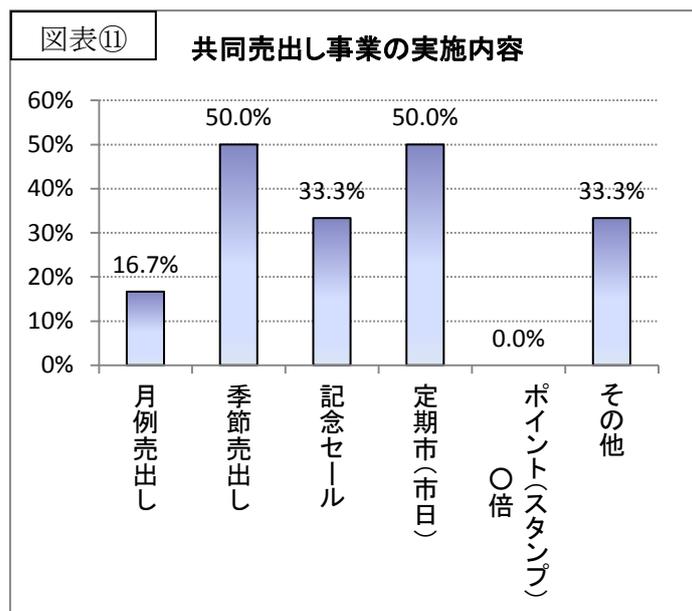
(1) 共同売出し事業

共同売出しを実施しているか尋ねたところ、24.0%の仮設商店街が何らかの共同売出しを「実施している」と答えた。

また、通常商店街と比較すると、「実施している」と答えた割合は、通常商店街より9.8ポイント低い。(図表⑩)

なお、共同売出し事業の取組内容は図表⑪のとおりであった。(複数回答)





(2) 集客イベント回数

昨年度（平成 26 年度）に実施した集客イベントの回数を尋ねたところ、1 回以上実施している仮設商店街は 52.0%となっており、そのうち「6 回以上」実施している仮設商店街は 28.0%となっている。

また、集客イベントを実施している仮設商店街の平均実施回数（実施総数/実施箇所数）は 9.1 回となっている。（図表⑫）

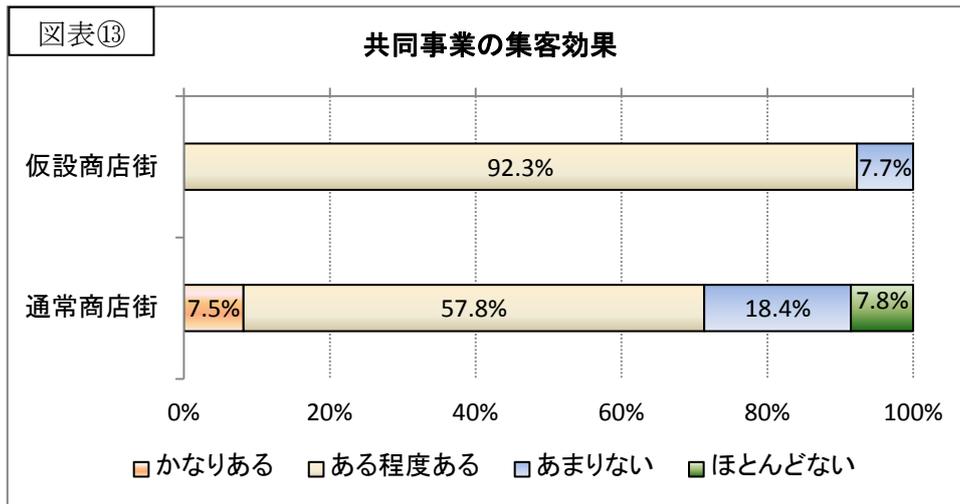
（図表⑫）昨年度の集客イベント回数

（単位：%、回）

	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上	平均回数
仮設商店街	48.0	16.0	0.0	0.0	4.0	4.0	28.0	9.1
通常商店街	41.9	27.0	9.5	7.4	2.7	1.4	10.1	3.4

(3) 共同事業の集客効果

共同売出し又は集客イベントを実施している仮設商店街に、それらの共同事業の集客効果について尋ねたところ、「かなりある」と答えた仮設商店街は 0.0%、「ある程度ある」は 92.3%、「あまりない」は 7.7%、「ほとんどない」は 0.0%となっている。（図表⑬）



(4) 新たに取り組んでいる共同事業

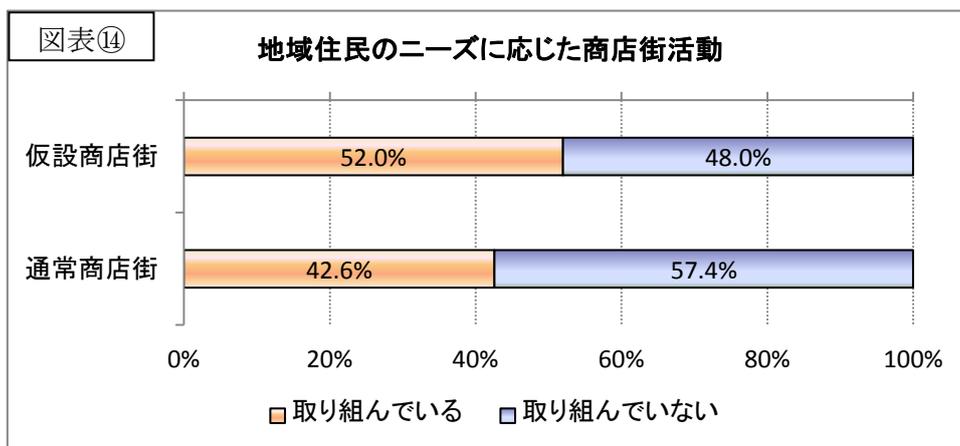
開設当初と比較して、新たに取り組んでいる共同事業の有無を尋ねたところ、12.0%の仮設商店街で「ある」と答えた。

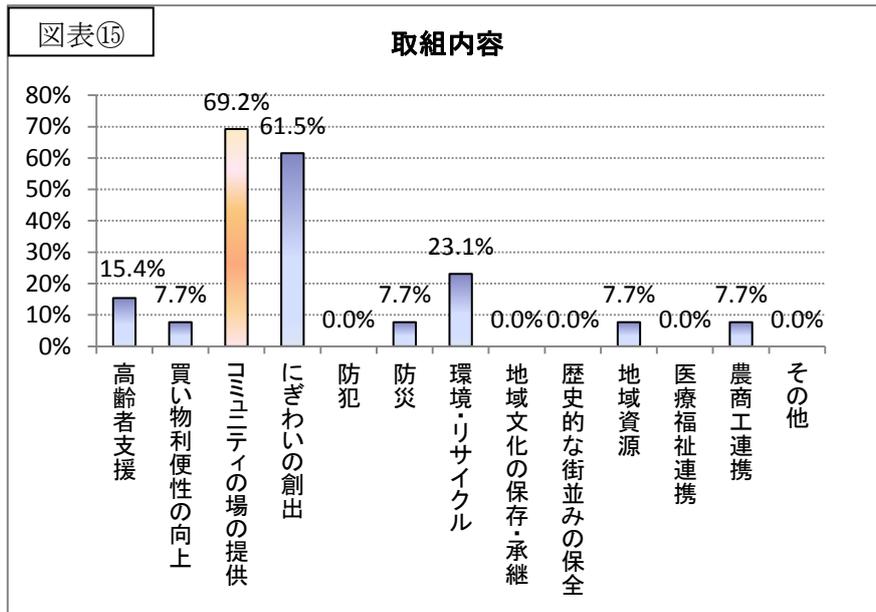
7 地域との関わり

(1) 地域住民のニーズに応じた活動への取組

地域住民のニーズに応じた活動への取組状況を尋ねたところ、52.0%の仮設商店街が「取り組んでいる」と答えており、通常商店街と比較すると、9.4ポイント高い。(図表⑭)

また、「取り組んでいる」と答えた仮設商店街にその内容を尋ねたところ(複数回答)、「コミュニティの場の提供」が69.2%と最も多く、次いで、「にぎわいの創出」が61.5%、「環境・リサイクル」が23.1%となっている。(図表⑮)

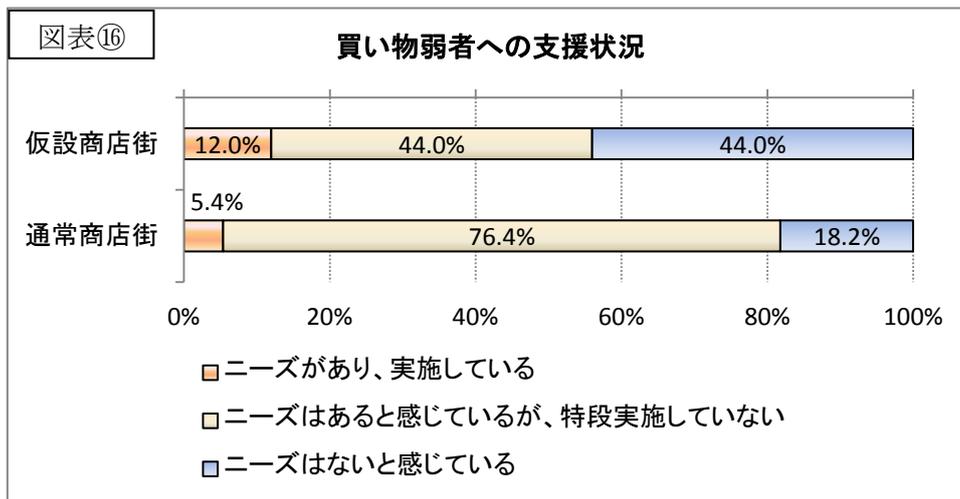




(2) 買い物弱者支援の実施状況

買い物弱者を支援する商店街活動について尋ねたところ、「ニーズがあり、実施している」と答えた仮設商店街は12.0%となっており、「ニーズはあると感じているが、特段実施していない」と合わせると56.0%であった。

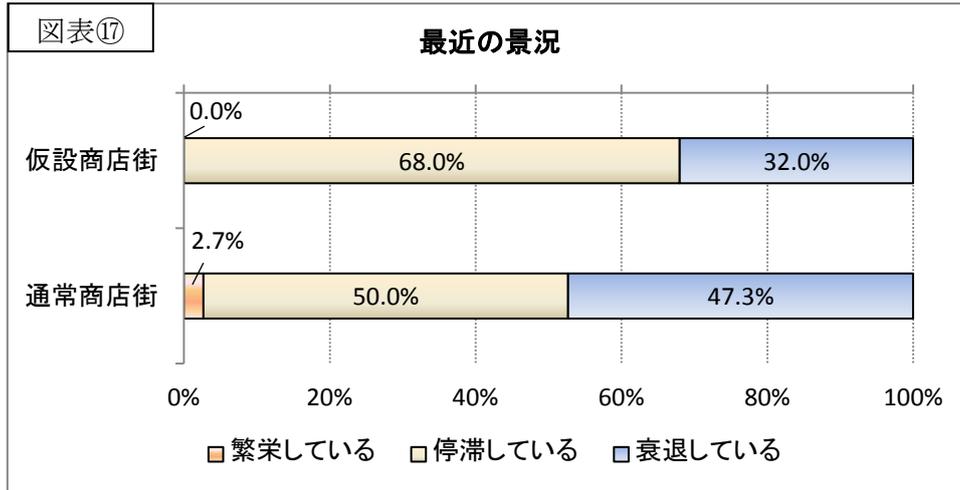
通常商店街と比較すると、通常商店街では「ニーズがあると感じている商店街」は81.8%となっており、仮設商店街が25.8ポイント低い。(図表⑯)



8 景況・今後の見通し・その他

(1) 最近の景況

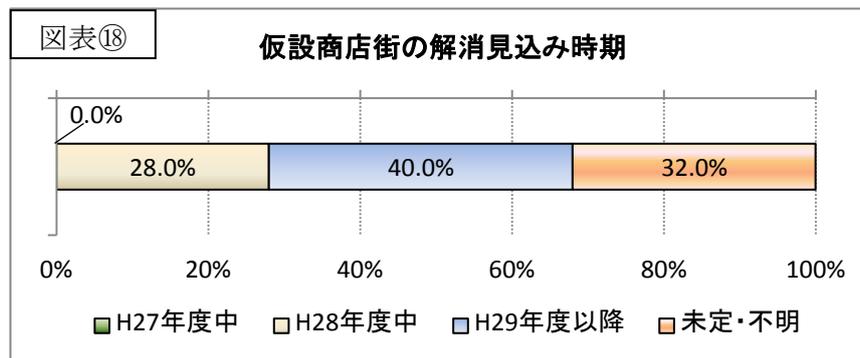
開設当初と比べた最近の景況について尋ねたところ、「繁栄している」と答えた仮設商店街は無く、「停滞している」が68.0%、「衰退している」が32.0%となっている。(図表⑰)



(2) 解消見込み時期

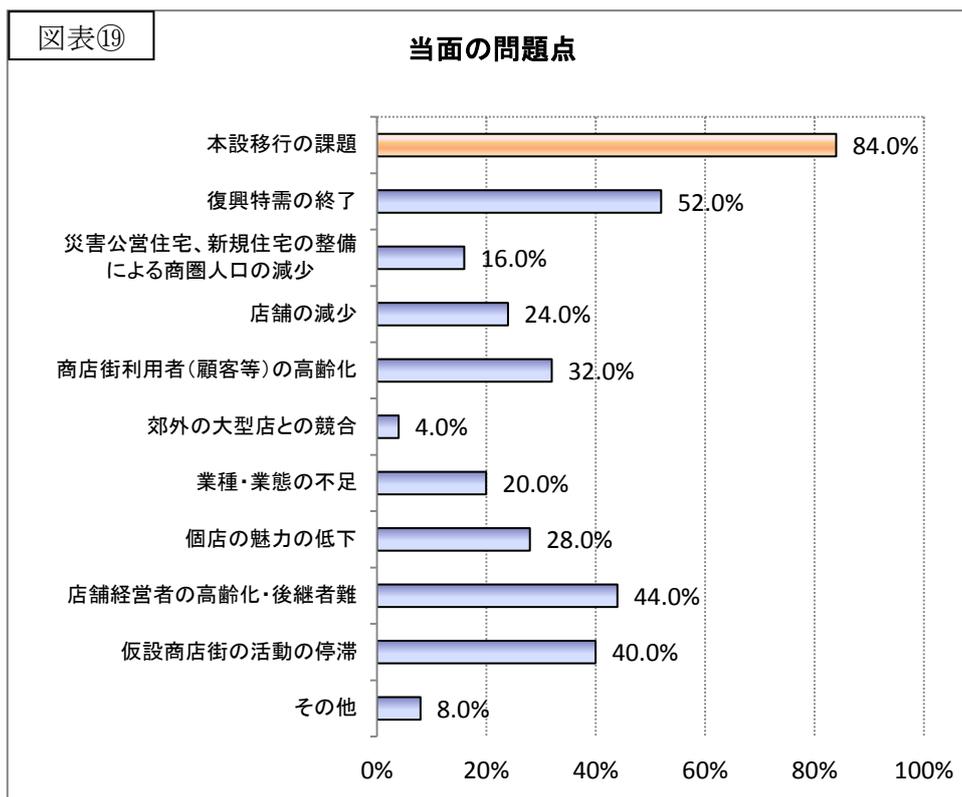
平成 27 年 9 月 1 日現在の仮設商店街の解消見込み時期について尋ねたところ、「H27 年度中」は無く、「H28 年度中」が 28.0%、「H29 年度以降」が 40.0%、「未定・不明」が 32.0%となっている。

(図表⑱)



(3) 当面の問題点

当面の問題点について尋ねたところ(最大回答数 5)、「本設移行の課題」が 84.0%と最も多く、次いで、「復興特需の終了」が 52.0%、「店舗経営者の高齢化・後継者難」が 44.0%、「仮設商店街の活動の停滞」が 40.0%となっている。(図表⑲)



(4) 身近に感じる機関・団体

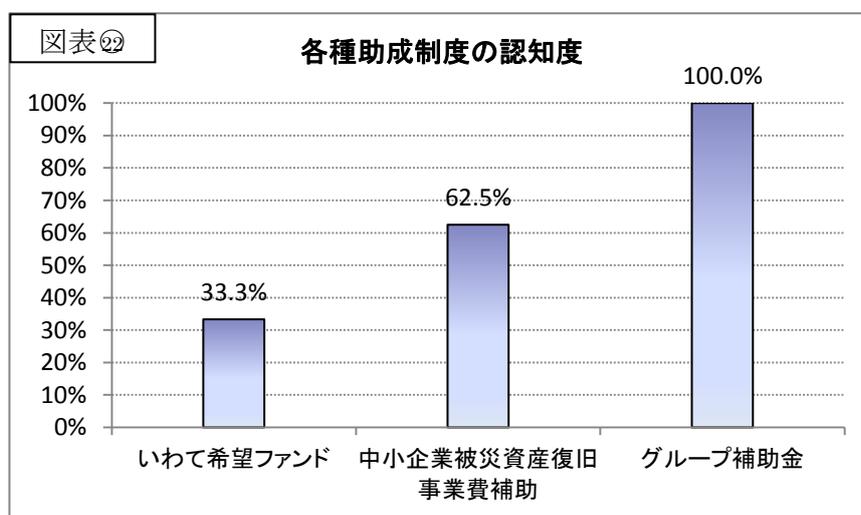
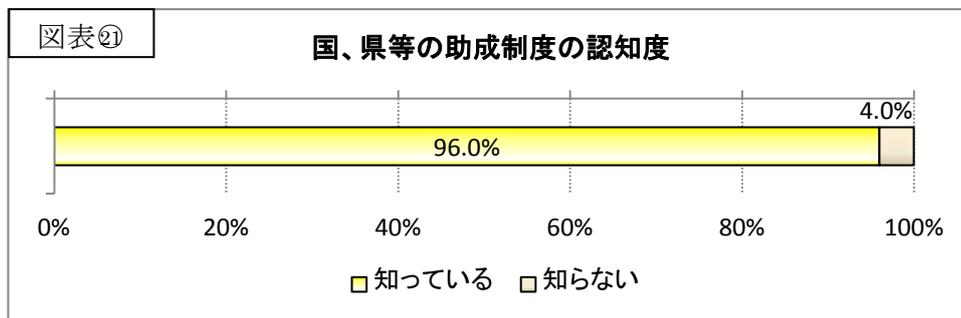
市町村や商工団体を除く、身近に感じる行政機関や経済団体等について尋ねたところ（最大回答数3）、図表⑳のとおりであった。

(図表⑳) 身近に感じる機関・団体

	仮設商店街	通常商店街
商店街振興組合連合会	8.0%	22.3%
中小企業団体中央会	32.0%	39.9%
商工会連合会	32.0%	41.9%
(財)いわて産業振興センター	4.0%	9.5%
(独)中小企業基盤整備機構	32.0%	1.4%
(株)全国商店街支援センター	0.0%	6.1%
岩手県(県庁)	16.0%	8.1%
岩手県(広域振興局)	12.0%	19.6%
経済産業省(中小企業庁)	0.0%	2.0%
経済産業省(東北経済産業局)	4.0%	4.1%

(5) 国、県等の各種助成制度の認知度

国、県等の各種助成制度の認知度を尋ねたところ、図表㉑及び図表㉒のとおりであった。



付属資料 1
【調査票（通常商店街）】

岩手県商店街実態調査票 (平成27年度)

ご記入にあたっての注意点

1. この調査は、岩手県の商店街組織の活動実態及び商店街のおかれた商業環境等の現況を把握し、商店街振興施策の立案及び実施並びに各商店街に対する支援の基礎資料とすることを目的としております。
2. 調査票の記入は、平成27年9月1日現在の実態をご記入ください。
3. 調査結果は集計の上、全体傾向などを公表する予定ですが、個別の商店街名及び回答内容は公表いたしません。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

▼必ずご記入ください。

商店街の名称	
主な事務所の所在地 (又は代表者の住所)	
電話番号	
代表者名	

3 商業環境		回答欄
問 6	<p>[3年前と比較して]商圏範囲は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】</p> <p>ア 広がった イ 変わらない ウ 狭くなった</p>	<p>(<input type="radio"/> ア) (<input type="radio"/> イ) (<input type="radio"/> ウ)</p>
問 7	<p>[3年前と比較して]来街者数は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】</p> <p>A 増えた (⇒A'へ) B 変わらない C 減った (⇒C'へ)</p> <p>A' ⇒増えた原因 【※該当するものを全て選択してください。】</p> <p>ア 商圏人口の増加 イ 交通利便性の向上 ウ 業種・業態の充実 エ 店舗数の増加・空き店舗の減少 オ 個店の魅力の向上 カ 販促活動の充実 キ イベントの充実 ク FR・情報発信の充実 ケ 近隣商店街との連携強化 コ 駐車場の整備 サ 街路灯・アーケード等の整備 シ 大型店の商店街への出店 ス 公共施設の新設 セ 観光客の回遊の増加 ソ その他 ()</p> <p>C' ⇒減った原因 【※該当するものを全て選択してください。】</p> <p>ア 商圏人口の減少 イ 交通利便性の低下 ウ 業種・業態の不足 エ 店舗数の減少・空き店舗の増加 オ 個店の魅力の低下 カ 販促活動の停滞 キ イベントの停滞 ク FR・情報発信の停滞 ケ 近隣商店街との連携不足 コ 駐車場の未整備 サ 街路灯・アーケード等の未整備 シ 大型店の商店街からの撤退 ス 公共施設の閉鎖 セ 郊外への大型店の出店 ソ その他 ()</p>	<p>(<input type="radio"/> A) (<input type="radio"/> B) (<input type="radio"/> C)</p> <p>[<input type="checkbox"/> ア] [<input type="checkbox"/> イ] [<input type="checkbox"/> ウ] [<input type="checkbox"/> エ] [<input type="checkbox"/> オ] [<input type="checkbox"/> カ] [<input type="checkbox"/> キ] [<input type="checkbox"/> ク] [<input type="checkbox"/> ケ] [<input type="checkbox"/> コ] [<input type="checkbox"/> サ] [<input type="checkbox"/> シ] [<input type="checkbox"/> ス] [<input type="checkbox"/> セ] [<input type="checkbox"/> ソ]</p> <p>[<input type="checkbox"/> ア] [<input type="checkbox"/> イ] [<input type="checkbox"/> ウ] [<input type="checkbox"/> エ] [<input type="checkbox"/> オ] [<input type="checkbox"/> カ] [<input type="checkbox"/> キ] [<input type="checkbox"/> ク] [<input type="checkbox"/> ケ] [<input type="checkbox"/> コ] [<input type="checkbox"/> サ] [<input type="checkbox"/> シ] [<input type="checkbox"/> ス] [<input type="checkbox"/> セ] [<input type="checkbox"/> ソ]</p>
問 8	<p>[この3年間で]大規模小売店舗(店舗面積1,000㎡超)の立地による影響は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】</p> <p>ア 大いにある(好影響) イ 多少ある(好影響) ウ あまり影響なし エ 多少ある(悪影響) オ 大いにある(悪影響) カ 立地店舗なし</p>	<p>(<input type="radio"/> ア) (<input type="radio"/> イ) (<input type="radio"/> ウ) (<input type="radio"/> エ) (<input type="radio"/> オ) (<input type="radio"/> カ)</p>

3 商業環境（つづき）		回答欄
問 9	来街者の最も多い年齢層は、 ア 20代以下 イ 30代 ウ 40代 エ 50代 オ 60代 カ 70代以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ)
問 10	主な来街者層は、 ア 学生・若者 イ 家族連れ ウ 主婦 エ 会社員 オ 高齢者 カ 観光客 キ その他 () 【※3つまで選択してください】	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ]
問 11	今後、最も重視したい層は、 ア 学生・若者 イ 家族連れ ウ 主婦 エ 会社員 オ 高齢者 カ 観光客 キ その他 () 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ) (キ)
4 店舗と業種構成		回答欄
問 12	会員数について、 会員(組合員)数 【※数値を記入してください。】	< 名 >

4 店舗と業種構成 (つづき)		回答欄
問 13	業種構成について、 【※数値を記入してください。】 ① 各種商品小売業 (百貨店、総合スーパー) ② 織物・衣服・身の回り品小売業 (呉服、寝具、紳士・婦人・子供服、靴、かばん) ③ 生鮮食料品小売業 (野菜・果実、食肉、鮮魚) ④ その他飲食料品小売業 (食料雑貨店、酒、菓子・パン、コンビニ) ⑤ 機械器具小売業 (自転車、家電、事務機器) ⑥ 医薬品・化粧品小売業 (ドラッグストア、薬局、調剤薬局、化粧品店) ⑦ その他小売業 (家具、什器、書籍、スポーツ用品、時計) ⑧ 銀行業・協同組織金融業 (銀行、信用金庫、農協、漁協) ⑨ 飲食店、飲食サービス業 (食堂、専門料理店、居酒屋、バー、喫茶店、宅配ピザ) ⑩ 生活関連サービス業 (クリーニング、理美容、旅行代理店、冠婚葬祭業) ⑪ 医療、福祉 (病院、歯科、柔道整復業、老人ホーム、デイサービス) ⑫ その他サービス業 (運輸、卸売、貸金、保険、不動産、宿泊、娯楽、教育) ⑬ その他 (農業、林業、漁業、鉱業、建設業、製造業)	< <input type="text"/> 店 > < <input type="text"/> 店 >
問 14	上記構成のうち、チェーン店※の数は、 【※数値を記入してください。】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※(注)「チェーン店」とは、ブランドや営業等が多数の店舗で統一的に管理された店舗とします。例：スーパー、コンビニエンスストア、ファーストフード店、ドラッグストア店等 </div>	< <input type="text"/> 店 >
問 15	[3年前と比較して]会員(組合員)店舗数は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 A 増えた B 変わらない C 減った (⇒C'へ)	(<input type="radio"/> A) (<input type="radio"/> B) (<input type="radio"/> C)
	C' ⇒減った主な理由 【※3つまで選択してください】 ア 廃業(経営不振による) イ 廃業(経営者の病気等の事情による) ウ 廃業(店舗の老朽化による) エ 廃業(家主の都合による) オ 廃業(被災による) カ 移転(商業環境の悪化による) キ 移転(家賃等の賃貸条件による) ク 移転(店舗の老朽化による) ケ 移転(家主の都合による) コ 移転(被災による) サ 休業(被災による) シ 脱退(街区内で営業を継続) ス その他 (<input type="text"/>)	[<input type="checkbox"/> ア] [<input type="checkbox"/> イ] [<input type="checkbox"/> ウ] [<input type="checkbox"/> エ] [<input type="checkbox"/> オ] [<input type="checkbox"/> カ] [<input type="checkbox"/> キ] [<input type="checkbox"/> ク] [<input type="checkbox"/> ケ] [<input type="checkbox"/> コ] [<input type="checkbox"/> サ] [<input type="checkbox"/> シ] [<input type="checkbox"/> ス]

4 店舗と業種構成（つづき）		回答欄
問 16	店舗の入れ替りは、 ア かなりある イ 少しはある ウ ほとんどない 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ)
5 空き店舗（店舗として利用可能でありながら空いている建物。1階部分に限る。）		回答欄
問 17	空き店舗数は、 空き店舗を含めた全店舗数は、 【※数値を記入してください。】	< 店 > < 店 >
問 18	[3年前と比較して]空き店舗は、 ア 増えた イ 変わらない ウ 減った 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ)
問19から問21は、問17で空き店舗があると答えた商店街のみ答えてください		
問 19	空き店舗が解消されない主な理由は、 ア 業種が合わない イ 立地条件・交通環境がよくない ウ 家賃が高い エ 家主に貸す意思がない オ 店の補修・改修ができない カ その他（ ） 【※3つまで選択してください】	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ]
問 20	空き店舗の解消に向けた取組を、 A 実施している (⇒A'へ) B 実施していない A' ⇒ 取組の様態 ア 商店街に必要な業種・業態を考慮して誘致している イ 商店街に必要な業種・業態を考慮しないで誘致している ウ 共同施設などとして組織で利用している エ 家賃の引下げをしている(または助成している) オ その他（ ） 【※該当するものを全て選択してください。】	(A) (B) [ア] [イ] [ウ] [エ] [オ]
問 21	全空き店舗のうち、家主に賃貸等の意向がない空き店舗の割合は、 ア 30%未満 イ 30～50%未満 ウ 50～80%未満 エ 80%以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ)
6 店舗経営者		回答欄
問 22	店舗経営者の最も多い年齢層は、 ア 40代以下 イ 50代 ウ 60代 エ 70代以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ)
問 23	過去3年間で経営者の交代があった店舗数は、 ア なし イ 1～2店 ウ 3～4店 エ 5店以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ)

6 店舗経営者（つづき）		回答欄
問 24	後継者がいる割合は、 ア 0～30% 未満 イ 30～50% 未満 ウ 50～80% 未満 エ 80% 以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ)
問 25	自宅兼店舗の割合は、 ア 0～30% 未満 イ 30～50% 未満 ウ 50～80% 未満 エ 80% 以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ) (エ)
7 組織活動		回答欄
問 26	【昨年度の】会員（組合員）を対象にした会合の開催頻度は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 ア 年1回程度 イ 半年に1回程度 (= 2回/年) ウ 四半期に1回程度 (= 4回/年) エ 隔月に1回程度 (= 6回/年) オ 月1回程度 (= 12回/年) カ 月2回程度 (= 24回/年) キ 開催していない	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ) (キ)
問 27	情報収集活動を、 A 実施している (⇒A'へ) B 実施していない A' ⇒ 活動の内容 ア 先進地の視察 イ 講習会等の聴講 ウ 勉強会の開催 エ 新聞・雑誌等からの収集 オ 上部団体・関係団体からの収集 カ 独自の調査 キ その他 () 【※該当するものを全て選択してください。】	(A) (B) [ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ]
問 28	会員（組合員）の会費について、 月額 年額 【※該当する方に数値を記入してください。】	< 円 > < 円 >
問 29	商店街のビジョン（将来構想）または中長期計画を、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 ア 策定済みで、進行管理している イ 策定済みであるが、進行管理はしていない ウ 策定していないが、策定したい エ 策定する予定はない	(ア) (イ) (ウ) (エ)
問 30	次世代リーダーが、 ア いる イ いない 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ)

8 施設整備の状況		回答欄
問 31	共有の既存施設等で改修又は改善したいものは 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	A ある (⇒A'へ)	(A)
	B ない	(B)
	A' ⇒改修又は改善したい施設等 【※該当するものを全て選択してください。】	
	ア アーケード	[ア]
	イ 街灯	[イ]
	ウ 歩道の整備	[ウ]
	エ 看板	[エ]
	オ 駐車場	[オ]
	カ 共同トイレ	[カ]
	キ その他 ()	[キ]

9 共同経済事業		回答欄
問 32	共同売出し事業を、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	A 実施している (⇒A'へ)	(A)
	B 実施していない	(B)
	A' ⇒取組の内容 【※該当するものを全て選択してください。】	
	ア 月例売出し	[ア]
	イ 季節売出し	[イ]
	ウ 記念セール	[ウ]
	エ 定期市(市日)	[エ]
	オ ポイント(スタンプ)〇倍セール	[オ]
	カ その他()	[カ]
問 33	[昨年度の]集客イベント回数は、 【※数値を記入してください。】	< 回 >
問 34	共同売出しや集客イベントの集客効果は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	ア かなりある	(ア)
	イ ある程度ある	(イ)
	ウ あまりない	(ウ)
	エ ほとんどない	(エ)
問 35	過去3年前と比較して、新たに取組んでいる共同事業は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	A ある (⇒A'へ)	(A)
	B ない	(B)
	A' ⇒取組の内容 【※内容を記載してください】	
	()	

10 地域との関わり		回答欄
問 36	商店街利用者を対象とした調査(アンケート等)は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	ア 必要であり、実施している	(ア)
	イ 必要であるが、実施していない	(イ)
	ウ 必要でない	(ウ)

10 地域との関わり (つづき)		回答欄
問 37	地域住民のニーズに応じた商店街活動に、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	A 取り組んでいる (⇒A'へ) B 取り組んでいない	(A) (B)
	A' ⇒ 取組の内容 【※該当するものを全て選択してください。】	
	ア 高齢者支援 イ 買い物利便性の向上 ウ コミュニティの場の提供 エ にぎわいの創出 オ 防犯 カ 防災 キ 環境・リサイクル ク 地域文化の保存・承継 ケ 歴史的な街並みの保全 コ 地域資源 サ 医療福祉連携 シ 農商工連携 ス その他 ()	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ] [サ] [シ] [ス]
問 38	買い物弱者を支援する商店街活動について、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	A ニーズがあり、実施している (⇒A'へ) B ニーズはあると感じているが、特段実施していない C ニーズはないと感じている	(A) (B) (C)
	A' ⇒ 実施している活動の内容 【※内容を記載してください】	
	()	

11 景況		回答欄
問 39	商店街の最近の景況は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	ア 繁栄している イ 停滞している ウ 衰退している	(ア) (イ) (ウ)
問 40	最近の景況と比較して10年後の商店街の景況の見通しは、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	
	ア 良くなっている イ 変わらない ウ 悪くなっている エ 商店街として機能しなくなっている	(ア) (イ) (ウ) (エ)

問 41	当面の問題点は、 【※5つまで選択してください】 ア 商圏人口の減少 イ 商店街利用者(顧客等)の高齢化 ウ 郊外の大店との競合 エ 交通利便性の低下 オ 公共施設の閉鎖 カ 大店の商店街からの撤退 キ 業種・業態の不足 ク 個店の魅力の低下 ケ 店舗経営者の高齢化・後継者難 コ 空き店舗・空き地の増加 サ 店舗の老朽化 シ 商店街施設の老朽化 ス 駐車場の不足 セ 不在地主の増加 ソ 未加入者の増加 タ 組織活動の停滞 チ 被災店舗の復旧 ツ 被災による再建場所の確保 テ その他 ()	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ] [サ] [シ] [ス] [セ] [ソ] [タ] [チ] [ツ] [テ]
-------------	--	---

12 その他		回答欄
問 42	商店街振興施策を展開する行政機関や経済団体等(市町村や商工団体を除く。)のうち、身近に感じる機関/団体は、 【※3つまで選択してください】 ア 岩手県商店街振興組合連合会 イ 岩手県中小企業団体中央会 ウ 岩手県商工会連合会 エ (財)いわて産業振興センター オ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 カ ㈱全国商店街支援センター キ 岩手県(県庁) ク 岩手県(広域振興局) ケ 経済産業省(中小企業庁) コ 経済産業省(東北経済産業局)	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ]
問 43	国、県等の各種助成制度を、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 A 知っている (⇒A'へ) B 知らない	(A) (B)
	A' ⇒知っている助成制度はどれか 【※該当するものを全て選択してください。】 ア いわて希望ファンド 地域活性化支援事業(県) イ 地域商業自立促進事業(国) ウ 中心市街地再興戦略事業費補助金(国) エ ㈱全国商店街支援センター事業	[ア] [イ] [ウ] [エ]

12 その他（つづき）

問 44 県や関係機関に対する要望等を自由に記載してください。

これで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

参考までに、国、県等の各種補助事業の紹介パンフレットを添付しております。今後の商店街活動の参考にしてください。

付属資料 2
【調査票（仮設商店街）】

岩手県商店街実態調査票 (平成27年度)

ご記入にあたっての注意点

1. この調査は、岩手県の商店街組織の活動実態及び商店街のおかれた商業環境等の現況を把握し、商店街振興施策の立案及び実施並びに各商店街に対する支援の基礎資料とすることを目的としております。
2. 調査票の記入は、平成27年9月1日現在の実態をご記入ください。
3. 調査結果は集計の上、全体傾向などを公表する予定ですが、個別の商店街名及び回答内容は公表いたしません。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

▼必ずご記入ください。

商店街の名称	
開設時期	平成 年 月
市町村名	
電話番号	
代表者名	

【回答方法】

・回答はすべて、回答欄に記入してください。

（ ）欄： “○” を1つだけ記入してください。

[] 欄： 設問の指示に従い、“○” を1つ以上記入してください。

< > 欄： 設問の指示に従い、数値を記入してください。

・設問中のその他に該当する場合は具体的な内容となりの括弧内にご記入ください。

1 組織		回答欄
問 1	組織形態は、 ア 商店街振興組合 イ 事業協同組合 ウ 任意団体 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ)
問 2	専用事務所は、 ア 仮施設内 イ 仮施設外 ウ なし 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ) (ウ)
問 3	専従職員の数、 【※数値を記入してください。】	< 名 >
問 4	責商店街組織は、 ア 被災前から存在している イ 被災後に設立した 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(ア) (イ)

2 商業環境		回答欄
問 5	【開股当初と比較して】商圏範囲は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 ア 広がった イ 変わらない ウ 狭くなった	(ア) (イ) (ウ)
問 6	【開股当初と比較して】来街者数は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 A 増えた (⇒A'へ) B 変わらない C 減った (⇒C'へ)	(A) (B) (C)
	A' ⇒増えた原因 【※該当するものを全て選択してください。】 ア 近隣での公共事業による土木関係者の増加 イ 災害公営住宅、新規住宅などの近隣への建設 ウ 業種・業態の充実 エ 個店の魅力の向上 オ 販促活動の充実 カ イベントの充実 キ PR・情報発信の充実 ク 近隣商店街との連携強化 ケ 観光客などの回遊の増加 コ その他 ()	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ]
	C' ⇒減った原因 【※該当するものを全て選択してください。】 ア 近隣での公共事業完了による土木関係者の減少 イ 災害公営住宅、新規住宅などの建設により周辺人口の減少 ウ 業種・業態の不足 エ 個店の魅力の低下 オ 販促活動の停滞 カ イベントの停滞 キ PR・情報発信の停滞 ク 近隣に大型店などの出店 ケ 本設移行による、店舗数の減少 コ 廃業等による、店舗数の減少 サ その他 ()	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ] [サ]
問 7	【現在の】来街者の最も多い年齢層は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 ア 20代以下 イ 30代 ウ 40代 エ 50代 オ 60代 カ 70代以上	(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ)
問 8	【現在の】主な来街者層は、 【※3つまで選択してください】 ア 学生・若者 イ 家族連れ ウ 主婦 エ 会社員 オ 高齢者 カ 観光客 キ 復興関係者 ク その他 ()	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク]

3 店舗と業種構成		回答欄
問 9	店舗数は、 【※数値を記入してください。】	< <input type="text"/> 店 >
問 10	業種構成について、 【※数値を記入してください。】	
	① 各種商品小売業 (百貨店、総合スーパー)	< <input type="text"/> 店 >
	② 織物・衣服・身の回り品小売業 (呉服、寝具、紳士・婦人・子供服、靴、かばん)	< <input type="text"/> 店 >
	③ 生鮮食料品小売業 (野菜・果実、食肉、鮮魚)	< <input type="text"/> 店 >
	④ その他飲食料品小売業 (食料雑貨店、酒、菓子・パン、コンビニ)	< <input type="text"/> 店 >
	⑤ 機械器具小売業 (自転車、家電、事務機器)	< <input type="text"/> 店 >
	⑥ 医薬品・化粧品小売業 (ドラッグストア、薬局、調剤薬局、化粧品店)	< <input type="text"/> 店 >
	⑦ その他小売業 (家具、什器、書籍、スポーツ用品、時計)	< <input type="text"/> 店 >
	⑧ 銀行業・協同組織金融業 (銀行、信用金庫、農協、漁協)	< <input type="text"/> 店 >
	⑨ 飲食店、飲食サービス業 (食堂、専門料理店、居酒屋、バー、喫茶店、宅配ピザ)	< <input type="text"/> 店 >
	⑩ 生活関連サービス業 (クリーニング、理美容、旅行代理店、冠婚葬祭業)	< <input type="text"/> 店 >
	⑪ 医療、福祉 (病院、歯科、柔道整復業、老人ホーム、デイサービス)	< <input type="text"/> 店 >
	⑫ その他サービス業 (運輸、卸売、貸金、保険、不動産、宿泊、娯楽、教育)	< <input type="text"/> 店 >
	⑬ その他 (農業、林業、漁業、鉱業、建設業、製造業)	< <input type="text"/> 店 >
問 11	上記構成のうち、チェーン店※の数は、 【※数値を記入してください。】	< <input type="text"/> 店 >
	※(注)「チェーン店」とは、ブランドや営業等が多数の店舗で統一的に管理された店舗とします。例：スーパー、コンビニエンスストア、ファーストフード店、ドラッグストア店等	
問 12	店舗の入れ替りは、 ア かなりある イ 少しはある ウ ほとんどない 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(<input checked="" type="radio"/> ア) (<input type="radio"/> イ) (<input type="radio"/> ウ)

4 店舗経営者		回答欄
問 13	店舗経営者の最も多い年齢層は、 ア 40代以下 イ 50代 ウ 60代 エ 70代以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(<input checked="" type="radio"/> ア) (<input type="radio"/> イ) (<input type="radio"/> ウ) (<input type="radio"/> エ)
問 14	後継者がいる割合は、 ア 0～30%未満 イ 30～50%未満 ウ 50～80%未満 エ 80%以上 【※当てはまるものを1つ選択してください。】	(<input checked="" type="radio"/> ア) (<input type="radio"/> イ) (<input type="radio"/> ウ) (<input type="radio"/> エ)

5 共同経済事業		回答欄
問 15	共同売出し事業を、 A 実施している (⇒A'へ) B 実施していない A' ⇒取組の内容 ア 月例売出し イ 季節売出し ウ 記念セール エ 定期市(市日) オ ポイント(スタンプ)〇倍セール カ その他()	【※当てはまるものを1つ選択してください。】 【※該当するものを全て選択してください。】 (A) (B) [ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ]
問 16	[昨年度の]集客イベント回数は、	【※数値を記入してください。】 < 回 >
問 17	共同売出しや集客イベントの集客効果は、 ア かなりある イ ある程度ある ウ あまりない エ ほとんどない	【※当てはまるものを1つ選択してください。】 (ア) (イ) (ウ) (エ)
問 18	開設当初と比較して、新たに取組んでいる共同事業は、 A ある (⇒A'へ) B ない A' ⇒取組の内容 ()	【※当てはまるものを1つ選択してください。】 【※内容を記載してください】 (A) (B)

6 地域との関わり		回答欄
問 19	地域住民のニーズに応じた商店街活動に、 A 取り組んでいる (⇒A'へ) B 取り組んでいない A' ⇒取組の内容 ア 高齢者支援 イ 買い物利便性の向上 ウ コミュニティの場の提供 エ にぎわいの創出 オ 防犯 カ 防災 キ 環境・リサイクル ク 地域文化の保存・承継 ケ 歴史的な街並みの保全 コ 地域資源 サ 医療福祉連携 シ 農商工連携 ス その他 ()	【※当てはまるものを1つ選択してください。】 【※該当するものを全て選択してください。】 (A) (B) [ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ] [サ] [シ] [ス]
問 20	買い物弱者を支援する商店街活動について、 A ニーズがあり、実施している (⇒A'へ) B ニーズはあると感じているが、特段実施していない C ニーズはないと感じている A' ⇒実施している活動の内容 ()	【※当てはまるものを1つ選択してください。】 【※内容を記載してください】 (A) (B) (C)

7 景況・今後の見通し		回答欄
問 21	【開股当初と比べて】商店街の最近の景況は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 ア 繁栄している イ 停滞している ウ 衰退している	(ア) (イ) (ウ)
問 22	仮設商店街の解消見込み時期は、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 ア H27年度中 イ H28年度中 ウ H29年度以降 エ 未定・不明	(ア) (イ) (ウ) (エ)
問 23	当面の問題点は、 【※5つまで選択してください】 ア 本設移行の課題 イ 復興特需の終了 ウ 災害公営住宅、新規住宅の整備による商圏人口の減少 エ 店舗の減少 オ 商店街利用者(顧客等)の高齢化 カ 郊外の大型店との競合 キ 業種・業態の不足 ク 個店の魅力の低下 ケ 店舗経営者の高齢化・後継者難 コ 仮設商店街の活動の停滞 サ その他 ()	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ] [サ]

8 その他		回答欄
問 24	商店街振興施策を展開する行政機関や経済団体等(市町村や商工団体を除く。)のうち、身近に感じる機関/団体は、 【※3つまで選択してください】 ア 岩手県商店街振興組合連合会 イ 岩手県中小企業団体中央会 ウ 岩手県商工会連合会 エ (財)いわて産業振興センター オ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 カ ㈱全国商店街支援センター キ 岩手県(県庁) ク 岩手県(広域振興局) ケ 経済産業省(中小企業庁) コ 経済産業省(東北経済産業局)	[ア] [イ] [ウ] [エ] [オ] [カ] [キ] [ク] [ケ] [コ]
問 25	国、県の各種助成制度を、 【※当てはまるものを1つ選択してください。】 A 知っている (⇒A'へ) B 知らない	(A) (B)
	A' ⇒知っている助成制度はどれか 【※該当するものを全て選択してください。】 ア いわて希望ファンド地域活性化支援事業(県) イ 中小企業被災資産復旧事業費補助(県)(市町村) ウ グループ補助金(国)(県)	[ア] [イ] [ウ]

8 その他（つづき）

問 26 県や関係機関に対する要望等を自由に記載してください。

これで調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

参考までに、国、県等の各種補助事業の紹介パンフレットを添付しております。今後の商店街活動の参考にしてください。

付属資料 3
【平成 24 年度商店街実態調査 集計結果】

平成 24 年度商店街実態調査集計結果

目 次

【調査の概要】	71
1 組織.....	73
(1) 組織形態.....	73
(2) 専用事務所.....	73
(3) 専従職員数.....	73
2 立地条件.....	74
(1) 立地環境.....	74
(2) 商店街のタイプ.....	74
3 商業環境.....	74
(1) 商圈範囲.....	74
(2) 来街者数.....	75
(3) 大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m ² 超）の立地による影響	76
(4) 来街者の最も多い年齢層.....	77
(5) 来街者層.....	77
(6) 今後最も重視したい層	77
4 店舗と業種構成.....	78
(1) 会員数.....	78
(2) 業種構成.....	78
(3) 会員店舗数.....	79
(4) 店舗の入れ替り.....	79
(5) 店舗の入れ替わりへの商店街としての関与.....	80
5 空き店舗.....	80
(1) 空き店舗数.....	80
(2) 空き店舗を含めた全店舗数.....	80
(3) 空き店舗増減.....	81
(4) 空き店舗対策.....	81
(5) 家主の意向.....	82
6 店舗経営者.....	82
(1) 店舗経営者の年齢層.....	82
(2) 後継者がいる割合.....	82
(3) 自宅兼店舗の状況.....	83
7 組織活動.....	83
(1) 会員を対象にした会合の開催頻度.....	83
(2) 会員同士のコミュニケーション.....	83
(3) 情報収集活動.....	84

(4) ビジョン.....	85
(5) 次世代リーダー	85
(6) 任意団体の法人化について.....	85
8 共同経済事業.....	86
(1) 共同売出し事業.....	86
(2) 昨年度の集客イベント回数.....	86
(3) 共同事業の集客効果.....	87
(4) 共同事業による会員意識への効果.....	87
(5) その他の共同事業.....	87
(6) 商店街利用者を対象とした調査（アンケート等）について.....	88
9 商店街活動.....	88
(1) 地域住民のニーズに応じた活動への取組.....	88
(2) 各種団体との連携.....	89
(3) 東日本大震災被災地域の仮設商店街との連携状況	90
(4) 買い物弱者支援の実施状況	90
(5) 福医商連携の活動実施状況	90
(6) 今後取り組むべき課題	91
10 景況.....	91
(1) 最近の景況.....	91
(2) 今後の見通し.....	92
(3) 当面の問題点.....	92
11 商店街が併せ持つ「商いの場」と「公共の場」の役割について	93
(1) 強みについて.....	93
(2) 今後重視していきたい役割について.....	93

【調査の概要】

1 調査目的

この調査は、岩手県の商店街組織の活動実態及び商店街がおかれた商業環境等の現況を把握し、商店街振興施策の立案及び実施並びに各商店街に対する支援の基礎資料とすることを目的とする。

2 実施主体

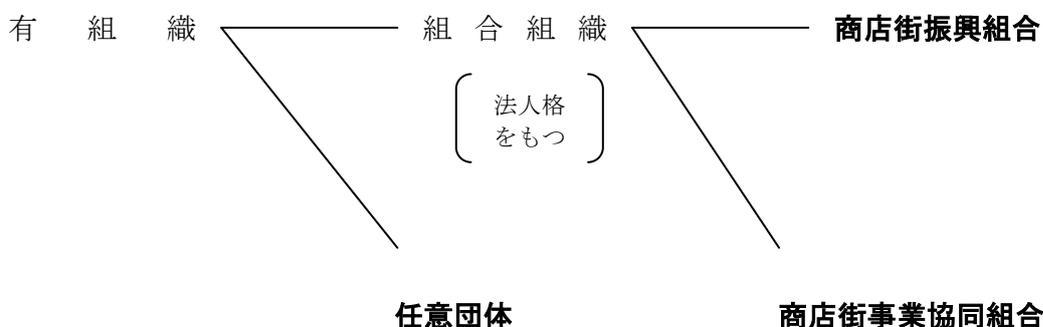
岩手県、岩手県商工会連合会、岩手県商工会議所連合会、岩手県中小企業団体中央会、岩手県商店街振興組合連合会

3 調査概要

(1) 調査基準日

平成 24 年 8 月 1 日

(2) 調査対象



- ※1 本調査における「商店街」とは、小売業又はサービス業を営む者の店舗が主体となって街区を形成し、これらが何らかの組織を形成しているものをいう。
- ※2 「無組織商店街」（組織が形成されていない商店街）は今回の調査対象から除く。
- ※3 東日本大震災津波被害により、事実上機能を喪失している商店街及び仮設商店街は、調査対象から除く。

(3) 調査方法

調査票方式で、調査票への直接記入又は実施主体によるヒアリングによる。

(4) 調査項目

組織、立地条件、商業環境、店舗、空き店舗、店舗経営者、組織活動、共同経済事業、商店街活動、景況、その他

4 調査商店街数の推移

調査年度	組 合 組 織				任意団体	有組織	無組織
	商店街振興組合		事業協同組合				
	実在数	回収数	実在数	回収数	回収数	回収数	回収数
平成3年度	—	31	—	23	184	238	46
平成6年度	—	33	—	33	179	245	14
平成9年度	34	34	35	34	169	237	14
平成12年度	33	31	37	31	161	223	39
平成15年度	31	29	30	30	150	209	38
平成18年度	31	24	31	24	132	180	59
平成21年度	30	27	26	26	102	155	45
今 回 ※1	25	24	21	20	115	159	—

※1 今回の調査では被災商店街を調査対象から除いたため、組合組織の実在数が大きく減少しているものである。

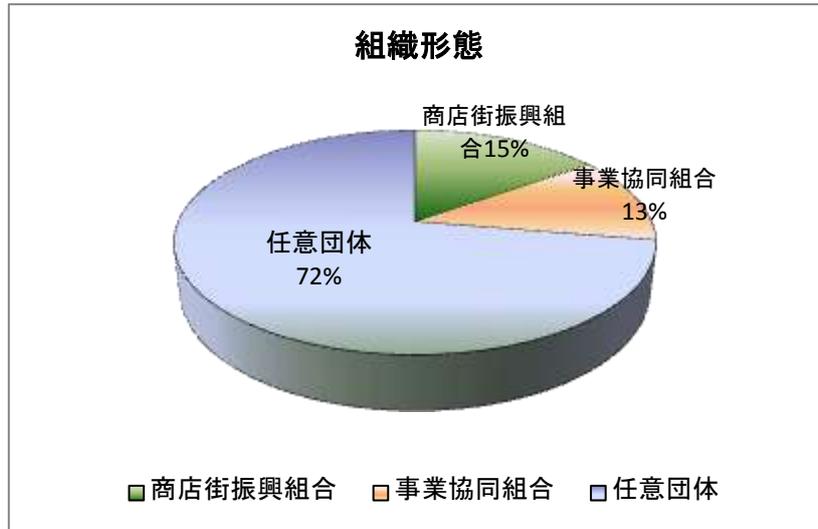
※2 商店街振興組合、事業協同組合についてはそれぞれ岩手県商店街振興組合連合会、岩手県中小企業団体中央会の調べにより、また、任意団体及び平成21年度以前の無組織商店街については各商工会及び各商工会議所の調べによる。

5 本報告書の表記について

- (1) 組織形態は、組合組織（商店街振興組合及び事業協同組合）、任意団体の2区分とした。
- (2) 比率は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100%にはならない。
- (3) 平均値の数値は加重平均である。
- (4) 図表の括弧内に記載されている数値は、前回調査からの変化率を示したものである。
- (5) 図表の強調表示について
 - ① 変化率が10ポイントを超える数値は太字表記としている。
 - ② 最も構成比の高い選択項目（ただし「その他」を除く）は網掛け表示としている。
- (6) 今回（平成24年度）の調査では被災商店街を調査対象から除いていることから、本文中、前回（平成21年度）等との過年度比較を行っているものについて、単純に比較が出来ないことを前提としている。

1 組織

(1) 組織形態



(2) 専用事務所

(単位：%、ポイント)

	自己所有	賃 貸	な し
全 体	8.3	15.9	75.8
組合組織(A)	19.0	45.2	35.7
任意団体(B)	4.3	5.2	90.4
組織間の差 (B)-(A)	▲ 14.7	▲ 40.0	54.7

(3) 専従職員数

(単位：%、ポイント)

	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人以上
全 体	84.7%	12.4%	0.7%	0.7%	1.4%
組合組織	46.9% (▲21.0)	43.8% (+15.5)	3.1% (+3.1)	3.1% (+1.2)	3.1% (+1.2)
任意団体	96.2%	2.9%	0.0%	2.9%	1.0%
組織間の差	49.3	▲ 40.9	▲ 3.1	▲ 0.2	▲ 2.1

2 立地条件

(1) 立地環境

(単位：%、ポイント)

	全 体	組合組織	任意団体	組織間の差
駅周辺	22.0	29.5	19.1	▲ 10.4
繁華街	23.3	45.5	14.8	▲ 39.7
オフィス街	1.3	0	1.7	1.7
住宅地	23.6	6.8	30.0	23.2
ロードサイド	13.2	4.5	16.5	12.0
観光地	1.9	4.5	0.9	▲ 3.6
その他	14.8	9.1	17.0	7.9

(2) 商店街のタイプ

(単位：%、ポイント)

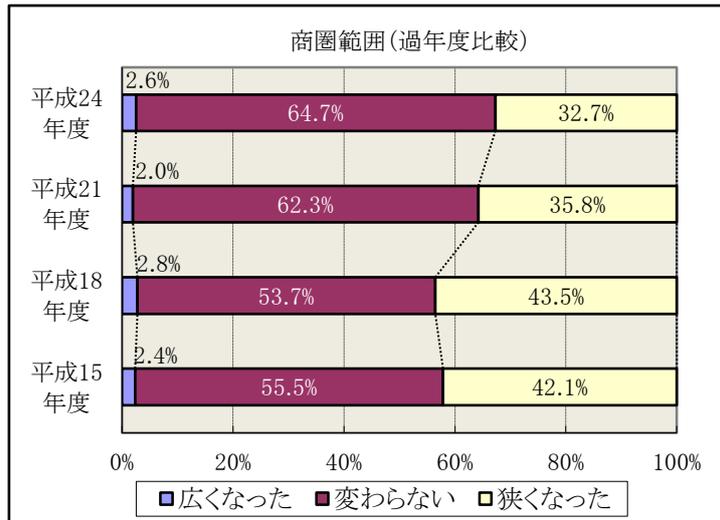
	近隣型商店街	地域型商店街	広域型商店街
全 体	56.8	38.1	5.2
組合組織	43.2	47.7	9.1
任意団体	62.2	34.2	3.6
組織間の差	19.0	▲13.5	▲5.5

3 商業環境

(1) 商圈範囲

(単位：%、ポイント)

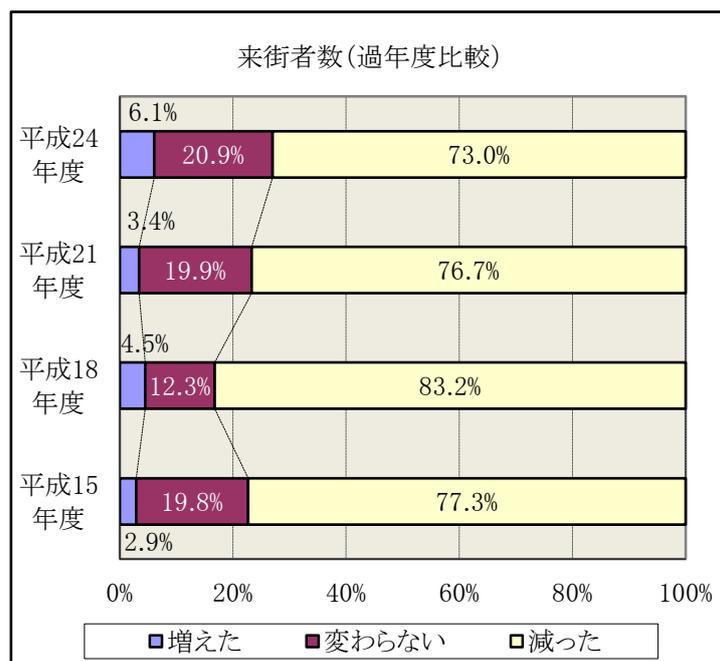
	広がった	変わらない	狭くなった
全 体	2.6 (+0.6)	64.7 (+2.4)	32.7 (▲3.1)
組合組織	4.7 (+2.7)	67.4 (+13.4)	27.9 (▲16.1)
任意団体	1.8 (▲0.2)	63.7 (▲2.6)	34.5 (+2.8)
組織間の差	▲ 2.9	▲ 3.7	6.6

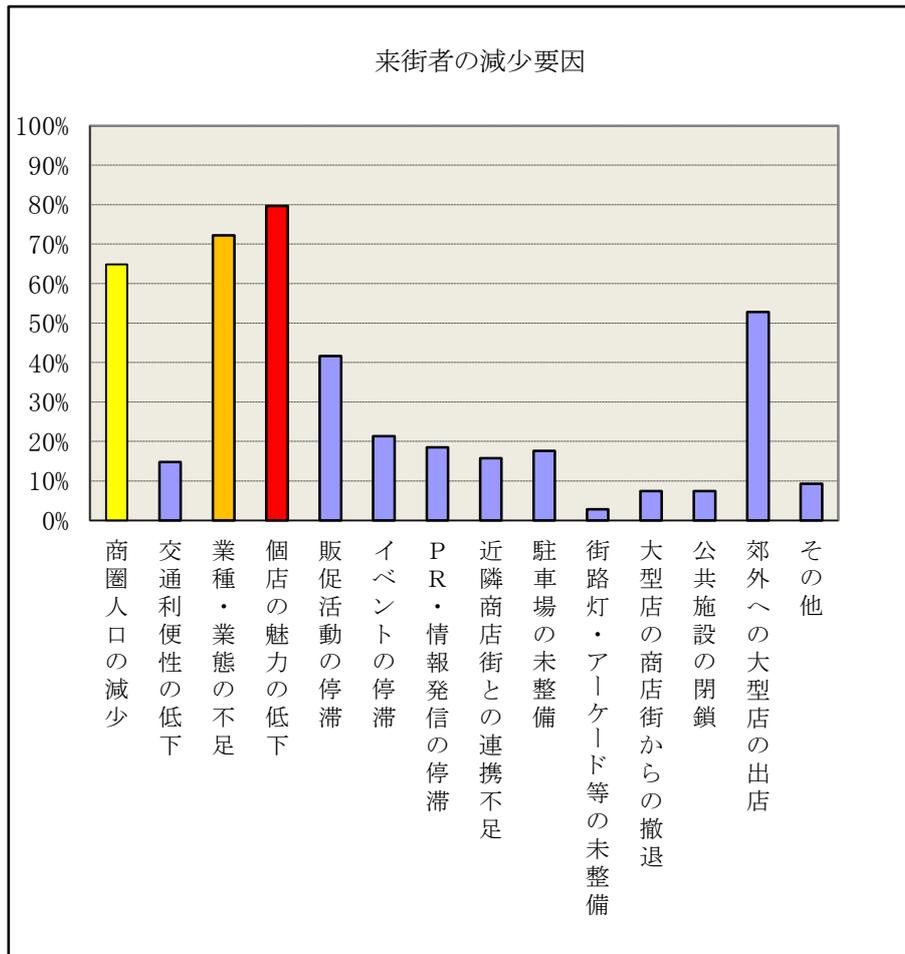


(2) 来街者数

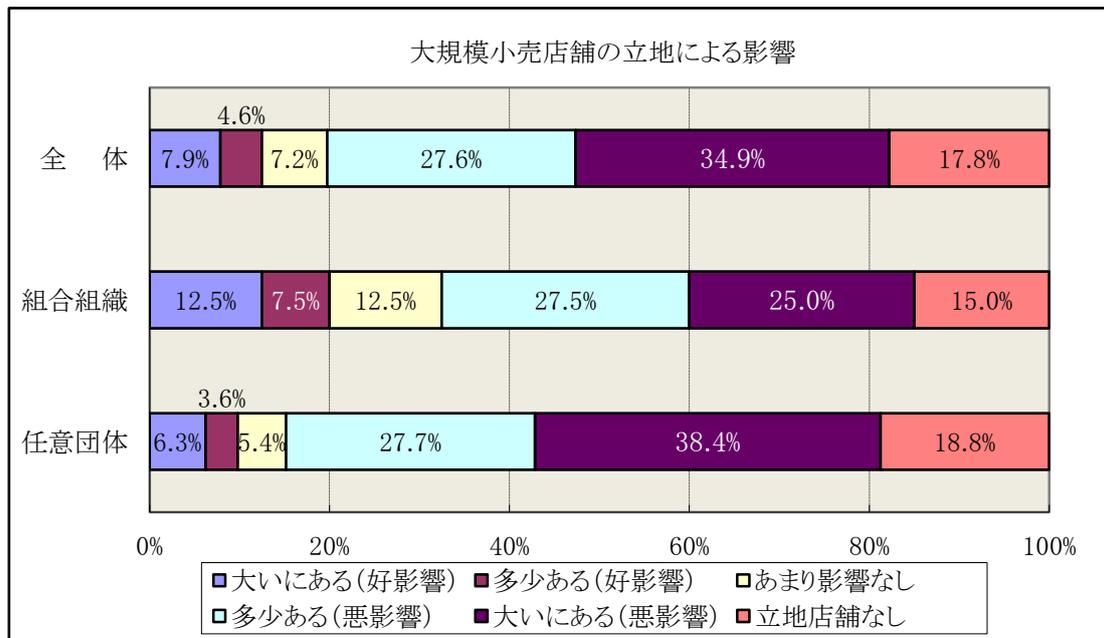
(単位：%、ポイント)

	増えた	変わらない	減った
全 体	6.1 (+2.7)	20.9 (+1.0)	73.0 (▲3.7)
組合組織	9.5 (+1.5)	14.3 (+6.3)	76.2 (▲7.8)
任意団体	4.7 (+3.7)	23.6 (▲2.4)	71.7 (▲1.2)
組織間の差	▲ 4.8	9.3	▲4.5

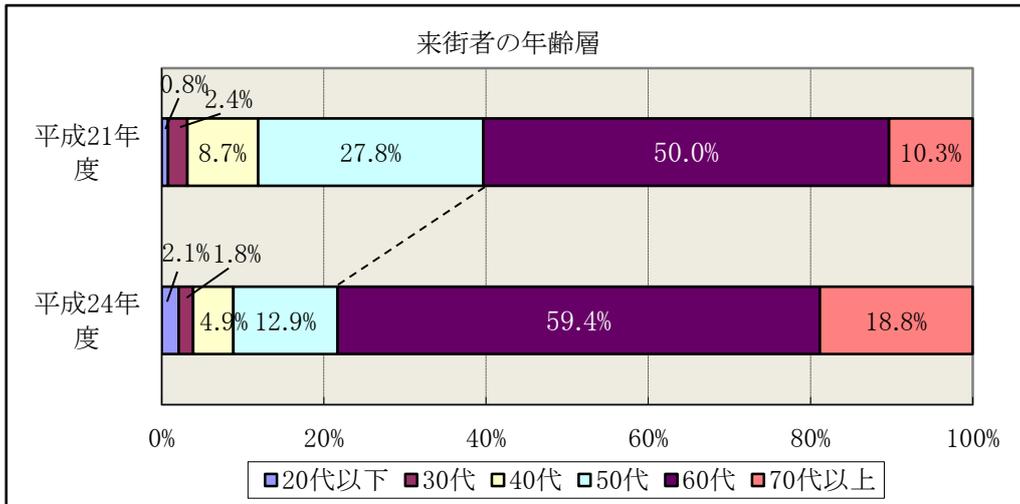




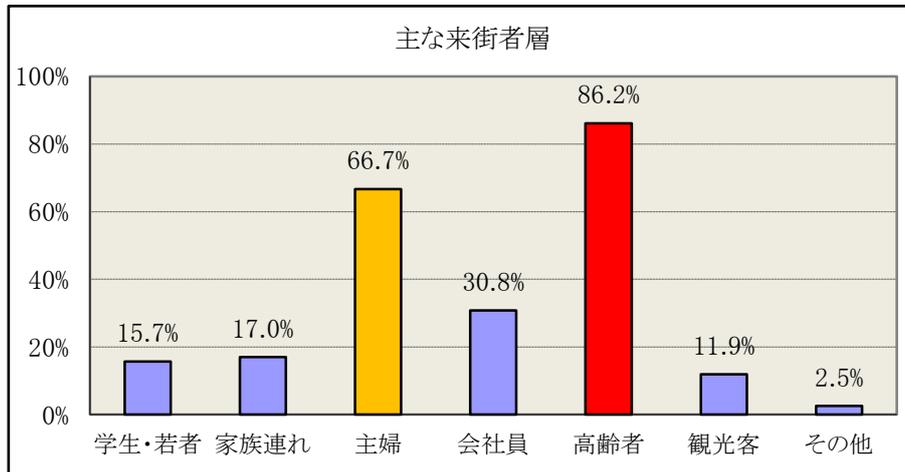
(3) 大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m²超）の立地による影響



(4) 来街者の最も多い年齢層



(5) 来街者層



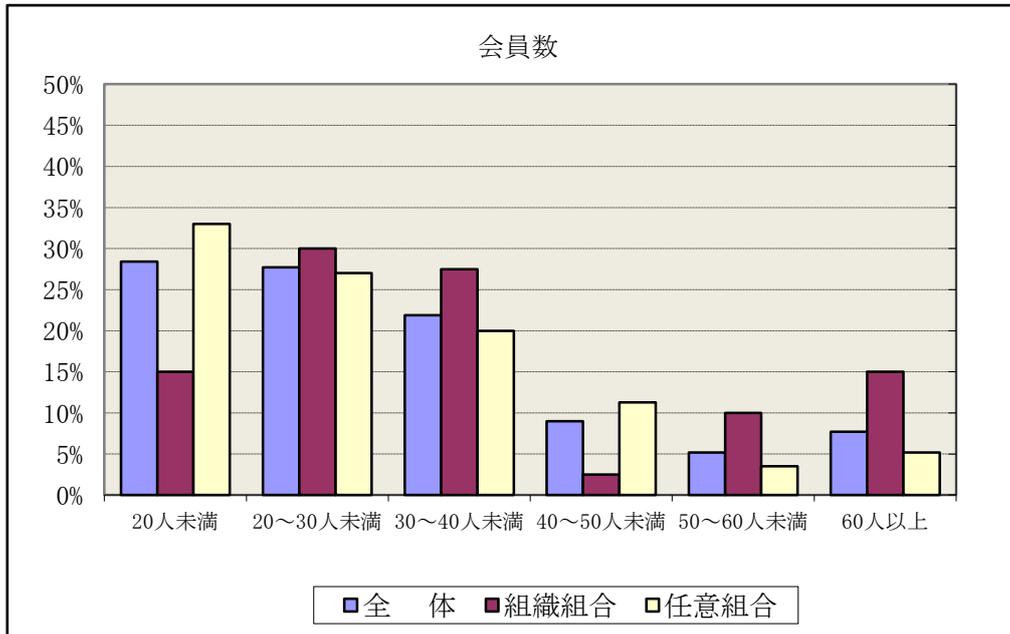
(6) 今後最も重視したい層

(単位：%、ポイント)

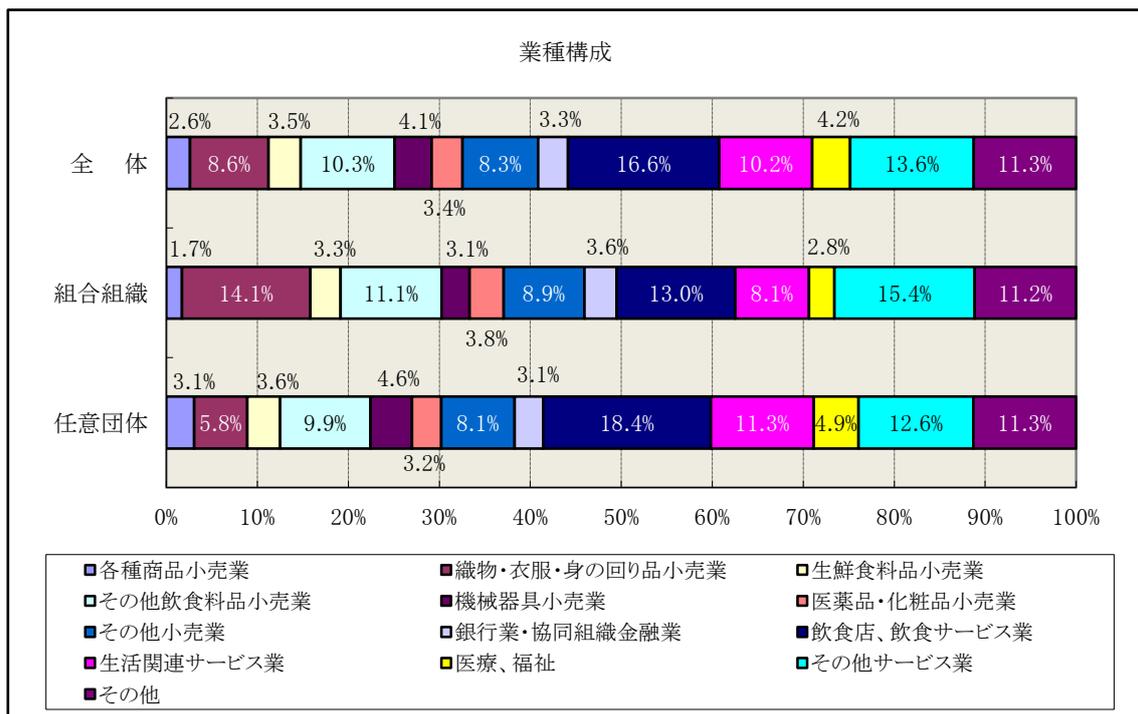
	全体	組合組織	任意団体	組織間の差
学生・若者	8.2	12.7	6.5	▲ 6.2
家族連れ	25.3	20.6	27.0	▲ 6.4
主婦	21.9	25.8	20.4	▲ 5.4
会社員	4.4	4.7	4.3	▲ 0.4
高齢者	29.6	27.9	30.3	2.4
観光客	8.7	7.0	9.4	2.4
その他	2.1	1.3	2.3	1.0

4 店舗と業種構成

(1) 会員数



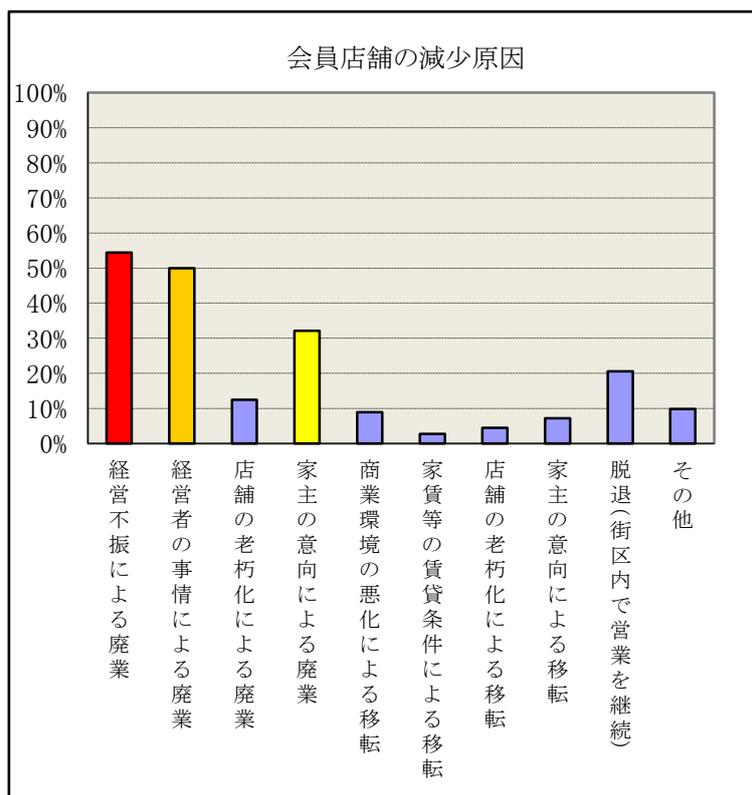
(2) 業種構成



(3) 会員店舗数

(単位：%、ポイント)

	増えた	変わらない	減った
全 体	5.0	24.5	70.4
組合組織	4.5	20.5	75.0
任意団体	5.2	26.1	68.7
組織間の差	0.7	5.6	▲ 6.3



(4) 店舗の入れ替り

(単位：%、ポイント)

	かなりある	少しはある	ほとんどない
全 体	1.3 (▲0.1)	27.7 (▲6.6)	71.1 (+6.8)
組合組織	2.3 (+2.3)	29.5 (▲21.6)	68.2 (+19.3)
任意団体	0.9 (▲1.3)	27.0 (+1.2)	72.2 (+0.2)
組織間の差	▲ 1.4	▲ 2.5	4.0

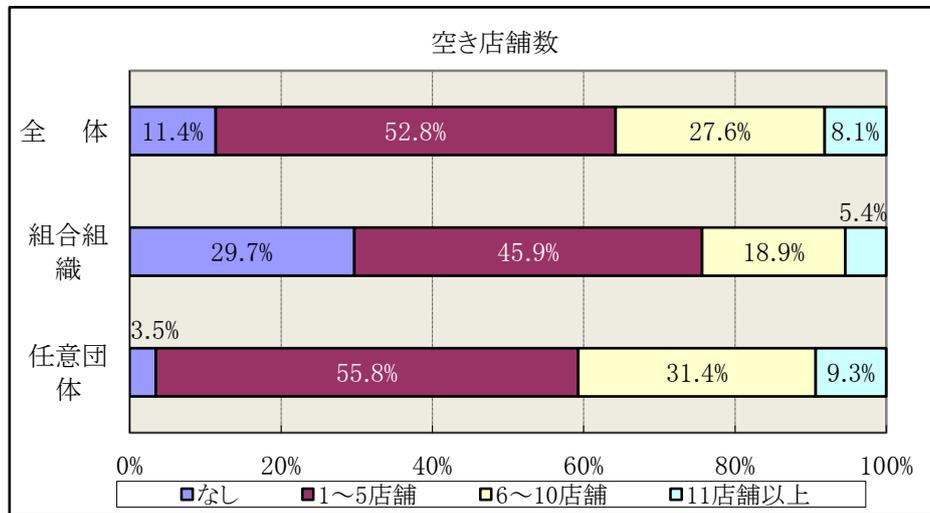
(5) 店舗の入れ替わりへの商店街としての関与

(単位：%、ポイント)

	関与している	関与していない
全 体	4.4	95.6
組合組織	11.4	88.6
任意団体	1.8	98.2

5 空き店舗

(1) 空き店舗数

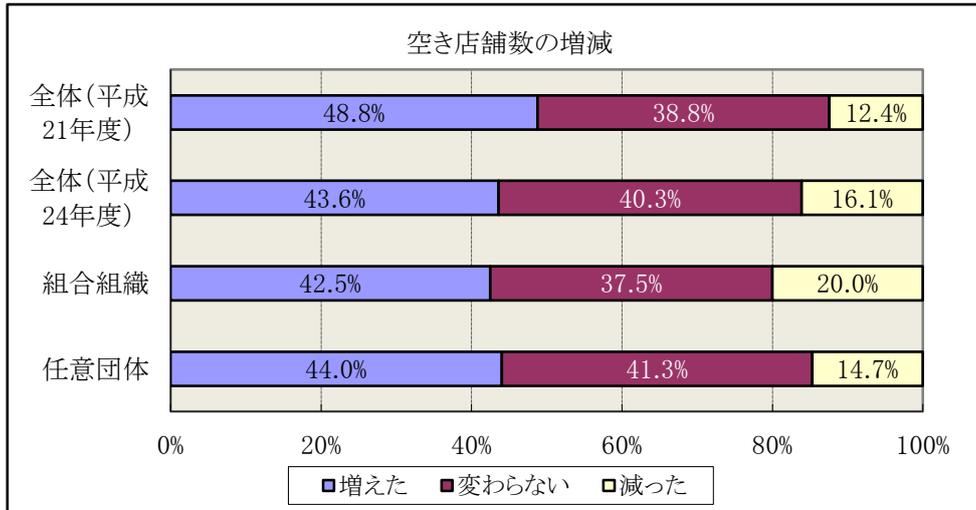


(2) 空き店舗を含めた全店舗数

(単位：%、ポイント、店)

	全 体	組合組織	任意団体	組織間の差
10 店舗以下	8.9	4.2	10.2	6.0
10~20 店舗未満	16.1	12.5	17.0	4.5
20~30 店舗未満	19.6	33.3	15.9	▲17.4
30~40 店舗未満	28.6	20.8	30.7	9.9
40~50 店舗未満	10.7	4.2	12.5	8.3
50~60 店舗未満	6.3	8.3	5.7	▲2.6
60 店舗以上	9.8	16.7	8.0	▲8.7
全店舗数平均 (店)	33.2	38.8	31.7	
平均空き店舗数 (店)	3.8	3.0	4.1	

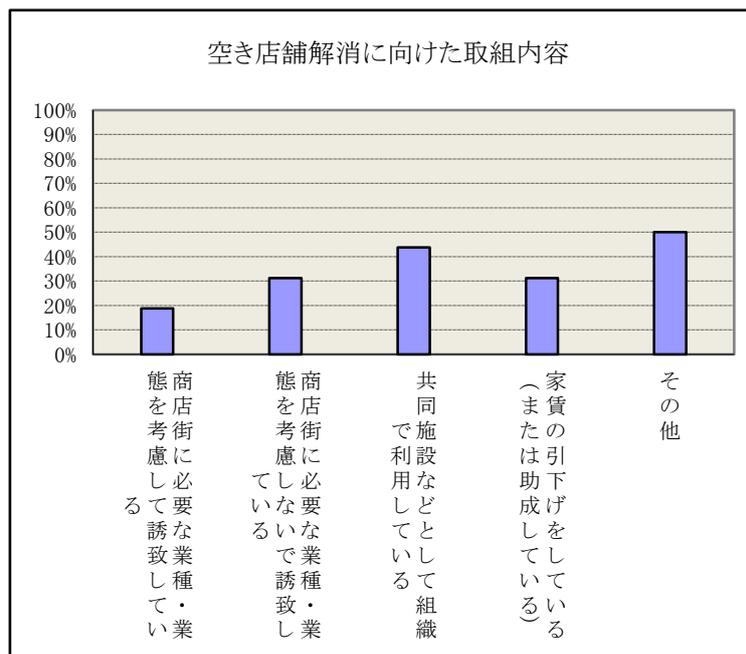
(3) 空き店舗増減



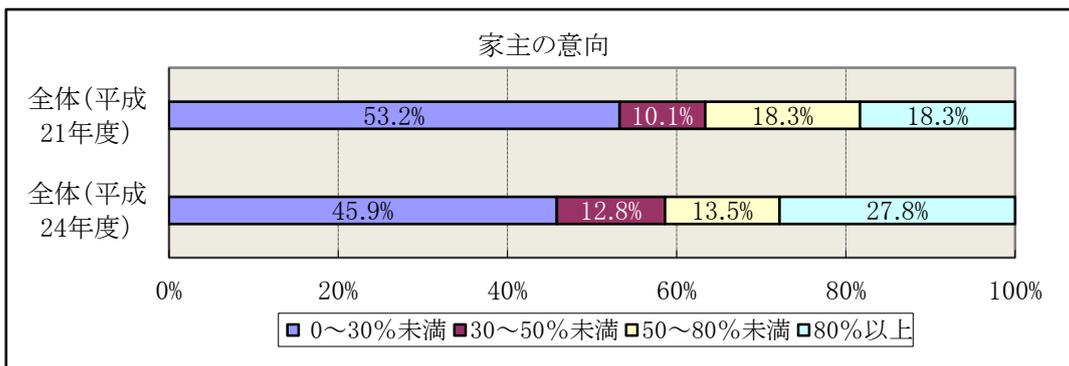
(4) 空き店舗対策

(単位：%、ポイント)

	実施している	実施していない
全 体	10.9	89.1
組合組織	18.4	81.6
任意団体	8.3	91.7

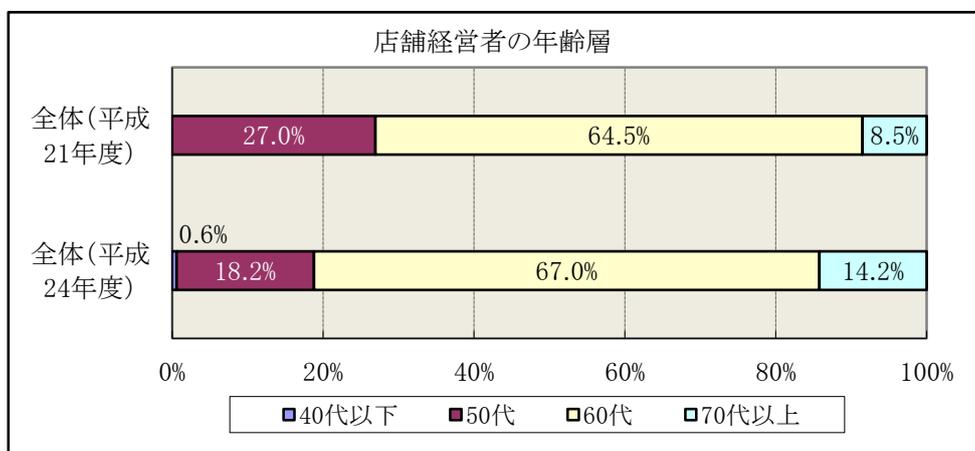


(5) 家主の意向

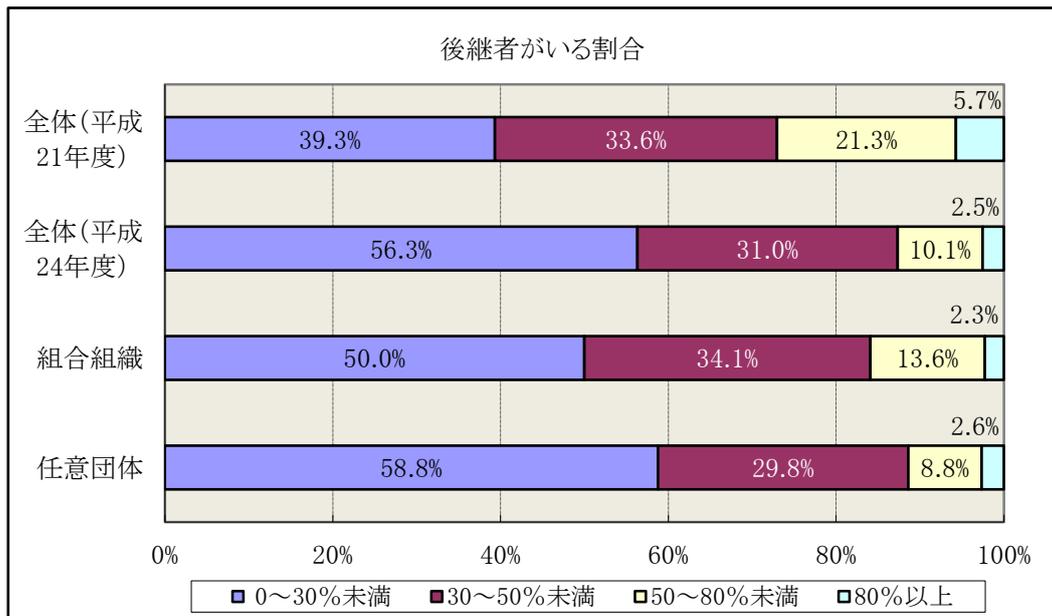


6 店舗経営者

(1) 店舗経営者の年齢層



(2) 後継者がいる割合



(3) 自宅兼店舗の状況

(単位：%、ポイント)

	0～30%未満	30～50%未満	50～80%未満	80%以上
全 体	14.6 (▲2.0)	22.2 (+5.0)	25.9 (+0.4)	37.3 (▲3.4)
組合組織	25.0 (+3.0)	13.6 (▲2.4)	27.3 (▲0.7)	34.1 (+0.1)
任意団体	10.5 (▲3.2)	25.4 (+7.5)	25.4 (+1.2)	38.6 (▲5.6)
組織間の差	▲ 14.5	11.8	▲ 1.9	4.5

7 組織活動

(1) 会員を対象にした会合の開催頻度

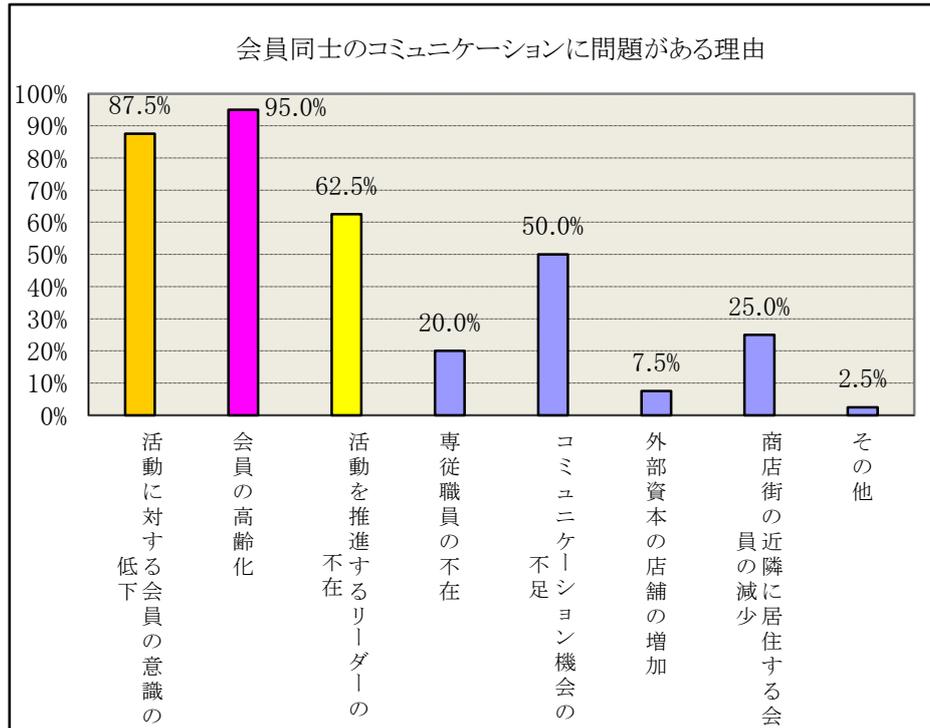
(単位：%、ポイント、回)

	年1回程度	半年に1回程度	四半期に1回程度	隔月に1回程度	月1回程度	月2回程度	平均開催回数(回)
全 体	27.2 (+0.2)	25.2 (▲19.7)	26.5 (+14.1)	10.6 (+3.9)	7.9 (-)	2.6 (+1.5)	3.3
組合組織	25.0 (▲11.4)	27.5 (▲5.8)	25.0 (+6.8)	12.5 (+6.4)	7.5 (+1.4)	2.5 (+2.5)	2.8
任意団体	27.9 (+6.5)	24.3 (▲27.5)	27.0 (+18.1)	9.9 (+2.8)	8.1 (▲0.8)	2.7 (+0.9)	3.5
組織間の差	2.9	▲ 3.2	2.0	▲ 2.6	0.6	0.2	

(2) 会員同士のコミュニケーション

(単位：%、ポイント)

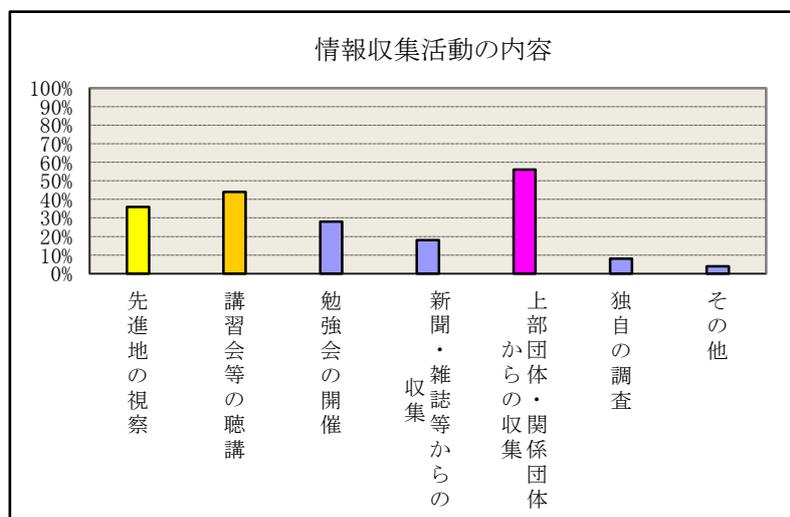
	良好である	どちらとも いえない	問題がある
全 体	42.9 (+12.7)	31.4 (▲15.6)	25.6 (+2.8)
組合組織	51.2 (+18.5)	16.3 (▲26.6)	32.6 (+8.1)
任意団体	39.8 (+10.8)	37.2 (▲11.8)	23.0 (+1.0)



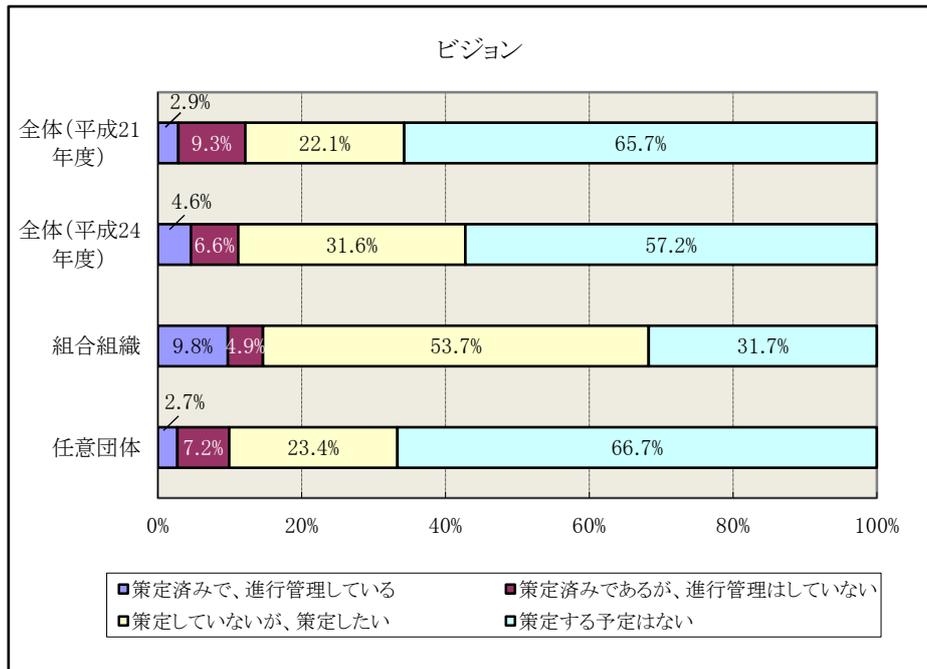
(3) 情報収集活動

(単位：%、ポイント)

	実施している	実施していない
全 体	33.1	66.9
組織組合	37.2	62.8
任意組合	31.5	68.5



(4) ビジョン

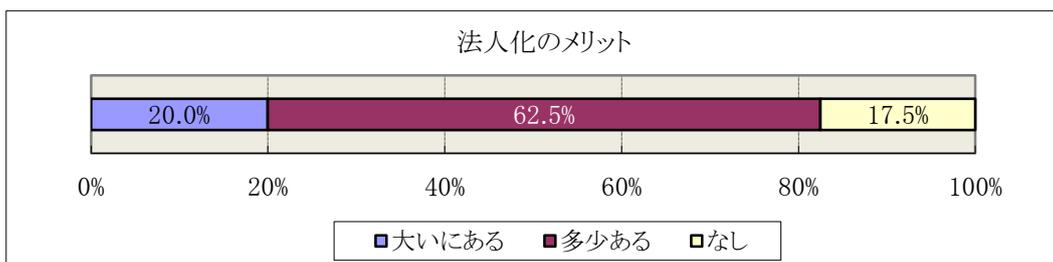
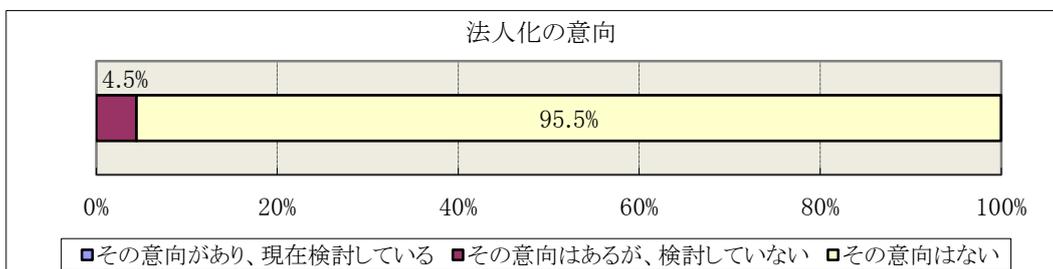


(5) 次世代リーダー

(単位：%、ポイント)

	い る	い ない
全 体	46.1	53.9
組合組織	52.5	47.5
任意団体	43.8	56.3
組織間の差	8.7	8.8

(6) 任意団体の法人化について

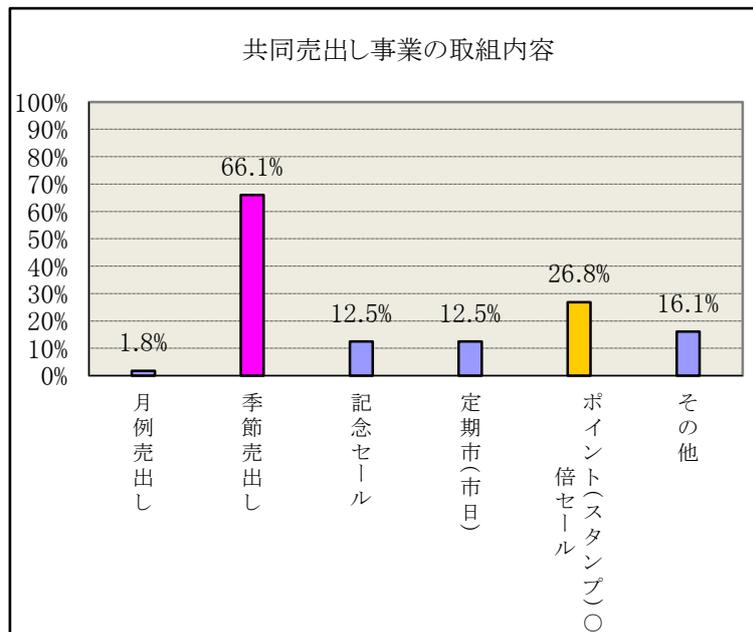


8 共同経済事業

(1) 共同売出し事業

(単位：%)

	実施している	実施していない
全 体	35.9	64.1
組合組織	62.8	37.2
任意団体	25.7	74.3

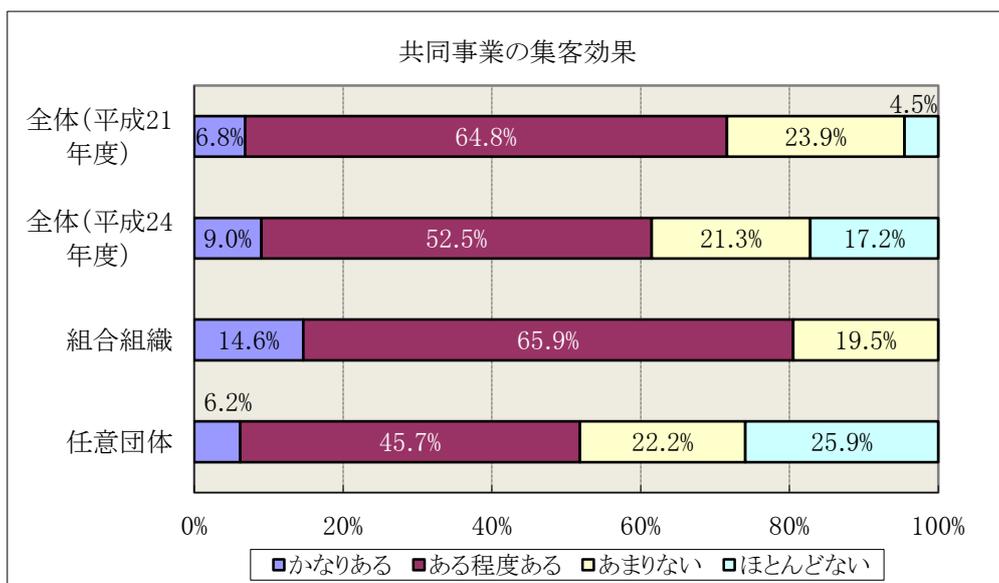


(2) 昨年度の集客イベント回数

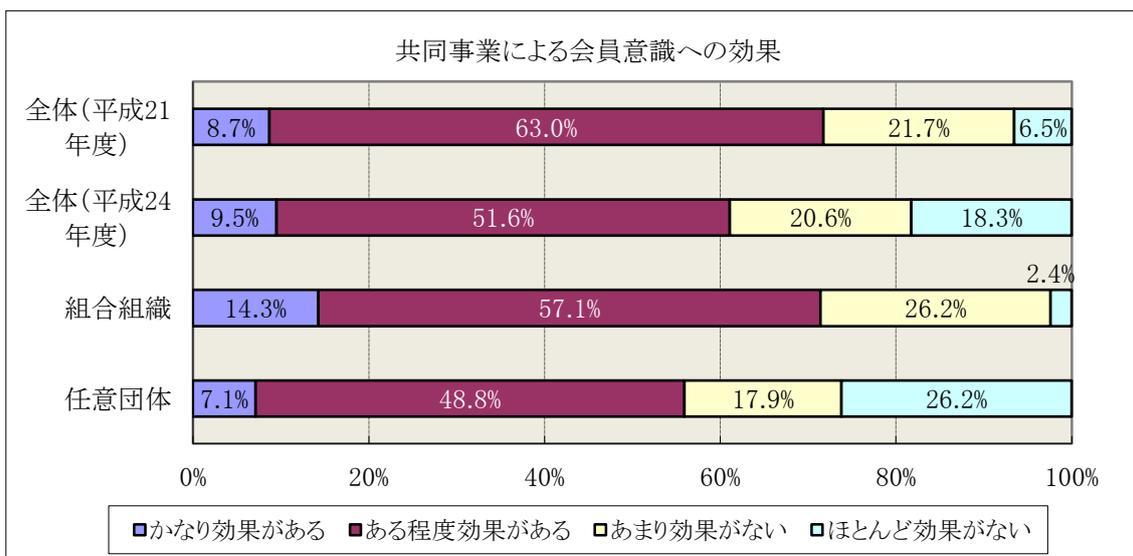
(単位：%、ポイント、回)

	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	平均回数(回)
全 体	38.4 (▲8.7)	20.8 (+0.1)	18.4 (+4.1)	10.4 (+4.0)	3.2 (▲0.4)	0.8 (▲0.6)	8.0 (+1.6)	3.3 (+0.2)
組合組織	6.5 (▲18.0)	29.0 (+6.6)	22.6 (+2.2)	12.9 (+0.7)	6.5 (2.4)	3.2 (+1.2)	19.4 (+5.1)	4.9 (+0.8)
任意団体	48.9 (▲10.4)	18.1 (▲1.7)	17.0 (+6.0)	9.6 (+6.3)	2.1 (▲1.2)	0 (▲1.1)	4.3 (+2.1)	2.4 (+0.2)
組織間の差	42.4	▲ 10.9	▲ 5.6	▲ 3.3	▲ 4.4	▲ 3.2	▲ 15.1	

(3) 共同事業の集客効果



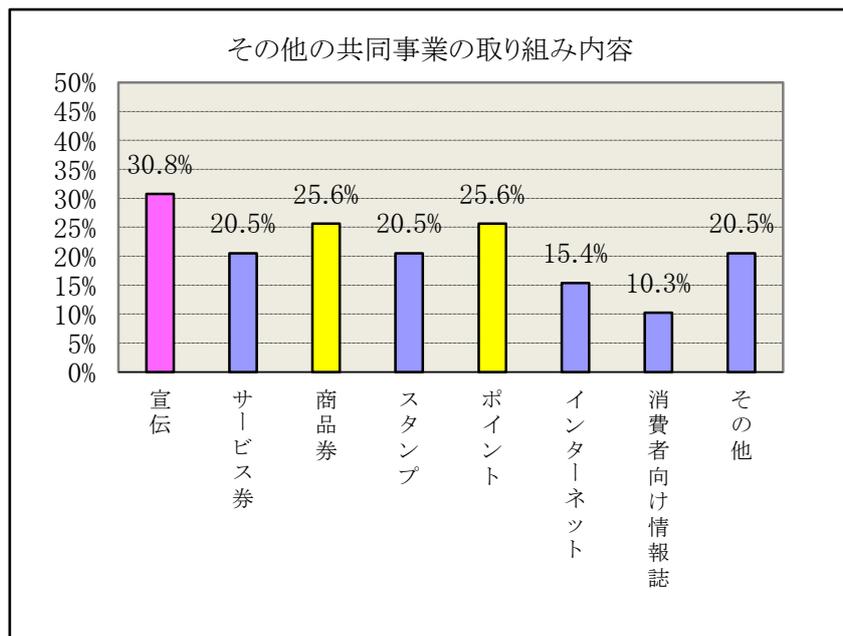
(4) 共同事業による会員意識への効果



(5) その他の共同事業

(単位：%)

	実施している	実施していない
全 体	26.5	73.5
組合組織	33.3	66.7
任意団体	23.8	76.2



(6) 商店街利用者を対象とした調査（アンケート等）について

(単位:%、ポイント)

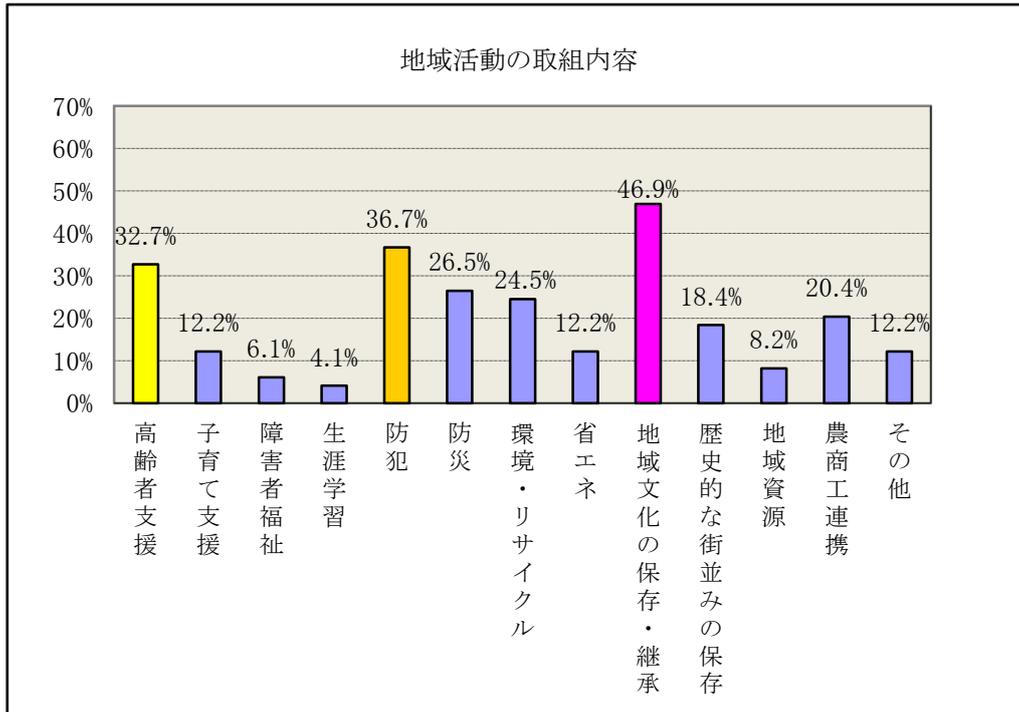
	必要であり、 実施している	必要であるが、 実施していない	必要でない
全 体	2.0	68.0	30.1
組合組織	7.0	83.7	9.3
任意団体	0	61.8	38.2
組織間の差	▲ 7.0	▲ 21.9	28.9

9 商店街活動

(1) 地域住民のニーズに応じた活動への取組

(単位:%)

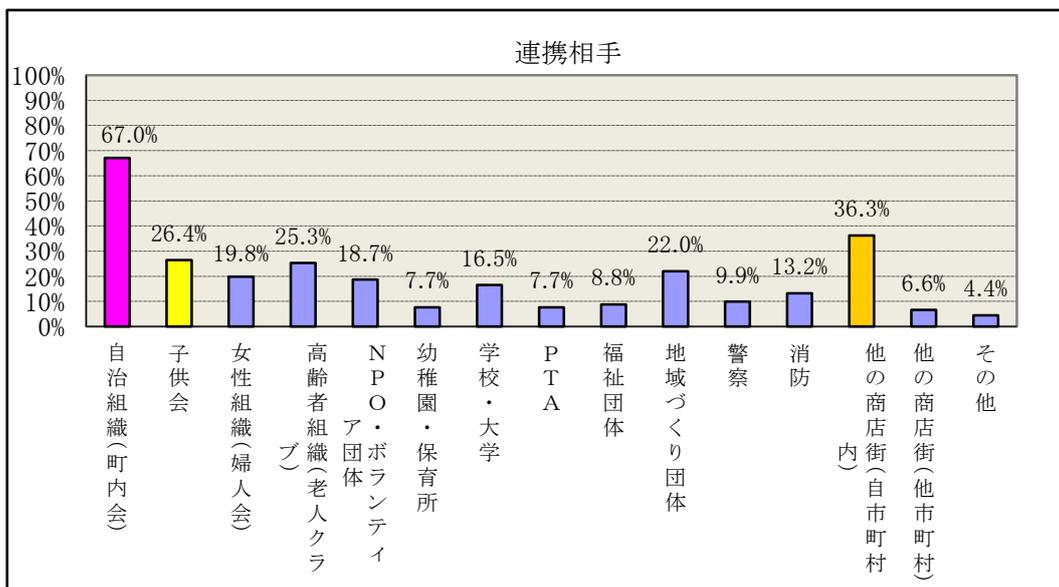
	取り組んでいる	取り組んでいない
全 体	32.5	67.5
組合組織	43.9	56.1
任意団体	28.2	71.8



(2) 各種団体との連携

(単位：%、ポイント)

	連携している	連携していない
全 体	61.1	38.9
組合組織	79.5	20.5
任意団体	54.5	45.5



(3) 東日本大震災被災地域の仮設商店街との連携状況

(単位：%、ポイント)

	2回以上実施した	1回実施した	実施していない
全 体	3.2	9.7	87.1
組合組織	9.5	16.7	73.8
任意団体	0.9	7.1	92.0
組織間の差	▲ 8.6	▲ 9.6	18.2

(4) 買い物弱者支援の実施状況

(単位：%、ポイント)

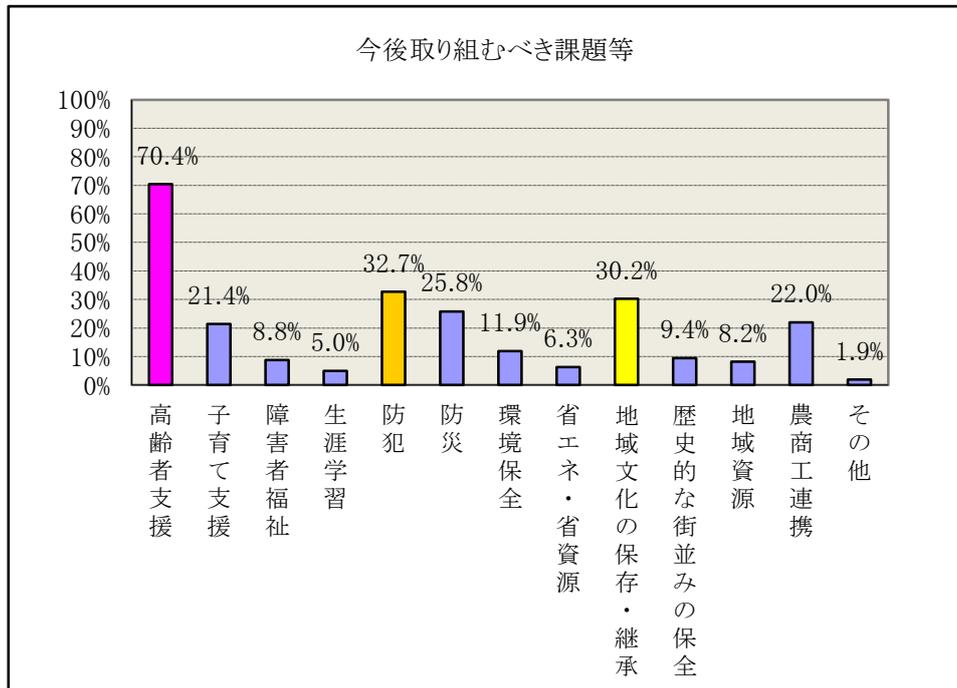
	ニーズがあり 実施している	ニーズはあると 感じているが 特段実施していない	ニーズは ないと感じている
全 体	6.5	83.0	10.5
組合組織	9.5	83.3	7.1
任意団体	5.4	82.9	11.7
組織間の差	▲ 4.1	▲ 0.4	4.6

(5) 福医商連携の活動実施状況

(単位：%、ポイント)

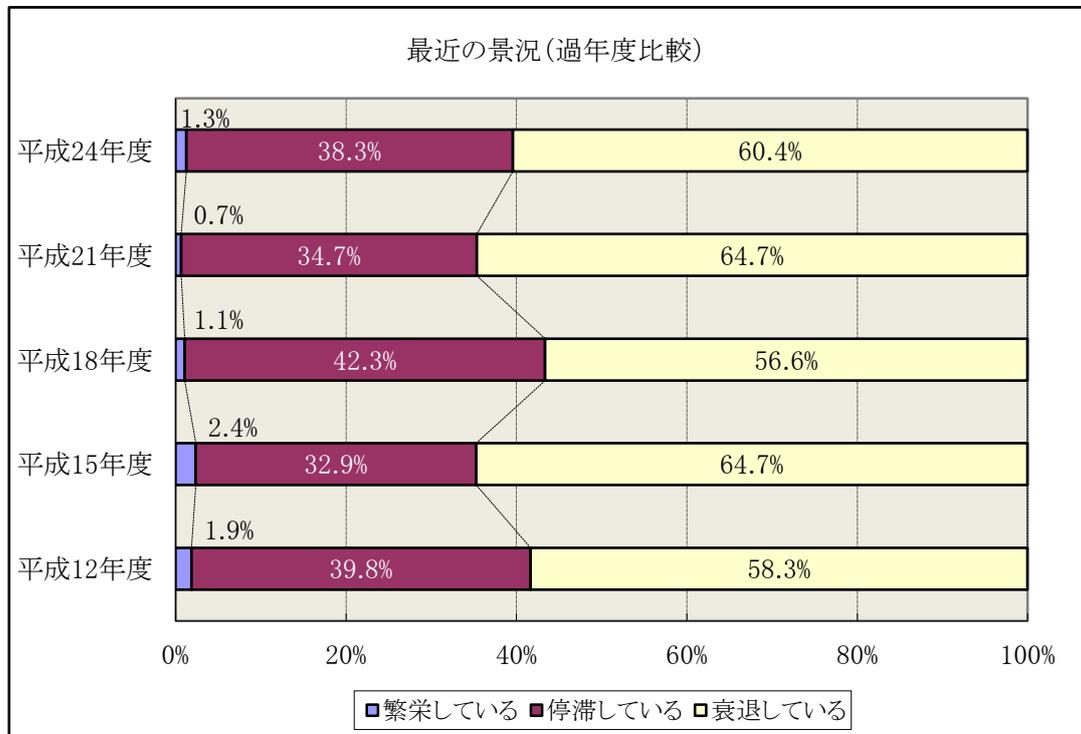
	ニーズがあり 実施している	ニーズはあると 感じているが 特段実施していない	ニーズは ないと感じている
全 体	3.9	71.2	24.8
組合組織	7.3	73.2	19.5
任意団体	2.7	70.5	26.8
組織間の差	▲ 4.6	▲ 2.7	7.3

(6) 今後取り組むべき課題

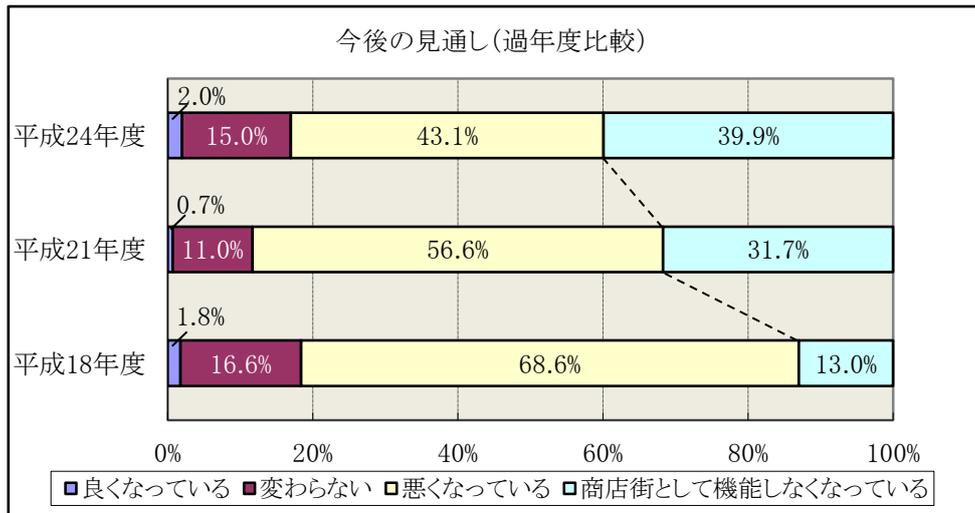


10 景況

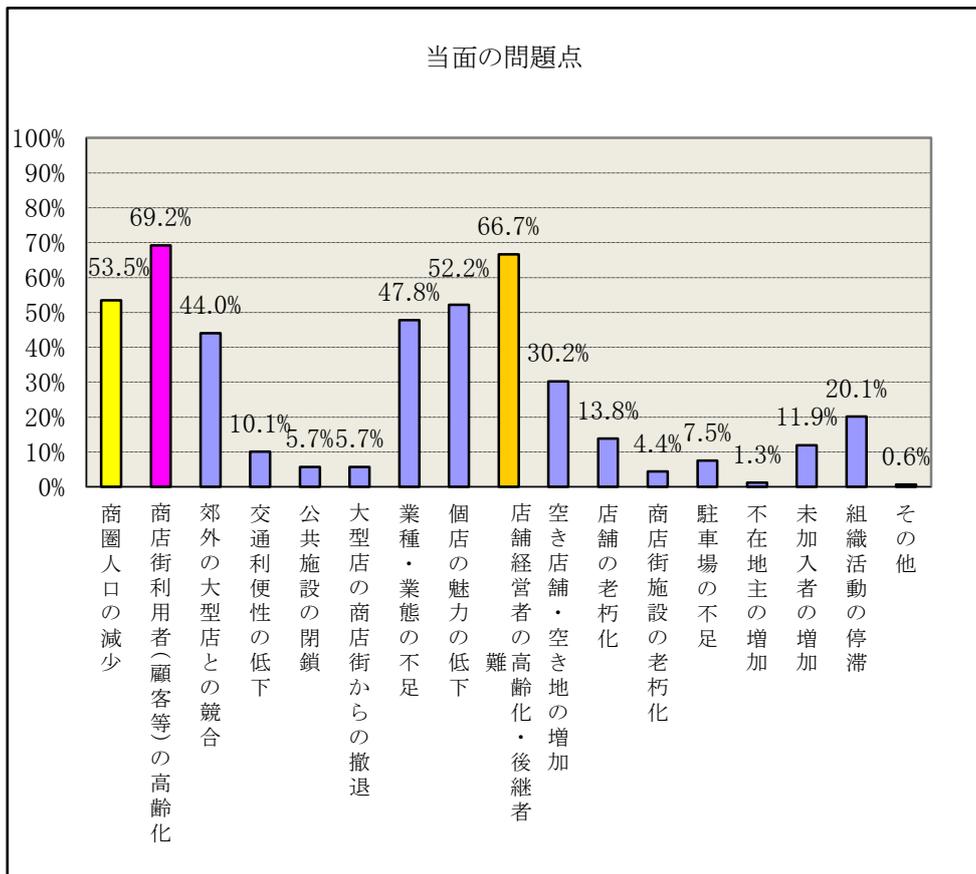
(1) 最近の景況



(2) 今後の見通し



(3) 当面の問題点



11 商店街が併せ持つ「商いの場」と「公共の場」の役割について

(1) 強みについて

(単位：%、ポイント)

	商いの場	公共の場	どちらともいえない
全 体	20.7	14.5	64.8
組合組織	26.8	9.8	63.4
任意団体	18.3	16.3	65.4
組織間の差	▲ 8.5	6.5	2.0

(2) 今後重視していきたい役割について

(単位：%、ポイント)

	商いの場	公共の場	どちらともいえない
全 体	22.4	15.4	62.2
組合組織	30.0	7.5	62.5
任意団体	19.4	18.4	62.1
組織間の差	▲ 10.6	10.9	▲ 0.4